

令和6年度 第2回牧之原市地域公共交通会議 次第

日 時 令和7年1月17日（金）

午後1時30分～

会 場 牧之原市相良総合センターい～ら

1 開 会

2 会長挨拶

赤線は会議当日に
配布します

3 議事

（1）令和7年度の運行に関する事項

① 地域間幹線系統に係る単独継続困難の申出路線の運行について

・運行状況（資料1）

・地域間幹線系統事業評価（資料2）・・承認

② 生活交通確保計画案（資料3）・・承認

ア 自主運行バスの運行について・・承認

・運行状況（資料4）

・自家用有償旅客運送の更新登録の申請（資料5）

イ デマンド乗合タクシーの運行について・・承認

・利用状況（資料6）

・デマンド乗合タクシー利用者、非利用者アンケート調査について（資料7）

・令和7年度デマンド乗合タクシーの運行計画案について（資料8）

・市街地デマンドの本格運行への検討について（資料9）

4 報告

（1）牧之原市地域公共交通計画について

① 令和5年度の評価について（資料10）

② 令和6年度の取組及び令和7年度の計画について（資料11）

5 その他

6 閉会

委員名簿 ※部会員・・・評価改善部会、運賃協議部会に出席いただく委員

職名	氏名	備考
牧之原市 副市長	大石 勝彦	
地区長会	平岡 敏弘	部会員
牧之原市消費者協会 会長	竹内 桂子	部会員
牧之原市商工会 副会長	水野 悅裕	
(一社)まきのはら活性化センター センター長	加藤 智	
牧之原市社会福祉協議会 事務局長	榛葉 清澄	
公募市民	増田 知志	部会員
公募市民	赤堀 康彦	部会員
中部運輸局静岡運輸支局 首席運輸企画専門官	増田 秀典	部会員(運賃)
静岡県 交通基盤部都市局 地域交通課 課長	片山 広文	
しづてつジャストライン(株) 運行企画部長兼輸送計画室長	藁科 孝佳	部会員
東海タクシー(株) 代表取締役	大塚 弘子	部会員
御前崎タクシー(株) (梅田交通グループ) 代表取締役	古知 愛一郎	部会員
一般社団法人静岡県バス協会 専務理事	堀内 哲郎	
ジャストライン労働組合 書記長	都築 康彰	
静岡県 島田土木事務所 工事第3課 課長	田中 秀和	
牧之原市 建設部長	池田 武	
静岡県警察本部 牧之原警察署 交通課長	多々良 公佑	
豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授	松尾 幸二郎	部会員
牧之原市 企画政策部長	大石 佳伸	部会員
牧之原市 教育文化部長	竹内 英人	
牧之原市 福祉こども部長	櫻井 康章	
牧之原市 産業経済部長	原口 亨	
牧之原市 健康推進部長	河原崎 貞行	

事務局

地域振興課 課長	原口 克也
地域振興課 空港交通係 係長	増田 隆助
主査	笠井 麻央

議 事

(1) 令和7年度の運行に関する事項

- ① 地域間幹線系統に係る単独継続困難の申出
路線の運行について

運行状況

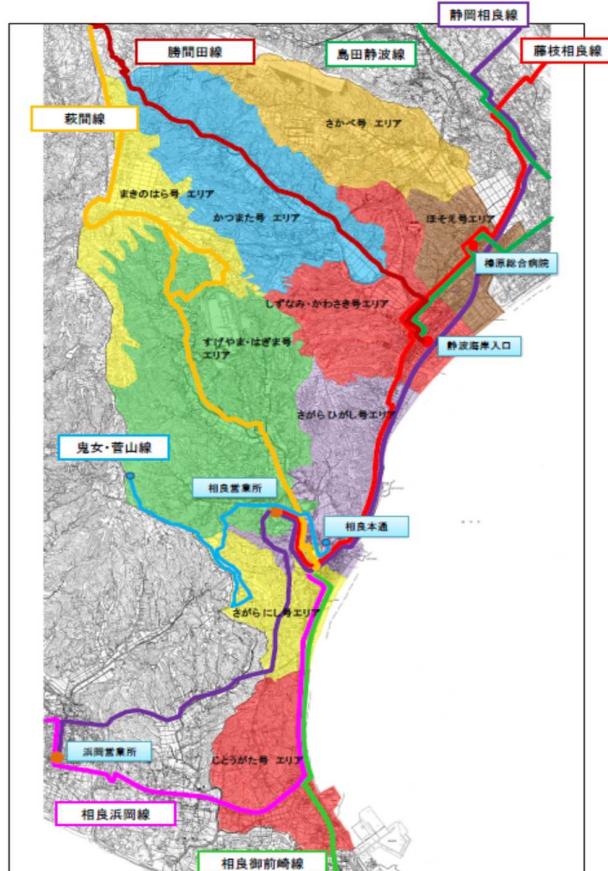
路線図

【乗合バス路線】

- 静岡相良線(紫)
 - 藤枝相良線(赤)
 - 島田静波線(緑)

【自主運行バス路線】

- 萩間線(黄)
 - 勝間田線(茶)
 - 鬼女・菅山線(青)
 - 相良御前崎線(黄緑)
 - 相良浜岡線(桃)



1

乗合バス(国庫補助路線)

路線名	起点	終点	経路市町(距離比率)
島田静波線	島田駅 (島田市立総合医療センター)	静波海岸入口	島田市(44.8%) 吉田町(33.4%) 牧之原市(21.8%)
藤枝相良線	藤枝駅南口	相良営業所	藤枝市(13.56%) 燃津市(11.68%) 吉田町(18.08%) 牧之原市(56.68%)

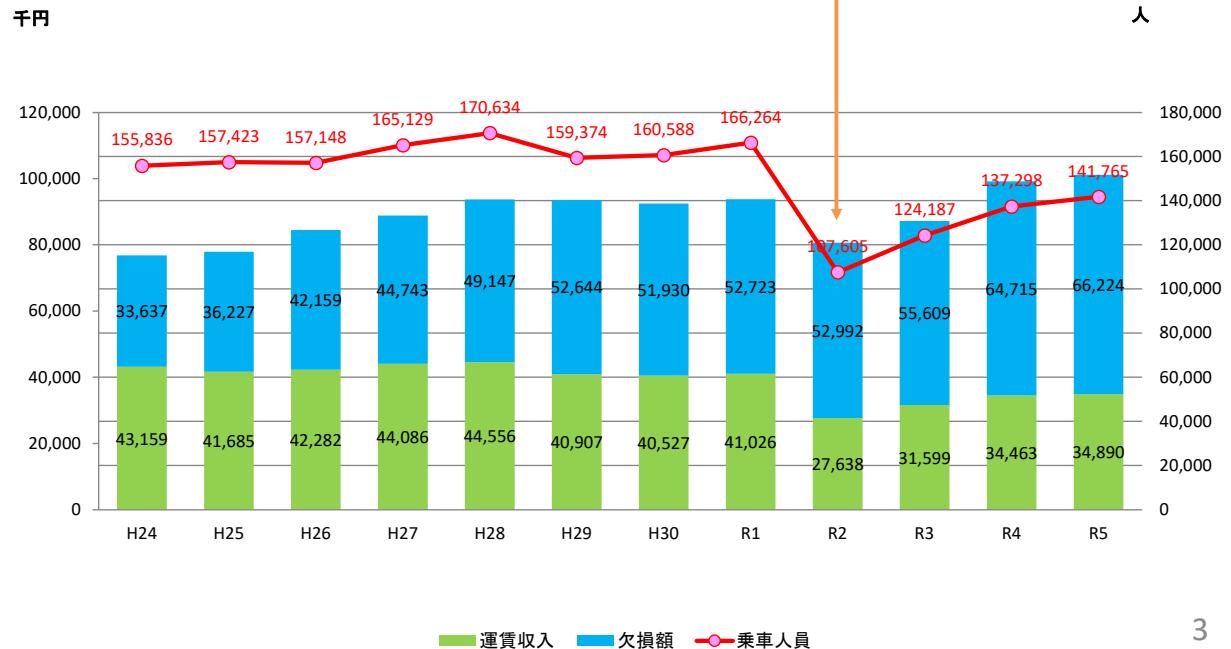
路線名	1日便数 ()は休日	乗車人数/日 (R6OD調査)	利用客中の 小学生割合	主な乗換拠点・バス停
島田静波線	34(14)	439	2.7%	【拠点】島田駅、静波海岸入口、榛原総合病院、吉田IC入口、井口堺 【バス停】色尾、本通3丁目、保健福祉センター、島田市立総合医療センター
藤枝相良線	24(20)	469	2.3%	【拠点】藤枝駅、静波海岸入口、榛原総合病院、相良営業所 【バス停】富士見橋、宗高新町、東名大井川

2

【島田静波線】

運行経費と乗車人員

新型コロナウィルス感染症拡大による利用者の減少、運行本数の減便



3

路線データ 島田静波線

年度		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
年間利用者数(人)		166,264	107,605	124,187	137,298	141,765
平均乗車密度(人)	島田駅系統	4.4	4.6	4.7	3.6	4.0
輸送量(人)	医療総合センター系統	29.0	30.8	30.5	23.7	25.6
収支率(%)		4.0	2.6	3.5	4.3	3.5
市補助額(円)		28.4	13.7	25.2	30.9	23.8
収支率(%)		43.8	34.3	36.2	34.7	36.6
市補助額(円)		1,387,908	1,882,333	3,316,058	4,899,840	3,487,837

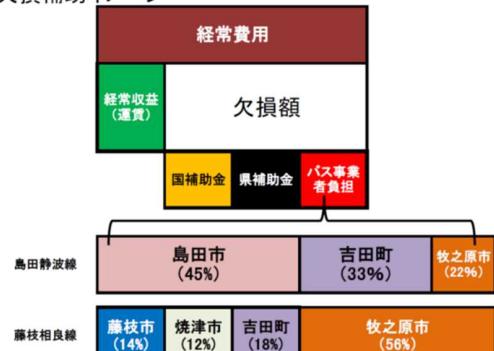
※上記データ及び牧之原市公共交通計画等に用いる数値

⇒ 自主運行バスと同じ4月から翌年3月、収入は会計上の数値

※地域間幹線系統の事業評価(資料2)に用いる数値

⇒ 補助算定上の数値であるため、時期は10月から翌年9月、収入はOD調査の数値

欠損補助イメージ



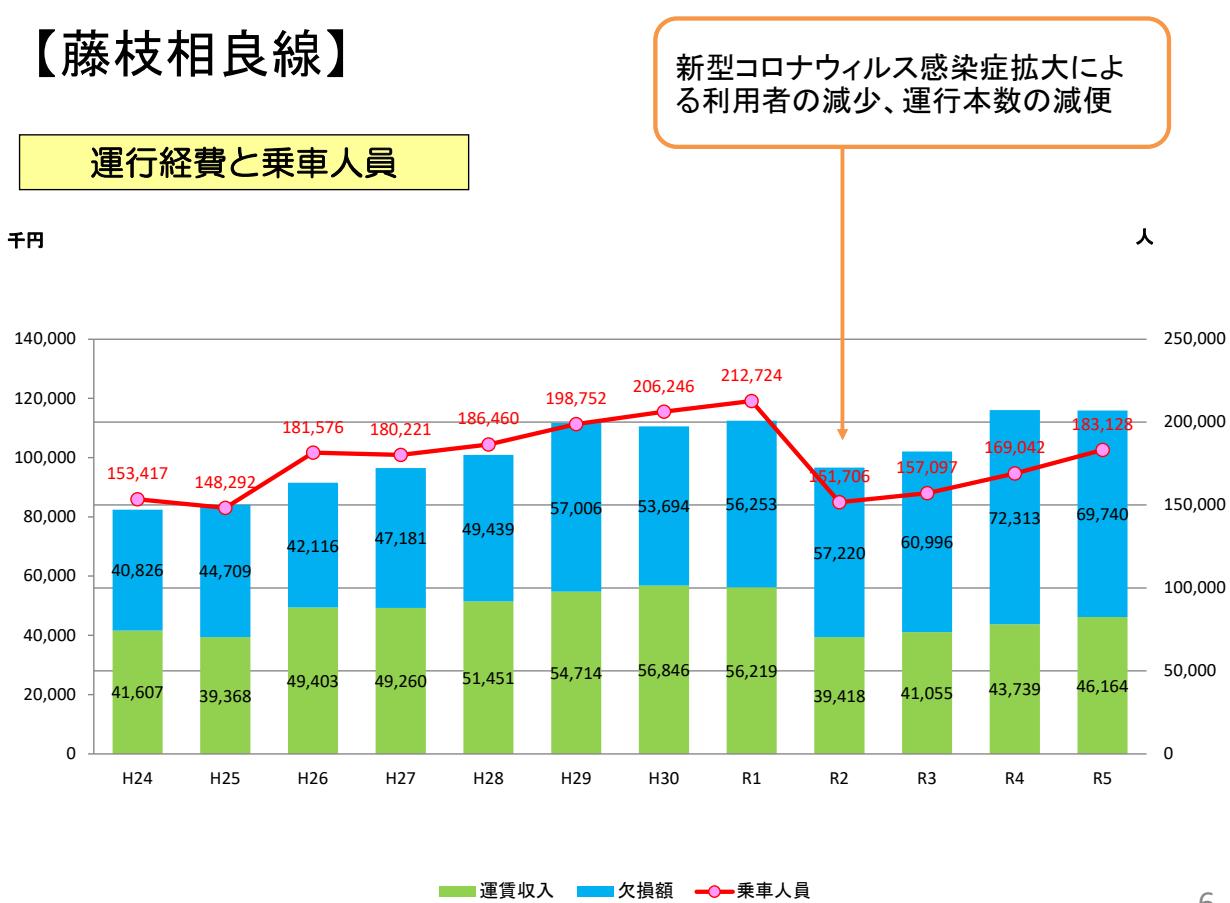
4

【路線の特性】

- 令和5年度は、141,765人/年の利用があった。
- 利用者の多くは島田市を目的地としている。
- 利用者の多い停留所は、島田市は島田駅、吉田町は片岡北吉田特別支援学校、牧之原市は榛原高校入口。
- 島田駅の利用が最も多い。
- 新型コロナウィルス感染症の影響により、令和2年度は前年度比利用者数35%減少し、コロナ前には戻っていないものの、令和2年度以降は上昇傾向にある。

5

【藤枝相良線】



6

路線データ 藤枝相良線

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
年間利用者数(人)	212,724	151,706	157,097	169,042	163,313
平均乗車密度(人)	5.1	4.1	3.5	3.5	5.1
輸送量(人)	71.9	51.6	45.8	46.2	59.6
収支率(%)	50.0	40.8	40.2	37.7	45.8
市補助額(円)	0	3,499,111	3,812,268	6,224,877	14,677,170

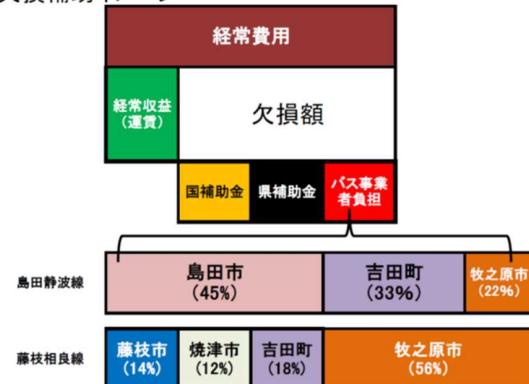
※上記データ及び牧之原市公共交通計画等に用いる数値

⇒ 自主運行バスと同じ4月から翌年3月、収入は会計上の数値

※地域間幹線系統の事業評価(資料2)に用いる数値

⇒ 補助算定上の数値であるため、時期は10月から翌年9月、収入はOD調査の数値

欠損補助イメージ



7

【路線の特性】

- 令和5年度は、163,313人/年の利用があった。
- 利用者の多くは藤枝市を目的地としている。
- 利用が多い停留所として、藤枝市は藤枝駅、焼津市は清流館高校、吉田町は吉田町役場、牧之原市は相良本通
- 藤枝駅の利用が最も多い。
- 新型コロナウィルス感染症の影響により、令和2年度は前年度比利用者数34%減少し、コロナ前には戻っていないものの、令和2年度以降は上昇傾向にある。

8

協調補助について(見込)

令和7年度運行分(R6.10～R7.9)

(千円)

	藤枝相良線	島田静波線		計
		病院系統	島田駅系統	
藤枝市	3,825 (13.56%)			3,825
焼津市	3,295 (11.68%)			3,295
島田市		6,310 (47.81%)	5,203 (41.67%)	11,513
吉田町	5,100 (18.08%)	4,168 (31.58%)	4,407 (35.29%)	13,691
牧之原市	15,989 (56.68%)	2,720 (20.61%)	2,877 (23.04%)	21,586
計	28,209 (100%)	13,198 (100%)	12,487 (100%)	53,894

市内を走る乗合バスで国県の補助金の交付を受けても、欠損が生じている路線について、関係する市町で補助しなければ、路線を維持することが難しい状況にある。

⇒令和元年度運行分から補助

9

バス路線運行への市の考え方

- ◆JR駅がない当市にとって、市内を走るバス路線については、重要な移動手段であり、路線を維持させていくことが重要である。
- ◆島田静波線、藤枝相良線は、JR駅に接続する重要な路線であり、関係市町と協調して路線を維持していく。
- ◆新型コロナウィルス感染症発生前は少しづつ利用者が増加していたが、令和2年度に大幅な利用者減となった。令和2年度以降は上昇傾向にあるが、令和元年度程の利用者はまだない。

議 事

(1) 令和7年度の運行に関する事項

- ① 地域間幹線系統に係る単独継続困難の申出
路線の運行について

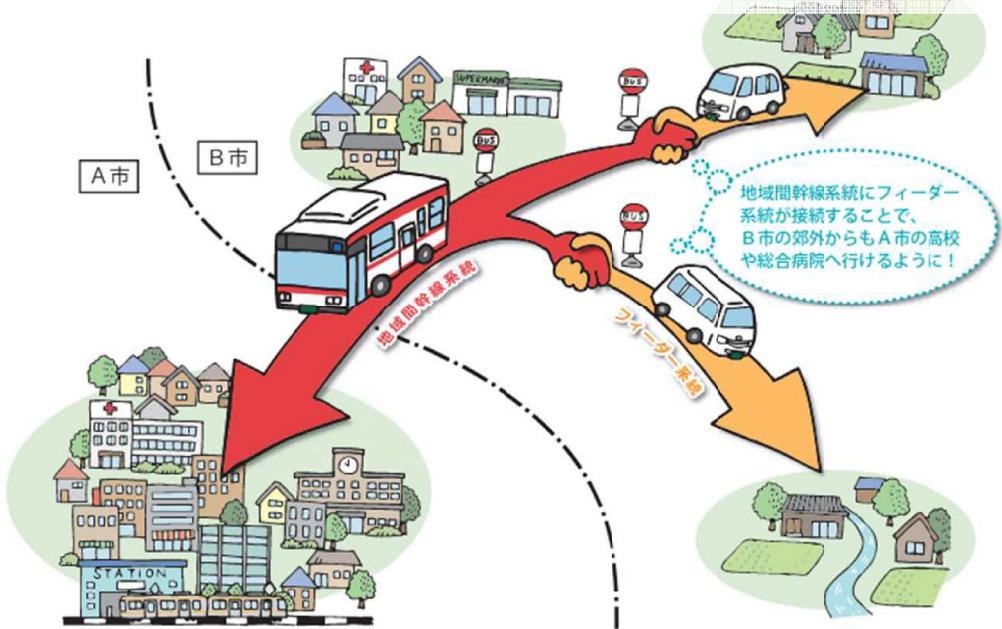
地域間幹線系統事業評価関係 (承認)

令和6年度 地域間幹線系統に関する事業評価

静岡県交通基盤部都市局地域交通課

地域間幹線系統とは

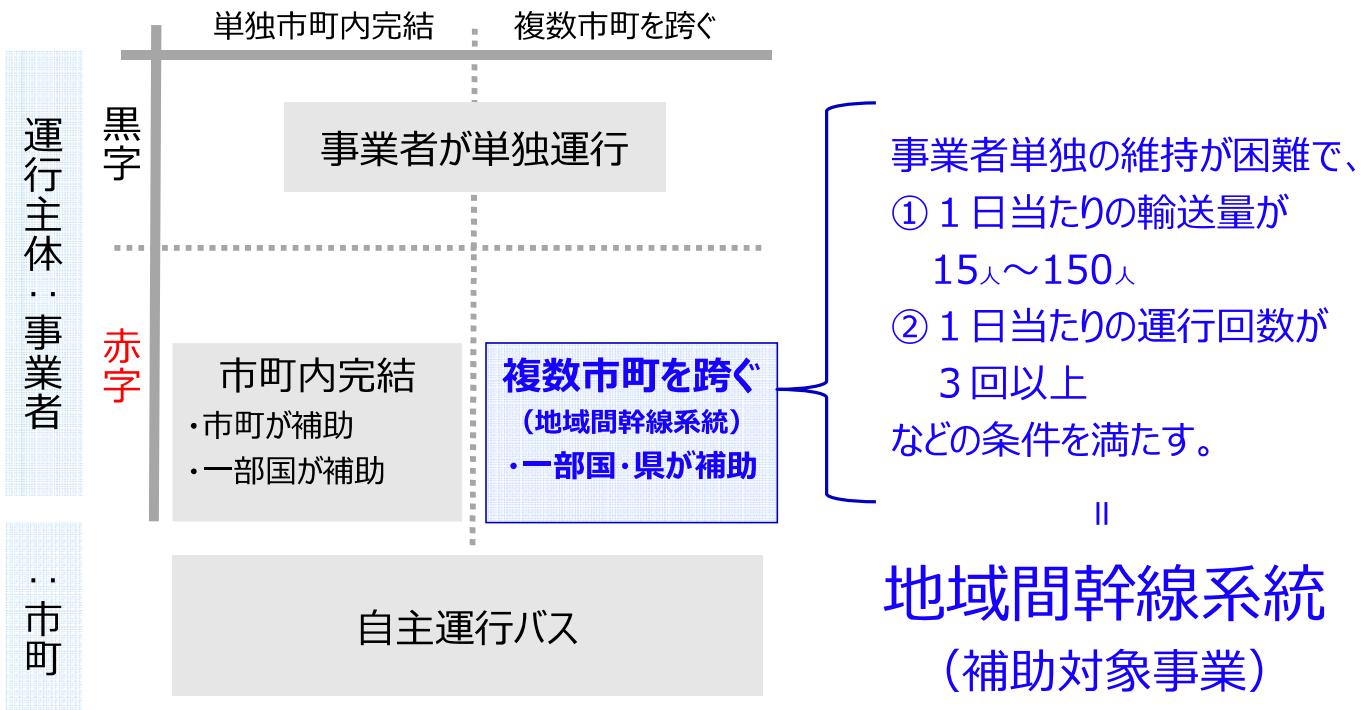
日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、
結びつきの強い市町の組み合わせを**交通圏**として設定。（出典：中部運輸局「中部の交通圏」）
圏内や圏域を跨ぐ**広域的な移動を支える一つの手段**が「**地域間幹線系統**」です。



出典:地域間幹線バスが地域で役立つようにするために(監修:中部運輸局)

地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



2

地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

- 補助対象事業が適切に行われているか確認する
 - 評価結果を分析し、事業改善に繋げる
- 補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため
- (参考)事業評価実施の根拠

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

第3条

5 協議会*は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

*本県においては県地域公共交通活性化協議会バス専門部会(旧静岡県生活交通確保対策協議会)を指す。

3

静岡県の地域間幹線系統評価基準（新）

次の項目を点数化し、合計点をA・B・Cで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	実績値（補助要件を満たしているか）	3回/日以上：10点 3回/日未満：0点
②輸送量	実績値（補助要件を満たしているか）	20人/日以上：30点 15人/日以上20人/日未満：5点 15人/日未満：0点
③収支率	実績値	50%以上：20点（満点）、25%未満：3点 25%～50%は3～6点を加算
④乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：20点（満点）、0～5%増：15点、 0～5%減：6点、5%以上減：3点
⑤ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑥広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	50%以上：10点（満点） 5%未満：0点（5%毎に2～3点加算）
合計		A評価：86点以上 B評価：66～85点 C評価：51～65点 D評価：50点未満

4

〈参考〉静岡県の地域間幹線系統評価基準（旧）

次の項目を点数化し、合計点をA・B・Cで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	計画値に対する実績値	計画数以上：3点 計画数未満：0点
②収支率	実績値	30%未満：0点（5%毎に3点加算） 55%以上：18点（満点）
③乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：6点、△5%以上5%未満：3点 △5%超：0点
④ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑤広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	5%未満：0点（5%毎に5点加算） 20%以上：20点（満点）
⑥キロ当たり経費	国が示す標準単価との比較	単価以上：0点（△5%毎に5点加算） △15%超：12点
合計		A評価：52～79点 B評価：26～51点 C評価：0～25点



地域間幹線系統評価基準 主な変更点①

1 評価項目を「補助基準」「実施状況」「幹線性・広域性」に分類

項目	評価のポイント
補助基準	国・県の補助基準を満たしているか
実施状況	事業は効果的に実施されたか
幹線性・広域性	地域間幹線系統としての役割を果たしているか

2 評価項目に「輸送量」を追加(補助要件:15人／日)

結果	評価のポイント
15人／日～20人／日	今後利用者が減ると補助要件を満たさなくなるおそれがあるため、改善に向けた利用促進等の努力が必要
15人／日未満	今回から直ちに補助対象外となるわけではないが、今後の計画で補助を受けられなくなるおそれがあるため、見直しを含めた路線のあり方の検討が必要

6

地域間幹線系統評価基準 主な変更点②

3 評価指標を「A・B・C」の3段階から「A・B・C・D」の4段階に変更

指標	点数	評価のポイント
A	86点以上	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B	66点～85点	地域間幹線系統として適した運行となっている
C	51点～65点	改善に向け努力を要する
D	50点以下	見直しを含めた路線のあり方の検討が必要

※C・D評価の系統については、今後国、県の補助要件を満たさなくなるおそれがある。

4 評価対象から「キロ当たり経費」を除外

物価高騰や運転士確保のための処遇改善など、路線維持のために経費が上がっていることから、評価対象から「キロ当たり経費」を除外

7

令和6年度の評価結果

※詳細は別添

	A評価	B評価	C評価	D評価	系統数
山梨交通			1		1
秋葉バスサービス	2	1		1	4
遠州鉄道	10	5		1	16
しづてつジャストライン	4	6		1	11
富士急モビリティ	4				4
富士急バス	2				2
富士急静岡バス	1	1	2		4
富士急シティバス		6			6
伊豆箱根バス	1	2			3
東海バス	7	1			8
合 計	31	22	3	3	59

8

評価結果内訳

○事業者ごとの系統別の評価

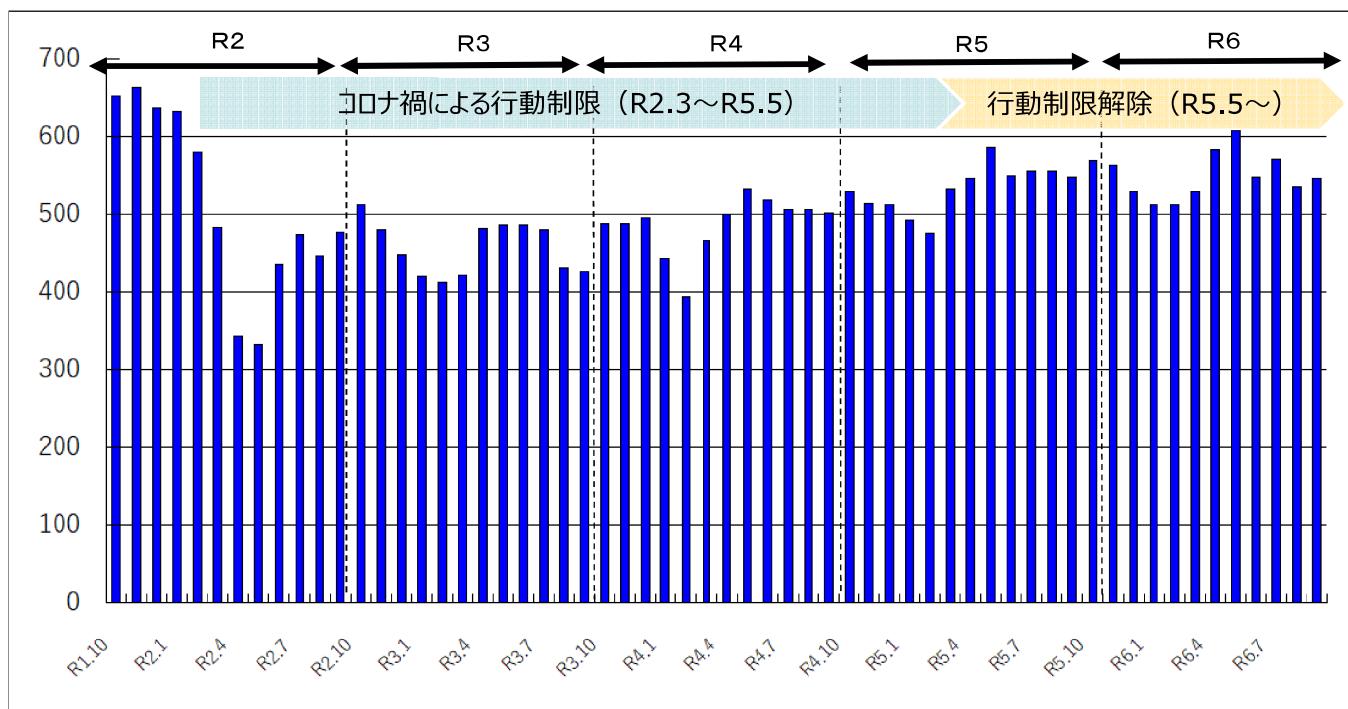
	事業者名	系統名	R 6		事業者名	系統名	R 6		事業者名	系統名	R 6
1	山梨交通	富士宮駅～イオン、星ヶ丘～西原病院	C	しづてつ ジャストライン	22	三保草薙線	B	富士急 シティバス	43	駿河平線	B
2		秋葉線	D		23	五十海大往線	B		44	須山線	B
3		秋葉中遠線	A		24	焼津岡部線	B		45	原線	B
4		秋葉中遠線	A		25	藤枝吉永線	A		46	桜堤線	B
5		秋葉中遠線	B		26	島田静波線	A		47	がんセンター線	B
6	遠州鉄道	浜北医大三方原聖隸線	B		27	島田静波線	B		48	がんセンター線	B
7		磐田市立病院福田線	A		28	藤枝相良線	B		49	沼津大岡三島線	A
8		中ノ町磐田線	B		29	菊川浜岡線	A		50	伊豆箱根バス	長岡伊豆三津シーパラダイス線
9		秋葉線	B		30	掛川大東浜岡線	A		51		沼津静浦長岡線
10		磐田天竜線	A		31	掛川大東浜岡線	B		52		石廊崎線
11		磐田天竜線	B		32	掛川大東浜岡線	D		53		天城峠線
12		掛塚さなる台線	A		33	御殿場線	A		54		戸田線
13		内野台線	A		34	駿河小山線	A		55		西海岸線
14		内野台線	B		35	十里木線	A		56		バサラ峠線
15		磐田市立病院福田線	D		36	河口湖線	A		57		バサラ峠線
16		引佐線	A		37	河口湖線	A		58		下賀茂線
17		萩丘都田線	A		38	新富士線	A		59		柿田線
18		大塚ひとみヶ丘線	A	富士急 静岡バス	39	曾比奈線	C				
19		気賀三ヶ日線	A		40	大瀬線	C				
20		奥山線	A		41	大月線	A				
21		掛塚さなる台線	A		42	大月線	B				

※本年度の評価結果内訳は別添資料参照

〈参考〉県内の乗合バス利用者の推移

(R1.10～R6.9)

(単位:万人)



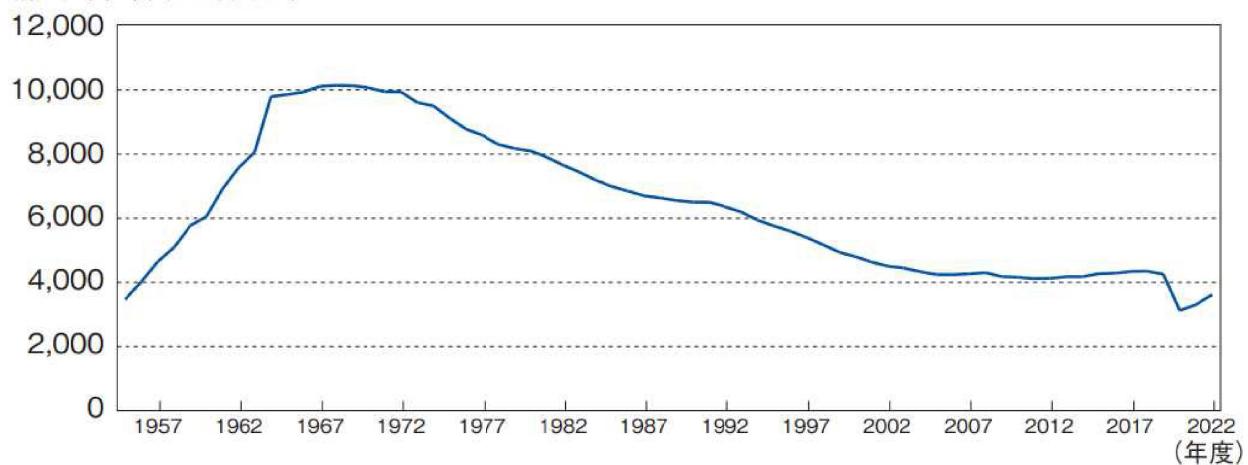
(静岡県地域交通課調査)

10

〈参考〉国内の一般路線バス輸送人員の推移

図表1-3-1-7 一般路線バス輸送人員の推移

輸送人員 (単位:百万人)

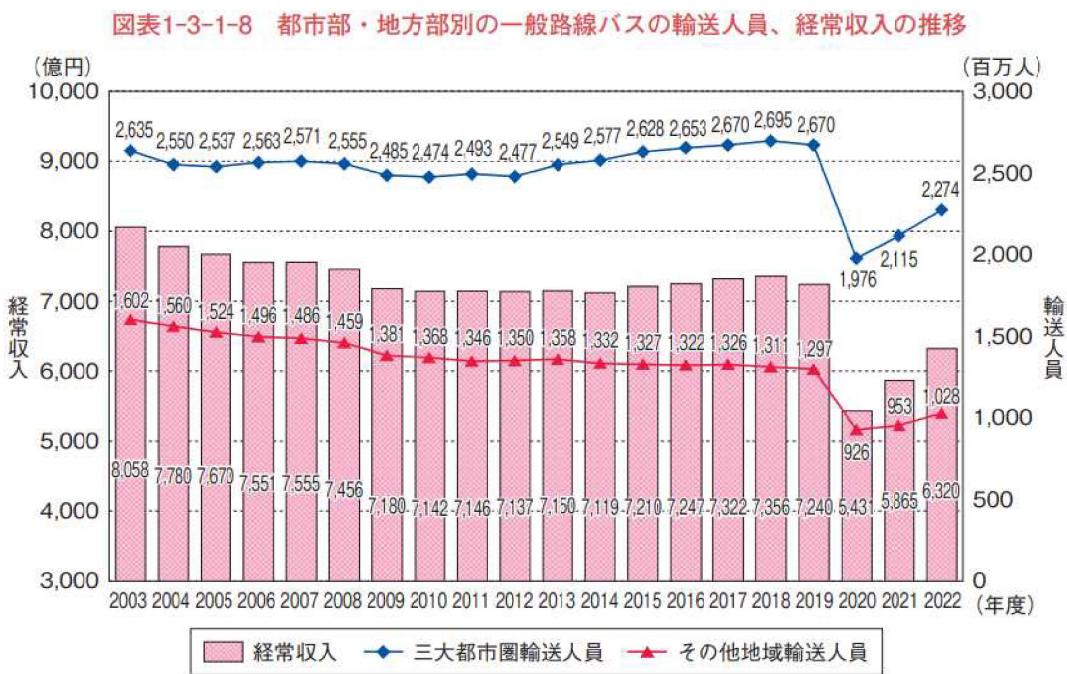


資料:「自動車輸送統計調査」から国土交通省総合政策局作成

(出典:国作成資料令和5(2023)年度交通の動向)

11

〈参考〉一般路線バスの輸送人員、経常収入の推移



注1：各数値データは、乗合バスの保有車両数が30両以上のバス事業者のデータを採用。

注2：三大都市圏とは、埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、三重、岐阜、大阪、京都、兵庫である。

資料：国土交通省物流・自動車局作成

（出典：国作成資料令和5（2023）年度交通の動向）

12

事業者、自治体の連携による利用促進の取組



実施日

令和6年12月7日（土）・8日（日）

対象路線

県内全域の約400路線（路線バス、コミュニティバス含む）

対象者

県内の学校に通う小学生約17万3000人
※リーフレット配布部数

（同規模での小学生を対象としたバス無料デーは全国初）

掲載メディア

- ・NHK放送局、静岡第一テレビ、静岡朝日テレビ、静岡朝日テレビ（Web）、静岡新聞SBS（アットエス）、くふうロコしづおか（Web）
- ・SBSラジオ（IPPO）、FMHaro
- ・静岡新聞、中日新聞、読売新聞



効果検証

- ・無料対象路線での乗車人員調査、小学生や保護者を対象としたアンケートなどを基に実施効果を検証（公表は2～3月を予定）

13

令和6年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

1 事業評価の目的

事業評価は、静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会が定めた静岡県地域公共交通計画に位置づけられた補助対象系統（地域間幹線系統）について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

なお、令和6年度評価では、より実態を反映した評価となるよう、国補助要件となっている「輸送量」を評価項目に加える等の見直しを行った（見直しのポイントは別紙のとおり）。

2 評価項目

評価の観点	評価項目	説明
補助基準	運行回数	実績運行回数が補助要件を満たしているかを評価
	輸送量	実績輸送量が補助要件を満たしているかを評価
実施状況	収支率	実績値を評価(収支率50%以上満点)
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価(+5%以上満点)
幹線性・広域性	ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点数及びバス停数を評価（10点満点）
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価(50%以上満点)
説明事項	(点数なし)	利用実態等を含めた当該系統の運行目的等
事業者の取組		路線維持のための增收策、路線維持のための費用削減策

【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評価	内容
A (86点以上)	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B (66～85点)	地域間幹線系統として適した運行となっている
C (51～65点)	地域間幹線系統として改善に努力を要する
D (0～50点)	地域間幹線系統として見直しの検討を要する

3 事業評価結果の概要

全体評価：B（参考※：R3～4：B、R5：A）※R5以前の評価はR6と評価基準が異なるため参考

- 評価対象系統全59系統中、A評価：31系統、B評価：22系統、C評価：3系統、D評価：3系統
- 平均点数が83.1点であることから、全体評価を『B』とした。
- 各系統の評価結果は別添「令和6年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

(別紙)

見直しのポイント

- ・評価項目を「補助基準」「実施状況」「幹線性・広域性」の3部門に整理した
- ・「補助基準」「実施状況」を各40点満点、「幹線性・広域性」を20点満点とし、系統の特性よりも補助要件を満たしているかや、補助系統の実施状況を重視した『実績指向型』に見直しを行った

区分	評価の考え方	見直し内容
①補助基準	国・県の補助金を満たしているか	<ul style="list-style-type: none">・運行回数に加え、新たに輸送量を評価基準に追加
②実施状況	事業は効果的に実施されたか	<ul style="list-style-type: none">・従前の収支率、乗車人員の評価を採用・収支率、乗車人員は実績に比例した配点とする・キロ当たり経費は、コロナ後の物価高騰や運転士不足等の社会情勢の変化をふまえ、基準単価（ブロック単価）との比較による評価は行わない
③幹線性・広域性	地域間幹線系統としての役割を果たしているか	<ul style="list-style-type: none">・従前のネットワーク構成、広域トリップ率を採用・ネットワーク構成は経路が変わらない限り、系統固有の加点・広域トリップ状況は実績に比例、5%に満たない場合は幹線系統としての役割が僅少であるため0点
④合計	-	<ul style="list-style-type: none">・評価の合計点（満点）を79点から100点に変更・評価指標を「A・B・C」の3段階から「A・B・C・D」の4段階に変更<ul style="list-style-type: none">A : 86点以上 (幹線系統として優れた役割を果たしている)B : 66点～85点 (幹線系統として適した運行となっている)C : 51点～65点未満 (改善に向け努力を要する)D : 50点未満 (見直しを含めた路線のあり方の検討が必要)

令和6年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名	系統名	補助基準(40点)			実施状況(40点)			幹線性・広域性(20点)			評価				
		運行回数 (10点)	実績輸送量 (30点)	収支率 (15点)	乗車人員 (15点)	ネットワーク (10点)	広域トータル (10点)	点数	A 86~100	B 66~85	C 51~65	D 0~50	事業者 平均		
山梨交通	1 富士宮駅・イオン・星山台・清原病院線	10	5	15	12	20	32	6	5	11	58	○	1	58.0	
秋葉バスサービス	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	10	0	10	3	3	6	10	5	15	31	○	○	4	71.0
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	10	30	40	15	20	35	10	5	15	90	○			
	4 秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	10	30	40	15	20	35	6	8	14	89	○			
	5 秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	10	30	40	15	6	21	5	8	13	74	○			
	6 浜北医大三方原聖隸	10	30	40	12	3	15	10	8	18	73	○			
遠州鉄道	7 豊田市立病院豊田線(豊田駅～豊浜郵便局)	10	30	40	15	20	35	7	5	12	87	○			
	8 中ノ町豊田線(豊松駅～中ノ町～豊田営業所)	10	30	40	20	6	26	9	5	14	80	○			
	9 秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	10	30	40	12	15	27	7	8	15	82	○			
	10 豊田天童線(山東～新開～豊田駅)	10	30	40	20	20	40	8	10	18	98	○			
	11 豊田天童線(ららぽーと経由)	10	30	40	15	3	18	8	8	16	74	○			
	12 掛塚さざなぎ台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	10	30	40	20	20	40	9	8	17	97	○			
	13 内野台線(内野台車庫)	10	30	40	20	15	35	10	8	18	93	○			
	14 内野台線(サンストート浜北)	10	30	40	15	6	21	10	8	18	79	○			
	15 豊田市立病院豊田線(豊田駅南口～豊浜郵便局)	10	5	15	3	18	5	10	15	48	○				
	16 引佐線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○			
	17 萩丘都田線	10	30	40	20	15	35	10	5	15	90	○			
	18 大塚ひとみヶ丘線	10	30	40	20	20	40	10	0	10	90	○			
	19 気賀三ヶ日線	10	30	40	20	20	40	10	5	15	95	○			
	20 奥山線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○			
	21 掛塚さざなぎ台線(浜松駅～芳川～掛塚)	10	30	40	20	20	40	8	5	13	93	○			
	22 三保草薙線	10	30	40	15	15	30	10	0	2	12	82	○		
	23 五十海大庄線	10	30	40	12	3	15	10	8	18	73	○			
	24 焼津岡部線	10	30	40	15	3	18	6	6	10	16	74	○		
	25 藤枝吉永線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○			
	26 鳥田静波線(鳥田駅前～静波海岸入口)	10	30	40	12	20	32	10	10	20	92	○			
	27 鳥田静波線(鳥田市立総合医療センター～鳥田駅前～静波海岸入口)	10	30	40	12	3	15	10	10	20	75	○			
	28 藤枝相良線	10	30	40	15	6	21	10	10	20	81	○			
	29 菊川浜岡線	10	30	40	20	20	40	5	8	13	93	○			
	30 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	10	30	40	12	20	32	9	10	19	91	○			
	31 掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83	○			
	32 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	10	0	10	3	3	6	4	10	14	30	○			
	33 御殿場線	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○			
富士急モビリティ	34 駿河小山線	10	30	40	6	26	10	10	10	20	86	○			
	35 十里木線	10	30	40	20	15	35	8	10	18	93	○			
	36 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○			
	37 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○			
	38 新富士線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○			
	39 曽比奈線	10	5	15	20	3	23	8	10	18	56	○			
	40 大洲線	10	5	15	20	3	23	10	10	20	58	○			
	41 大月線(吉原中央駅～静岡県富士山世界遺産センター)	10	30	40	20	6	26	10	10	20	86	○			
	42 大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75	○			
	43 駿河平線	10	30	40	20	3	23	8	8	16	79	○			
富士急シティバス	44 須山線(三島駅～須山)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81	○			
	45 原線	10	30	40	20	3	23	10	2	12	75	○			
	46 桜堤線	10	30	40	20	6	26	7	10	17	83	○			
	47 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	10	30	40	20	3	23	6	5	11	74	○			
	48 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	10	30	40	20	3	23	6	10	16	79	○			
	49 沼津大岡三島線	10	30	40	6	26	10	10	10	20	86	○			
伊豆箱根バス	50 長岡伊豆三津シーパラダイス線	10	30	40	20	3	23	7	5	12	75	○			
	51 沼津静浦長岡線	10	30	40	20	3	23	7	5	12	75	○			
	52 石廊崎線	10	30	40	20	3	23	8	15	19	95	○			
	53 天城岬線	10	30	40	20	4	20	10	8	18	98	○			
	54 戸田線	10	30	40	20	4	20	7	8	15	95	○			
	55 西海岸線	10	30	40	20	4	20	15	10	20	95	○			
東海バス	56 バサラ岬線(下田駅～堂ヶ島)	10	30	40	20	4	20	10	10	20	100	○			
	57 バサラ岬線(下田駅～宇久須)	10	30	40	15	15	30	7	10	17	87	○			
	58 下賀茂線	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83	○			
	59 柿田線	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83	○			
	計							83.1	31	22	3	3	3	59	

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
しづてつジャストライン株式会社	島田静波線	島田駅前	—	静波海岸入口
系統キロ程	関係市町			
20.4 km	島田市	吉田町	牧之原市	

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	6.4回/日	10	6.6回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	25.6人/日	30	23.1人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	39.3%	12	37.3%
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 計画	61,467人 50,814人	20 50,814人 51,891人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点 乗継バス停	3箇所 7箇所	10 3箇所 3箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	60.4%	10	62.7%

補助基準	40 /40
実施状況	32 /40
幹線性・広域性	20 /20
合計	92 /100

評価指標
A

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
 B : 幹線として適した運行となっている
 C : 改善に努力を要する
 D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市、吉田町及び牧之原市住民の島田駅までの通勤、通学 ・榛原総合病院までの通院 ・島田商業高校及び榛原高校への通学
ネットワーク構成の詳細	<p>(拠点)</p> <p>静波海岸入口・榛原総合病院・島田駅前</p> <p>(乗継ぎバス停)</p> <p>静波二丁目・牧之原警察署・片岡北吉田特別支援学校・吉田IC入口・井口堺・色尾・道悦島</p>
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>牧之原市役所榛原庁舎・川崎小学校・榛原高校・細江小学校・榛原総合病院・牧之原警察署・住吉小学校・中央小学校・吉田中学校・吉田町役場・吉田特別支援学校・自彊小学校・倉橋学園キラリ高校・初倉小学校・初倉南小学校・島田第五小学校・アピタ島田店・島田商業高校・島田駅</p>

4 事業者の取組

項目	内容
增收策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 ・運賃改定の実施（2024年10月1日より）
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
しづてつジャストライン株式会社	島田静波線	島田市立総合医療センター	島田駅前	静波海岸入口
系統キロ程	関係市町			
22.8 km	島田市	吉田町	牧之原市	

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	6.8回/日	10	7.2回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	23.8人/日	30	26.6人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	33.8%	12	38.3%
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 計画	65,175人 78,650人	3 78,650人 73,264人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点 乗継バス停	4箇所 8箇所	10 4箇所 5箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	52.4%	10	54.1%

補助基準	40 /40
実施状況	15 /40
幹線性・広域性	20 /20
合計	75 /100

評価指標
B

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
 B : 幹線として適した運行となっている
 C : 改善に努力を要する
 D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市、吉田町及び牧之原市住民の島田駅までの通勤、通学 ・榛原総合病院及び島田市立総合医療センターまでの通院 ・島田商業高校及び榛原高校への通学
ネットワーク構成の詳細	<p>(拠点)</p> <p>静波海岸入口・榛原総合病院・島田駅前・島田市立総合医療センター</p> <p>(乗継ぎバス停)</p> <p>静波二丁目・牧之原警察署・片岡北吉田特別支援学校・吉田IC入口・井口堺・色尾・道悦島・島田郵便局前</p>
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>牧之原市役所榛原庁舎・川崎小学校・榛原高校・細江小学校・榛原総合病院・牧之原警察署・住吉小学校・中央小学校・吉田中学校・吉田町役場・吉田特別支援学校・自彊小学校・倉橋学園キラリ高校・初倉小学校・初倉南小学校・島田第五小学校・アピタ島田店・島田商業高校・島田駅・島田年金事務所・静岡家裁出張所・島田第二小学校・附属島田中学校・島田第二中学校・島田第四小学校・島田市立看護専門学校・島田市立総合医療センター</p>

4 事業者の取組

項目	内容
增收策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 ・運賃改定の実施（2024年10月1日より）
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
しづてつジャストライン株式会社	藤枝相良線	藤枝駅南口	静波海岸入口	相良営業所
系統キロ程	関係市町			
26.6 km	藤枝市	焼津市	吉田町	牧之原市

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	11.7回/日	10	13.2回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	59.6人/日	30	55.4人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	45.8%	15	42.1%
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 163,313人 計画 169,492人	6	169,492人 129,202人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点 3箇所 乗継バス停 8箇所	10	4箇所 4箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移動はされているか	76.3%	10	75.9%

補助基準	40 /40
実施状況	21 /40
幹線性・広域性	20 /20
合計	81 /100

評価指標
B

- A : 幹線として優れた役割を果たしている
 B : 幹線として適した運行となっている
 C : 改善に努力を要する
 D : 見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	<ul style="list-style-type: none"> ・藤枝市、焼津市、吉田町及び牧之原市住民の藤枝駅までの通勤 ・清流館高校、榛原高校及び相良高校までの通学 ・榛原総合病院までの通院
ネットワーク構成の詳細	<p>(拠点)</p> <p>静波海岸入口・榛原総合病院・藤枝駅南口</p> <p>(乗継ぎバス停)</p> <p>相良営業所・相良本通・静波二丁目・牧之原警察署・吉田町役場・片岡北吉田特別支援学校・宗高新町・東名大井川</p>
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>相良小学校、中学校、高校・牧之原市役所相良庁舎・牧之原市役所榛原庁舎・川崎小学校・榛原高校・牧之原健康福祉センター・細江小学校・榛原総合病院・牧之原警察署・吉田中学校・吉田町役場・吉田特別支援学校・自彊小学校・倉橋学園キラリ高校・清流館高校・高洲南小学校・藤枝消防署南分署・BiVi藤枝・藤枝順心高校・静岡県武道館・藤枝駅</p>

4 事業者の取組

項目	内容
增收策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学校へのバス教室の実施 ・バス乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載 ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 ・停留所の新設（相良営業所移転に伴う停留所の新設） ・運賃改定の実施（2024年10月1日より）
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる、燃費改善の為の指導） ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し

地域間幹線系統に対する市町取組方針報告書

市町名		牧之原市
対象系統		
評価指標	A	島田静波線（島田駅系統）
	B	島田静波線（総合医療センター系統）、藤枝相良線
	C	
	D	
市町の取組		
<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対するバス路線利用促進 ・市役所庁舎内にて、路線図や時刻表の配架 ・関係市町とともに欠損補助を実施予定 ・産業フェアにて、低床バスの展示 ・市内在住の高校生に対して、通学定期券購入費用の一部を補助 		
今後の方針（市町の意向等）		
評価指標	A または B	当路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者、関係市町と連携し運行を継続・維持する。継続維持に当たり、市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進を図る。
	C または D	

(記載要領)

- 「市町の取組」は、評価期間に実施した利用促進策等の取組を記載してください。
- 「今後の方針（市町の意向等）」は、当該系統をどのように維持していくか、簡潔に記載してください。なお、輸送量が20人/日未満（特に評価指標がCまたはDの系統）については、国及び県の補助要件（輸送量15人/日等）を満たさなくなり、今後補助を受けられなくなるおそれがあるため、より具体的な取組や市町の意向を記載してください。

議 事

(1) 令和7年度の運行に関する事項

② 生活交通確保計画案(承認)

生活交通確保計画案(承認)

議 事

(1)令和7年度の運行に関する事項

② 生活交通確保計画案(承認)

ア 自主運行バスの運行について

運行状況

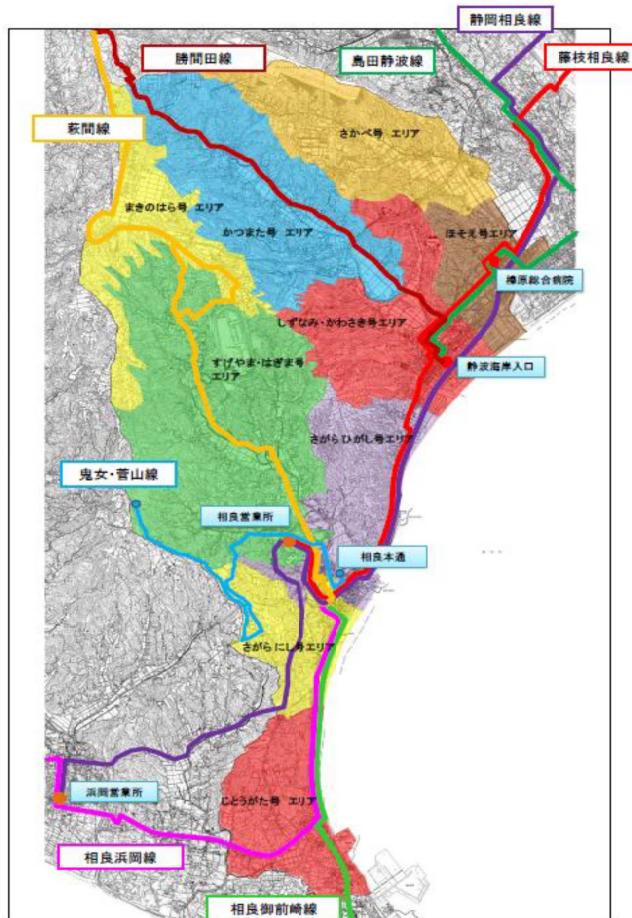
路線図

【乗合バス路線】

- 特急静岡相良線(紫)
- 藤枝相良線(赤)
- 島田静波線(緑)

【自主運行バス路線】

- 萩間線(黄)
- 勝間田線(茶)
- 鬼女・菅山線(青)
- 相良御前崎線(黄緑)
- 相良浜岡線(桃)



1

自主運行バス

路線名	起点	終点	経路市町
萩間線	相良本通	金谷駅 (金谷小学校)	島田市・菊川市・○牧之原市
勝間田線	静波海岸入口	金谷駅 (金谷小学校)	島田市・○牧之原市
鬼女菅山線	菅山原	相良庁舎	牧之原市
相良御前崎線	御前崎海洋センター	相良本通	○御前崎市・牧之原市
相良浜岡線	御前崎市民病院 (浜岡営業所)	相良本通	○御前崎市・牧之原市

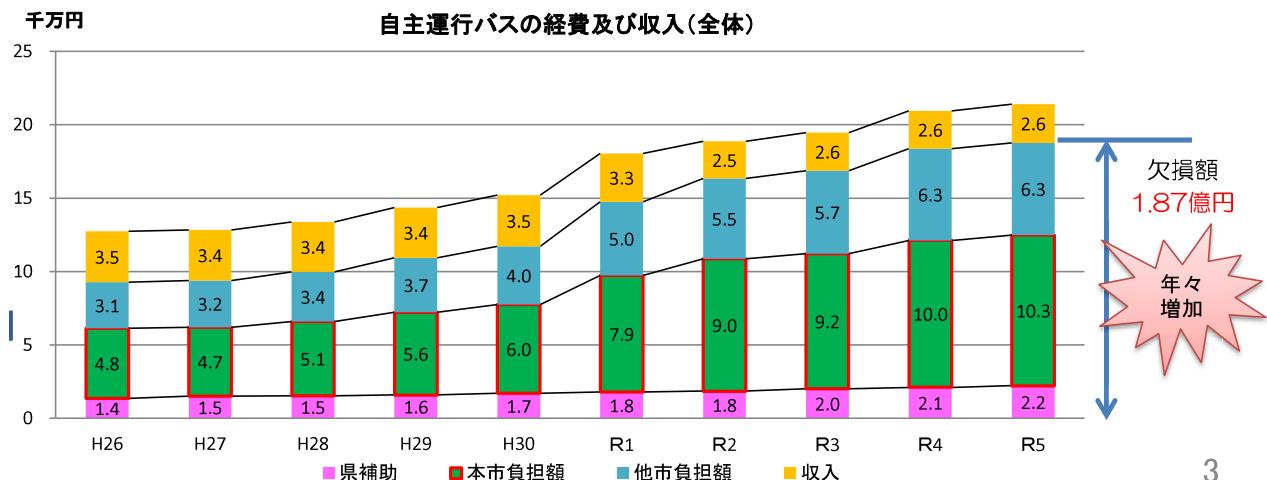
路線名	1日便数 ()は休日	乗車人数/日 (R6OD調査)	利用客中の 小学生割合	主な停留所
萩間線	21(14)	194	73人(32.5%)	金谷駅、金谷小学校、相良本通
勝間田線	10(6)	46	32人(69.6%)	金谷駅、金谷小学校、静波海岸入口
鬼女・菅山線	3(0)	27	20人(74.1%)	菅山原、相良庁舎
相良御前崎線	17(10)	46	3人(6.5%)	相良本通、御前崎海洋センター
相良浜岡線	18(11)	55	0%	相良本通、浜岡営業所、御前崎総合病院

※○印は、委託等の事務を行う市。

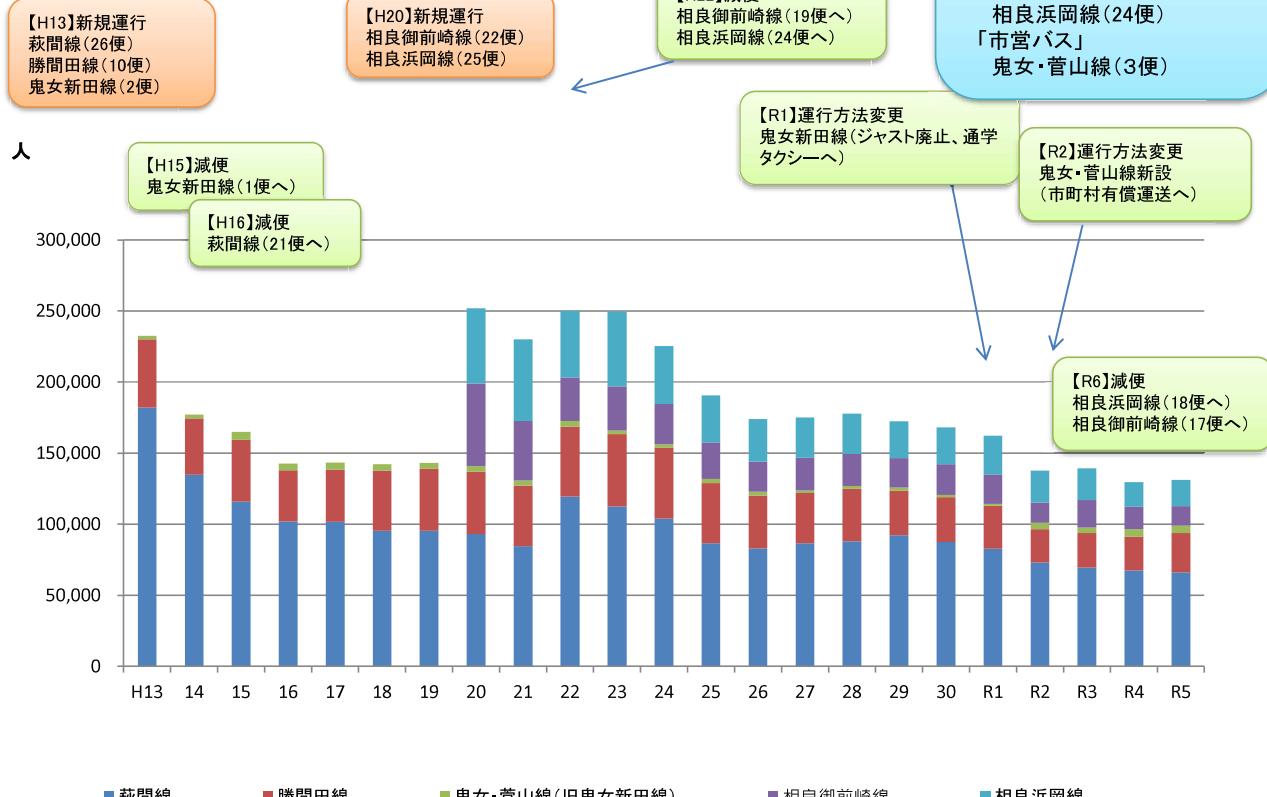
2

運行に関する経費(令和5年度実績)

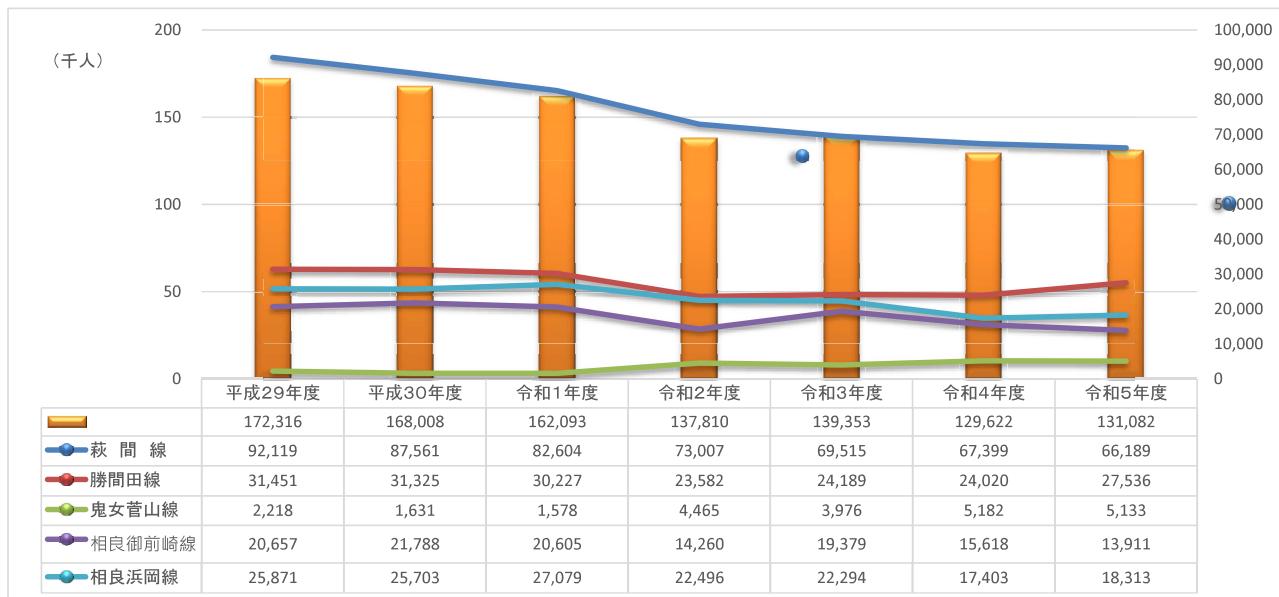
路線名	委託金額	運賃収入	欠損額	市実質負担額
萩間線	74,591,000	13,468,768	61,122,232	32,906,931
勝間田線	33,440,000	3,241,651	30,198,349	17,908,215
鬼女・菅山線	4,402,250	413,585	3,988,665	3,104,665
相良御前崎線	45,969,000	3,990,480	41,978,520	23,977,353
相良浜岡線	55,506,000	5,116,039	50,389,961	24,818,752
計	213,908,250	26,230,523	187,677,727	102,715,916



乗車人員の推移



乗車人員の推移

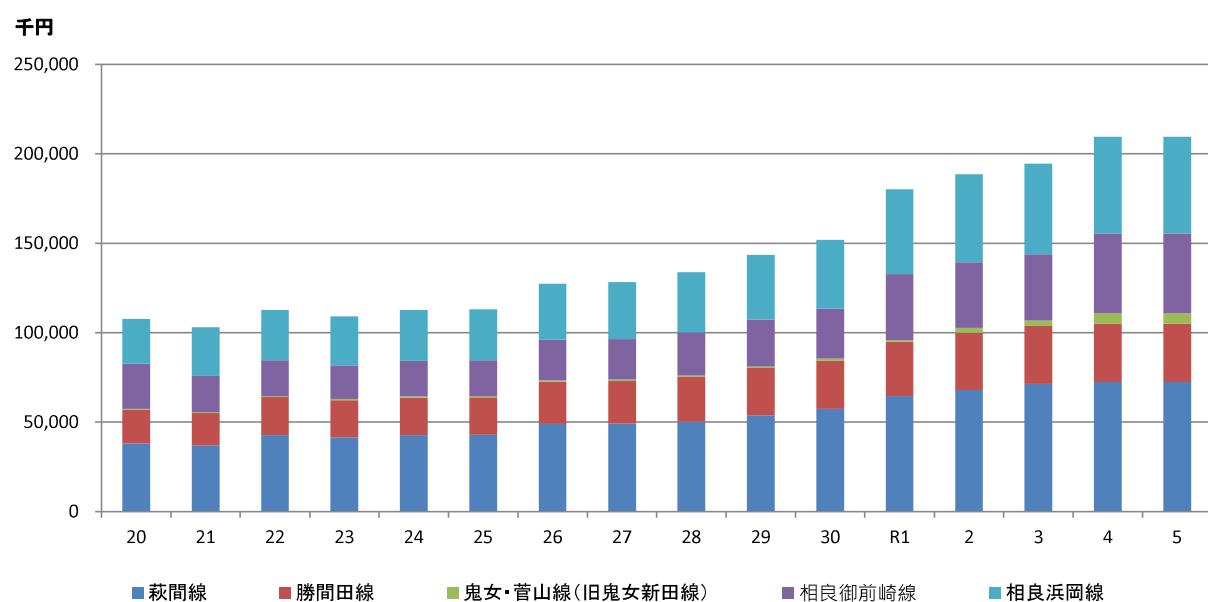


年々減少傾向にある。令和5年度は前年比増加傾向。

萩間線、相良御前崎線において減少傾向にある。

5

運行経費の推移



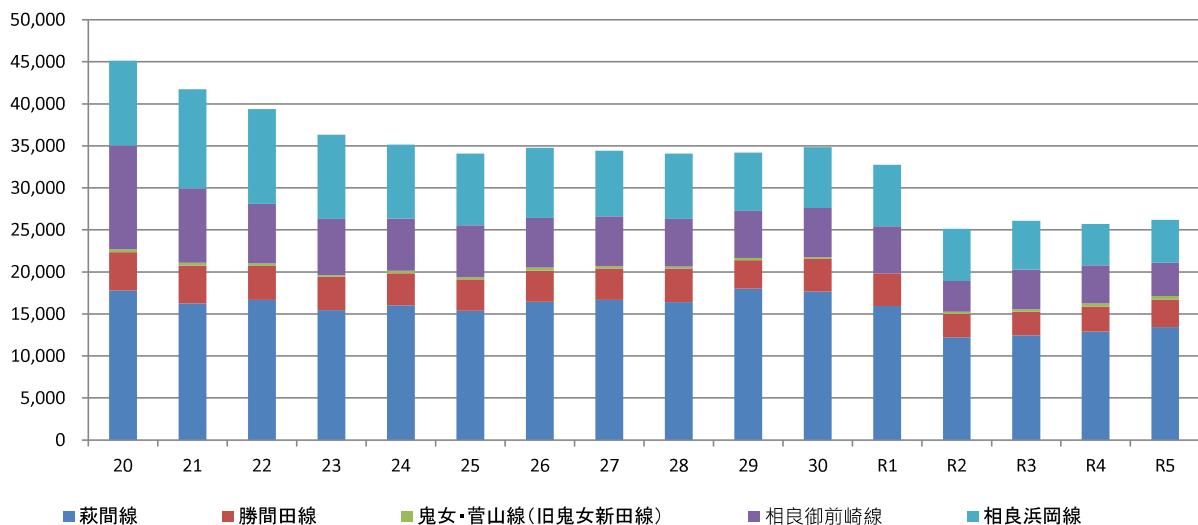
経費は年々上昇している……平成20年の約2倍

要因は、運転手不足への待遇改善経費の増加、燃料費の変動
ジャストラインのキロ当たり経費の変動が大きく影響する。

6

運賃収入の推移

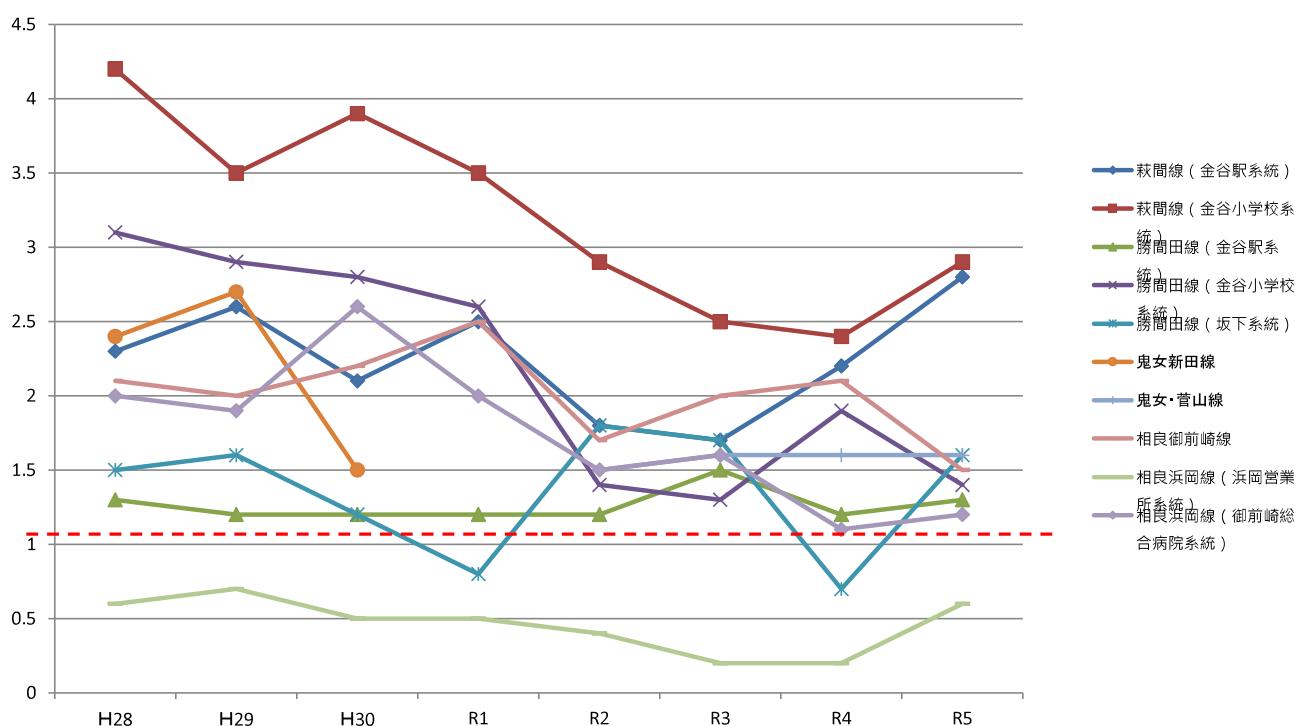
千円



令和2年度に、新型コロナウイルス感染症の影響によって、令和元年度に比べて利用者が大幅に減少し、運賃収入も減少した。それ以降は徐々に増加傾向にはあるが厳しい状況にある。

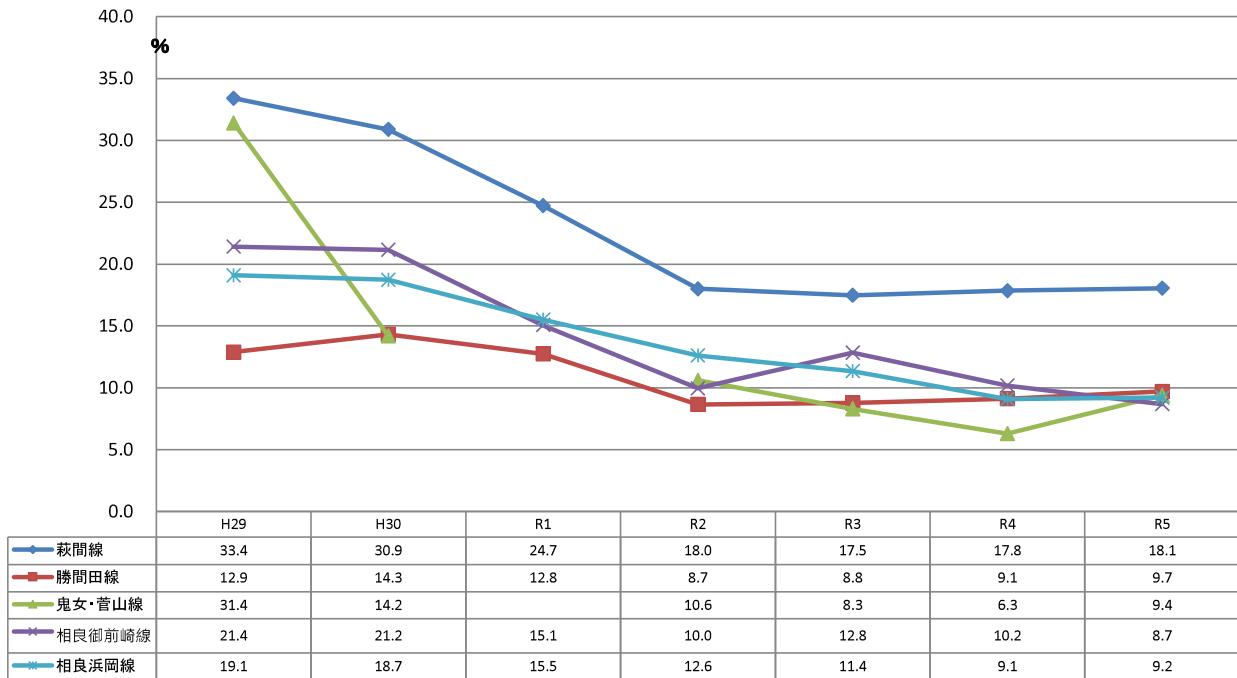
7

平均乗車密度(OD調査結果)



8

収支率



令和5年度は前年度比ほぼ変わらない状況。
相良御前崎線以外の路線は微増傾向である。

自主運行バスの運行への市の考え方

- 市内の自主運行バスは、JRや乗継拠点に結ぶための重要な路線であり、継続的に路線の運行を図りたい。
- 利用者の増加に繋がるよう、利用促進策に努める。
- コロナ禍により、利用者の減少により厳しい状況にあるが、交通事業者、関係市町等と協議していく。

議 事

(1)令和7年度の運行に関する事項

② 生活交通確保計画案(承認)

イ 自主運行バスの運行について

自家用有償旅客運送の更新登録の申請

自家用有償旅客運送の更新登録の申請について

1 運行の概要

- ①路 線 鬼女・菅山線 11.9 km (菅山原一須々木入口一相良庁舎)
 ②運 行 日 年 210 日 (相良小学校、菅山小学校開校日)
 ③運行便数 日 3 便 (菅山原発 1 便、相良庁舎発 2 便)
 ④運 費 大人 (12 歳以上の方) : 200 円
 小人 (6 歳以上 12 歳未満の方) : 100 円
 小学校就学前の乳幼児 (6 歳未満) : 無料
 障がい者 : 上記区分の半額
 定期券 : 大人、小人料金の 55%
 (期間での算出ではなく、利用回数による算出)

2 使用車両

運転手 1 、助手席 1 、正座席 21 席、補助席 6 席 計 29 席



3 主な利用者等 (R 6)

相良小学校生 6 人
 菅山小学校生 7 人
 相良中学校生 6 人 (小学校卒業後も朝便のみ利用)

【バス利用者】

	相小生	菅小生	相中生	
			相良	菅山
1年	1 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (0)
2年	0 (0)	1 (1)	2 (0)	0 (0)
3年	2 (2)	1 (0)	1 (0)	2 (0)
4年	0 (0)	0 (0)		
5年	0 (0)	2 (1)		
6年	3 (3)	2 (0)		
小計	6 (6)	7 (4)	6 (0)	
合計	19 (10)			

() 書きは夕方便

※令和 6 年から、朝の 1 便目に一般利用者 1 名が乗車 (週 1 程度)

3 現在の登録状況

- ①法的位置付け 道路運送法第 79 条交通空白地有償運送
 ②登録番号 中静市交第 18 号
 ③登録有効期間 令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日 (3 年間)
 (第 1 期 令和 2 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日 2 年間)
 ④更新後の有効期間 令和 7 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日の 3 年間 (予定)

4 鬼女・菅山線の特徴と課題

① 定時定路線運行

利用実態はスクールバスに近いが、現状は一般利用者も使う路線バスとして決まった時刻に運行しているため、短縮日課等で児童が使えないこともあり、その場合、午後の便は使わないことが分かっていても運行している状況にある。

② 学校再編に合わせた路線再編

令和 15 年頃を予定する学校再編後の通学手段はスクールバスとなることから、将来的には路線廃止を予定。

③ 安全対策

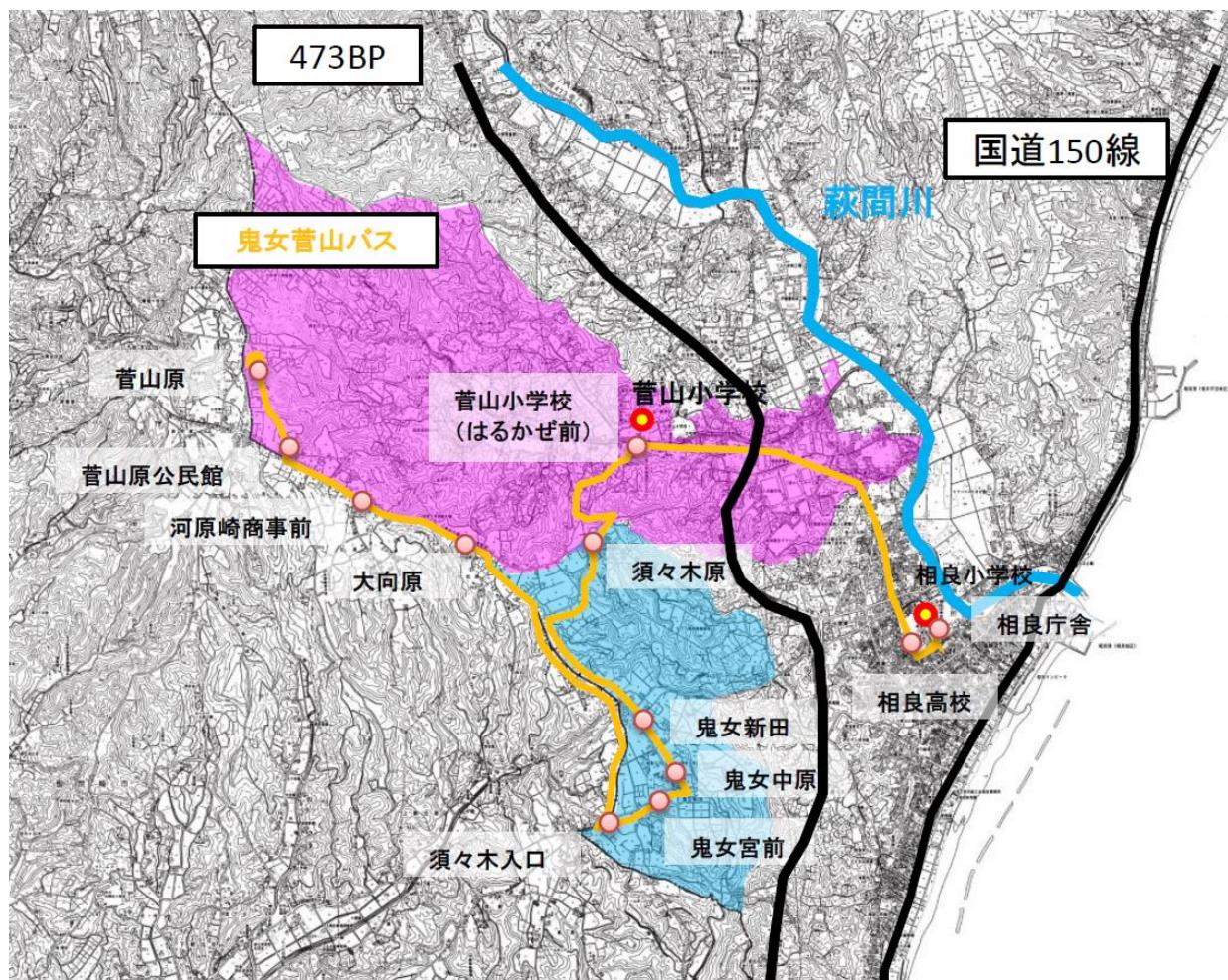
昨年 4 月の運行中に、茶畑に突っ込む事故が発生。保護者からは安全性を高める取組を求められる中、緊急時連絡体制の見直し、ドライブレコーダーの増設、AED 常備を実施し、委託事業者に対し、定期的な交通安全講習会の実施を指示した。

◆運行時刻

【菅山原発】		【相良庁舎発】		
名 称	1便	名 称	1便	2便
菅山原	7:00	相良庁舎	14:45	15:40
菅山原公民館	7:02	相良高校	14:48	15:43
河原崎商事前	7:04	菅山小学校 (はるかぜ)	14:55	15:50
大向原	7:06	須々木原	14:58	15:53
須々木入口	7:12	鬼女新田	15:03	15:58
鬼女宮前	7:13	鬼女中原	15:04	15:59
鬼女中原	7:15	鬼女宮前	15:05	16:00
鬼女新田	7:16	須々木入口	15:07	16:02
須々木原	7:21	大向原	15:13	16:08
菅山小学校 (はるかぜ)	7:24	河原崎商事前	15:15	16:10
相良高校	7:31	菅山原公民館	15:17	16:12
相良庁舎	7:34	菅山原	15:19	16:14

※運行状況により、遅延が発生する場合があります。

◆ 路線図



様式第1-2号

令和7年 月 日

中部運輸局 静岡運輸支局長 殿

名 称 牧之原市
住 所 静岡県牧之原市静波447番地1
代表者の氏名 牧之原市長 杉本 基久雄

自家用有償旅客運送の更新登録の申請

このたび、自家用有償旅客運送の有効期間の更新を行いたいので、道路運送法第79条の6及び同法施行規則第51条の10の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

1. 名称、住所、代表者の氏名

名 称 牧之原市
住 所 静岡県牧之原市静波447番地1
代表者の氏名 牧之原市長 杉本 基久雄

2. 登録番号

中静市交第18号

3. 自家用有償旅客運送の種別

交通空白地有償運送

4. 路線又は運送の区域

(1) 路線

	起 点	主たる経過地	終 点	キ ロ 程
1	菅山原	須々木原	相良庁舎	11.9km

(2) 運送の区域

区 域	備 考

5. 事務所の名称及び位置

事務所の名称	位 置
市役所榛原庁舎	静岡県牧之原市静波 447 番地 1

6. 事務所ごとに配置する自家用有償旅客運送自動車の数及びその種類ごとの数

事務所の名称	保有区分	バス	普通自動車 (軽)	合 計
市役所榛原庁舎	保有	2	1 ()	3
	持込	※	()	※
	合計	2	1	3

軽自動車については、() 内に内数で記載すること

事業用自動車については、※欄に記載すること

7. 運送しようとする旅客の範囲

牧之原市に在住する住民及びその親族、その他牧之原市に日常の用務を有する者

8. 路線又は運送の区域ごとの対価の額（必要に応じ関係資料を添付のこと）

- ・大人（12歳以上の方）：200円
- ・小人（6歳以上12歳未満の方）：100円
- ・小学校就学前の乳幼児（6歳未満）：無料
- ・障がい者：上記区分の半額
- ・定期券：大人、小人料金の55%（期間での算出ではなく利用回数による算出）

9.（事業者協力型自家用有償旅客運送の場合）協力事業者の氏名又は名称及び住所

10. 添付書類

- (1) 定款又は寄付行為、登記事項証明書、役員名簿
- (2) 路線図
- (3) 法第79条の4第1～4号に該当しない旨を証する書類
- (4) 地域公共交通会議等において協議が調ったことを証する書類

- (5) 自家用有償旅客運送自動車についての使用権原を証する書類
- (6) 運転者が必要な要件を備えていることを証する書類
- (7) 運行管理の責任者及び運行管理の体制を記載した書類
- (8) 整備管理の責任者及び整備管理の体制を記載した書類
- (9) 事故発生時の対応に係る責任者及び連絡体制を記載した書類
- (10) 自家用有償旅客運送自動車の運行により生じた旅客その他の生命、身体又は財産の損害を賠償するための措置を講じていることを証する書類

議 事

(1) 令和7年度の運行に関する事項

② 生活交通確保計画案(承認)

イ デマンド乗合タクシーの運行について

利用状況

デマンド乗合タクシーの現状

(令和6年10月までの実績)

令和7年1月

地域振興課

1

基本的な運行内容

【利用可能者】

- 75歳以上の者
- 自動車運転免許非保有者
- 障がい者
- 要介護、要支援認定者
- 妊婦
- 市長が認めた者(一時負傷者等)

【運行頻度】

- 週3日、日8便

※さかべ号、じとうがた号は週2便。さかべ号はサロン臨時運行含めると週3便となる。

R6.4.1現在	登録者数
さかべ号	85名
かつまた・まきのはら号	222名
すげやま・はぎま号	171名
じとうがた号	126名
しづなみ・かわさき・ほそえ号	260名
さがらひがし・さがらにし号	182名

【特定施設】

- 基本的には、市内の病院、スーパー、公共施設、金融機関

※必要と認める場合は、病院のみ市外も指定(さかべ号…吉田町6病院を指定)
(じとうがた号…御前崎市5病院を指定)

【運賃】

- 概ねタクシー料金の1/4
- お試し乗車券、10回利用割引あり

2

運行状況(運行開始から令和6年10月まで)

■利用状況

名称	運行月数	累計運行便数(便)	稼働率	累計利用者数(人)	実利用者数	乗合率	月平均運行便数(便)	月平均利用者数(人)
さかべ号	85	1952	30.2%	2,714	10人	1.39	22.96	32.00
かつまた・まきのはら号	7	301	26.2%	354	14人	1.17	42.36	50.57
すげやま・はぎま号	43	1897	49.4%	2,994	27人	1.59	44.73	70.59
じとうがた号	69	839	27.3%	1,119	12人	1.32	12.16	16.22
しづなみ・かわさき・ほそえ号	7	728	60.3%	782	34人	1.07	104.00	111.71
さがらひがし・さがらにし号	7	388	42.5%	450	30人	1.16	55.43	64.29

- かつまた号とまきのはら号は、まきのはら号の利用が榛原市街地への需要が高いことから、かつまた号との乗合が可能であるという実績より、令和6年4月から2つの号を統合をし「かつまた・まきのはら号」として運行を開始した。
- しづなみ・かわさき号とほそえ号は、行先がそれぞれ静波・細江地区がほとんどであることから、乗合が可能であるという実績より、令和6年4月から2つの号を統合をし、「しづなみ・かわさき・ほそえ号」として運行を開始した。
- さがらひがし号とさがらにし号は、行先がそれぞれ相良地区、細江地区(榛原病院)がほとんどであることから、乗合が可能であるという実績より、令和6年4月から2つの号を統合をし、「さがらひがし・さがらにし号」として運行を開始した。

3

■収支状況(令和6年10月)

名称	運行経費(円)	運賃収入(円)	市負担額(円)	収支率	月平均運行経費(円)	月平均運賃収入(円)	月平均市負担額(円)
さかべ号	4,375,110	1,180,000	3,195,110	27.0%	51,472	13,882	37,590
かつまた・まきのはら号	998,770	159,250	839,520	15.9%	142,681	22,750	119,931
すげやま・はぎま号	4,087,140	1,111,800	2,952,940	27.2%	95,050	25,856	68,673
じとうがた号	2,140,460	424,750	1,715,710	19.8%	32,016	6,156	24,865
しづなみ・かわさき ほそえ号	1,233,700	242,050	991,650	19.6%	176,242	34,579	141,664
さがらひがし さがらにし号	715,830	129,000	586,830	18.0%	102,261	18,429	83,833

4

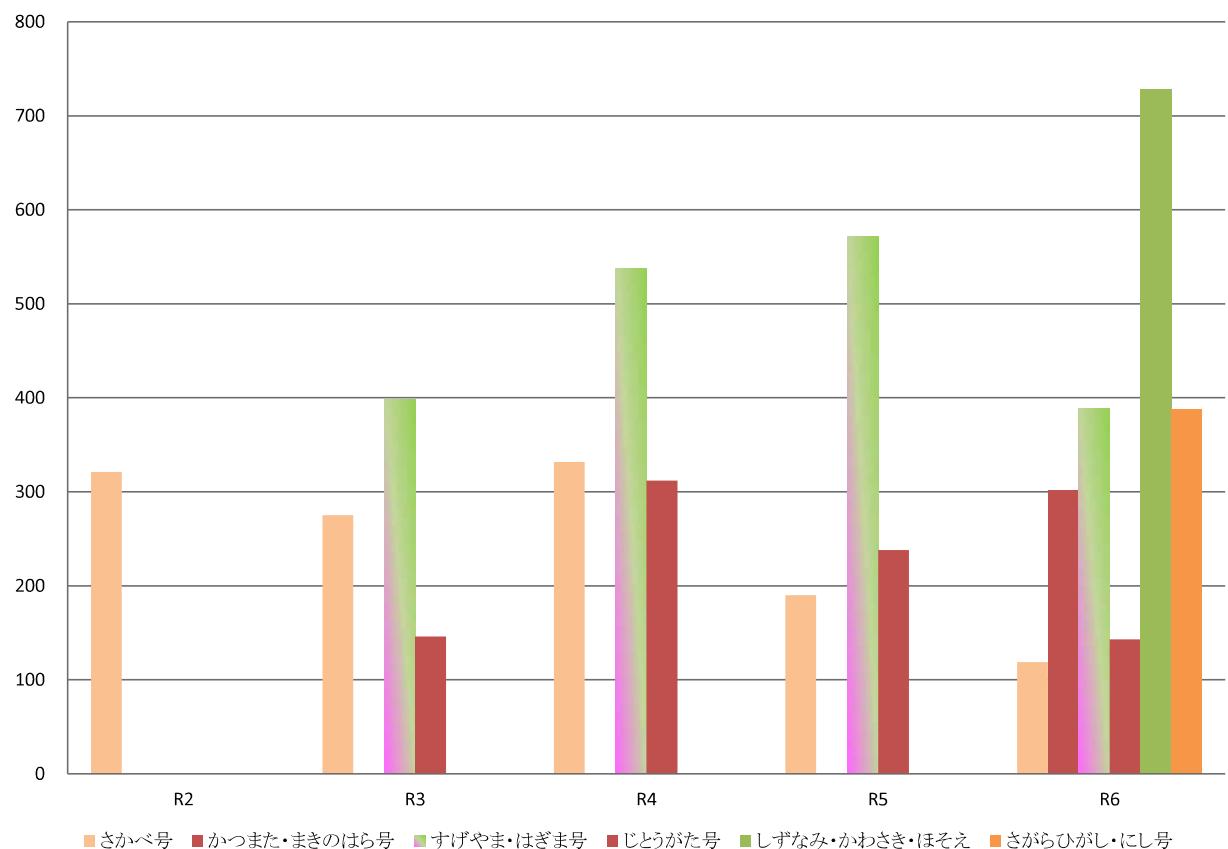
運行回数(令和6年10月)

(回)

名称	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計
さかべ号	95	297	323	321	275	332	190	119	1,952
かつまた・まきのはら号								363	363
かつまた号		63	253	281	350	212	274		1,433
まきのはら号					156	198	179		533
すげやま・はぎま号					398	538	572	389	1,897
すげやま号		27	155	230					412
はぎま号			2	53					55
じとうがた号					146	312	238	143	839
しづなみ・かわさき・ほそえ号								728	728
しづなみ・かわさき号						164	663		827
ほそえ号						82	141		223
さがらひがし・にし号									388
さがらひがし号						95	290		385
さがらにし号						34	158		192
計	95	387	733	885	1,325	1,967	2,705	1,790	7,484

5

運行回数



6

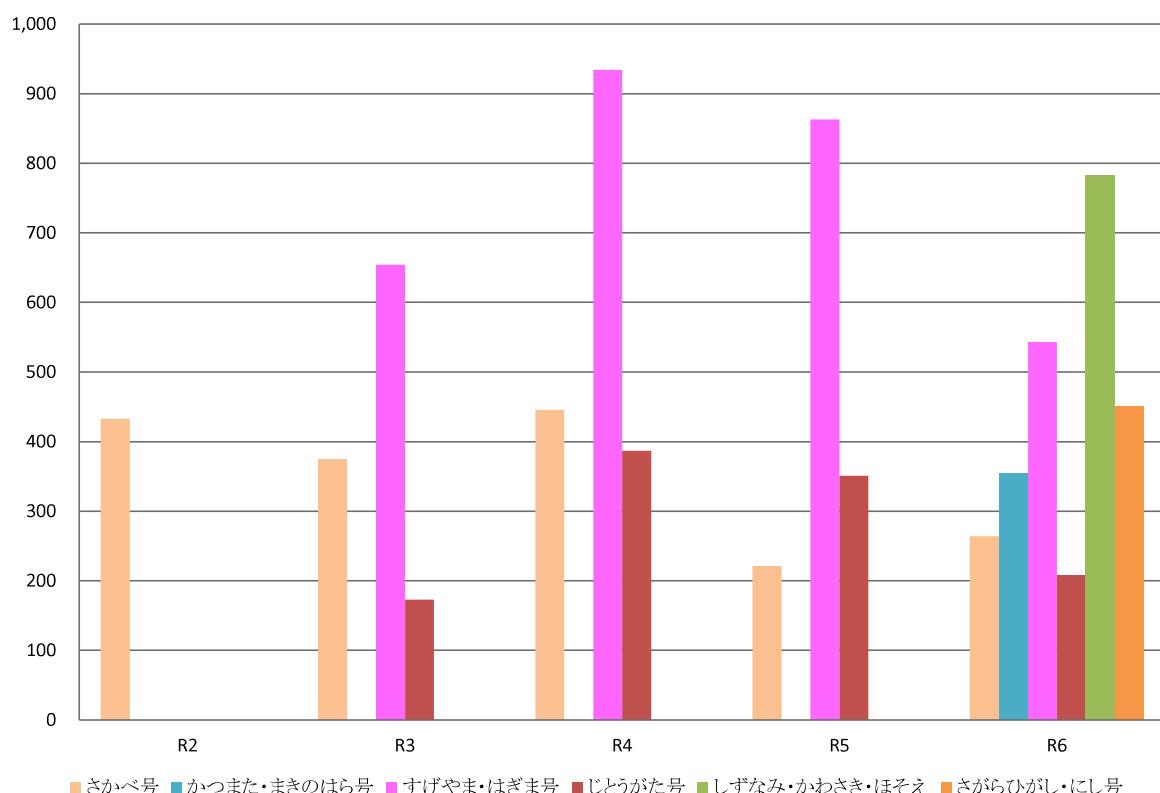
■ さかべ号 ■ かつまた・まきのはら号 ■ すげやま・はぎま号 ■ じとうがた号 ■ しづなみ・かわさき・ほそえ ■ さがらひがし・にし号

利用者推移(延人数)

名称	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計
さかべ号	102	416	457	433	375	446	221	264	2,714
かつまた・まきのはら号								354	354
かつまた号		102	342	363	460	359	237		1,863
まきのはら号					230	324	311		865
すげやま・はぎま号					654	934	863	543	2,994
すげやま号			36	197	423	549	374		1,579
はぎま号				2	56	105	102		265
じとうがた号					173	387	351	208	1,119
しづなみ・かわさき・ほそえ								782	782
しづなみ・かわさき号						183	752		935
ほそえ号						93	150		243
さがらひがし・にし号								450	450
さがらひがし号						107	344		451
さがらにし号						44	189		233
計	102	518	835	995	2,371	3,531	3,894	2,601	14,847

7

利用者数



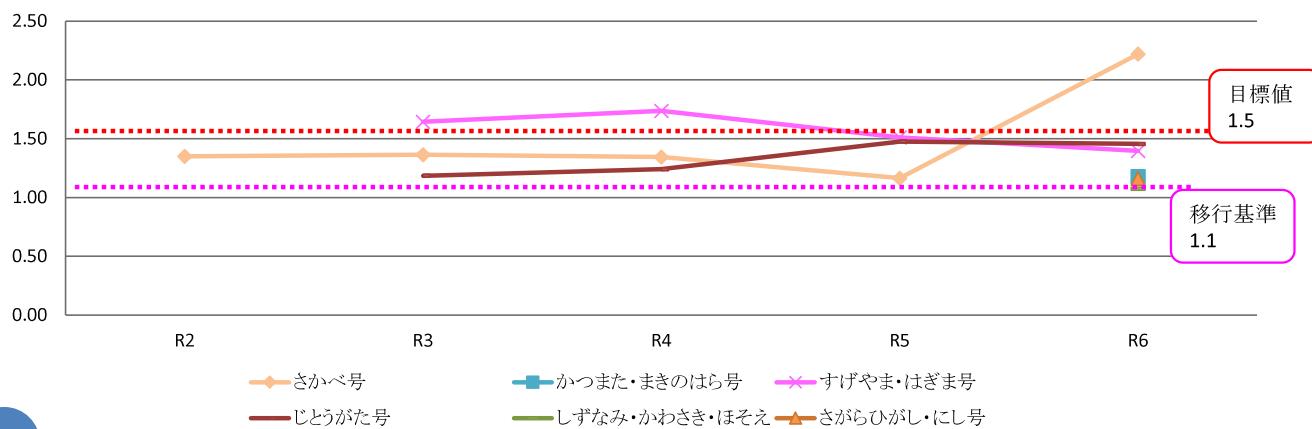
■ さかべ号 ■ かつまた・まきのはら号 ■ すげやま・はぎま号 ■ じとうがた号 ■ しづなみ・かわさき・ほそえ ■ さがらひがし・にし号

8

乗合率

(人/便)

名称	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
さかべ号	1.07	1.40	1.41	1.35	1.36	1.34	1.16	2.22
かつまた・まきのはら号								1.18
すげやま・はぎま号					1.64	1.74	1.51	1.40
じとうがた号					1.18	1.24	1.47	1.45
しづなみ・かわさき・ほそえ号								1.07
さがらひがし・にし号								1.16

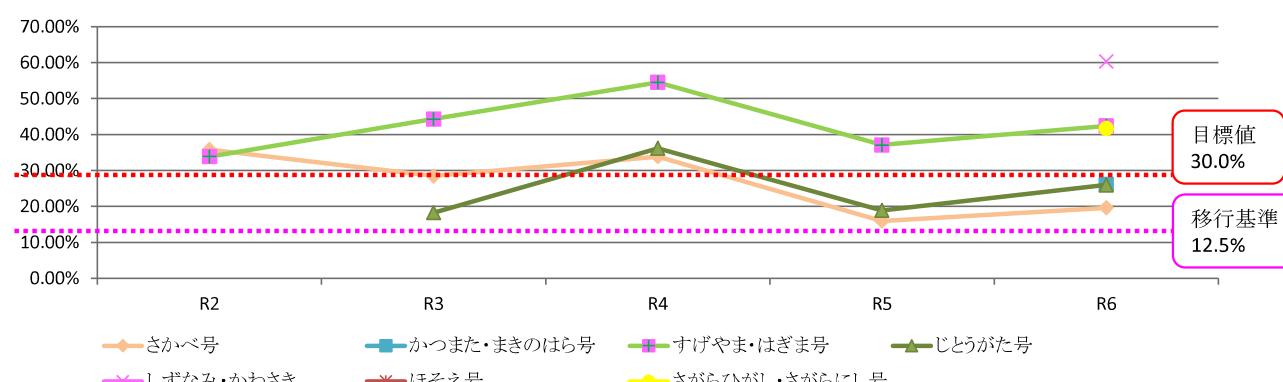


9

稼働率

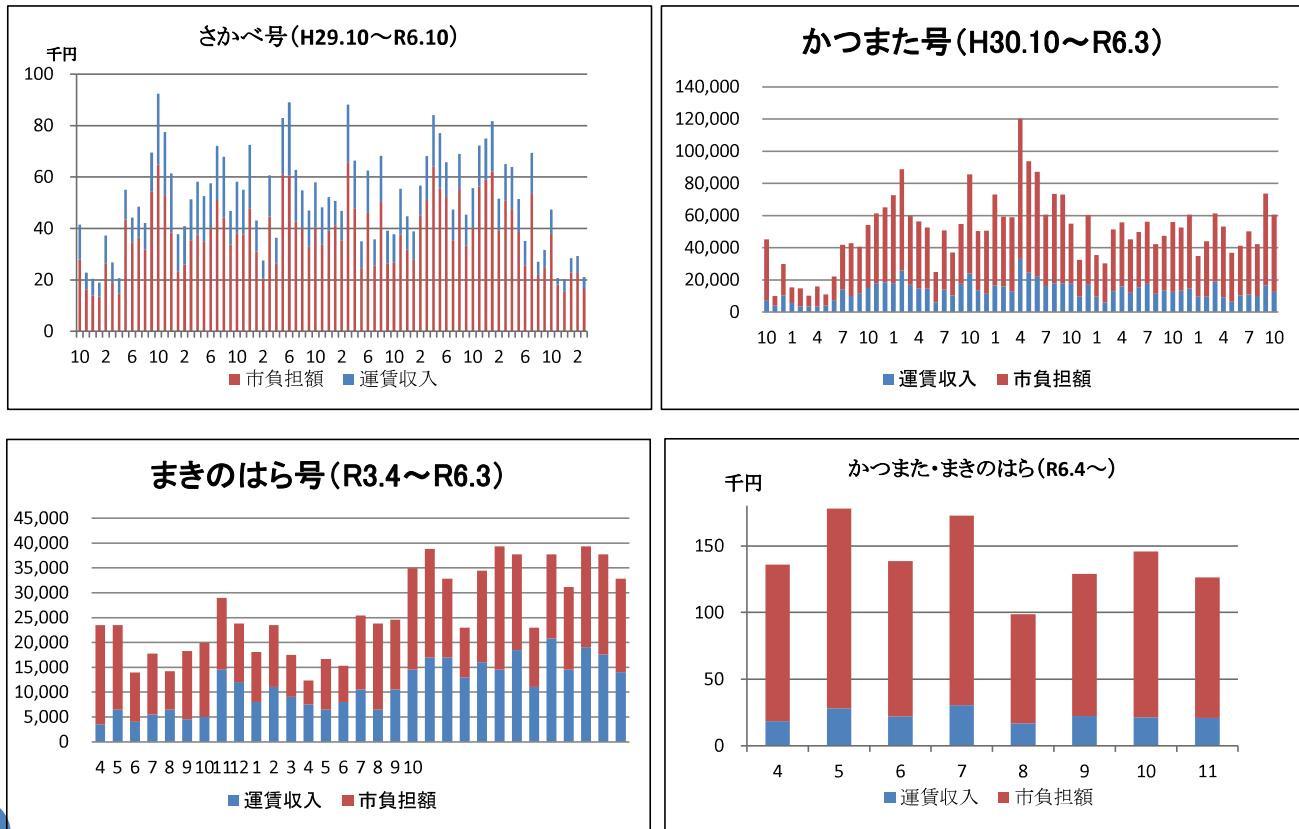
(%)

名称	R2	R3	R4	R5	R6
さかべ号	35.8%	28.5%	33.9%	15.9%	19.6%
かつまた・まきのはら号					26.2%
すげやま・はぎま号	33.9%	44.3%	54.5%	37.1%	42.4%
じとうがた号		18.3%	36.2%	18.9%	26.0%
しづなみ・かわさき ほそえ号					60.3%
さがらひがし・さがらにし号					41.7%

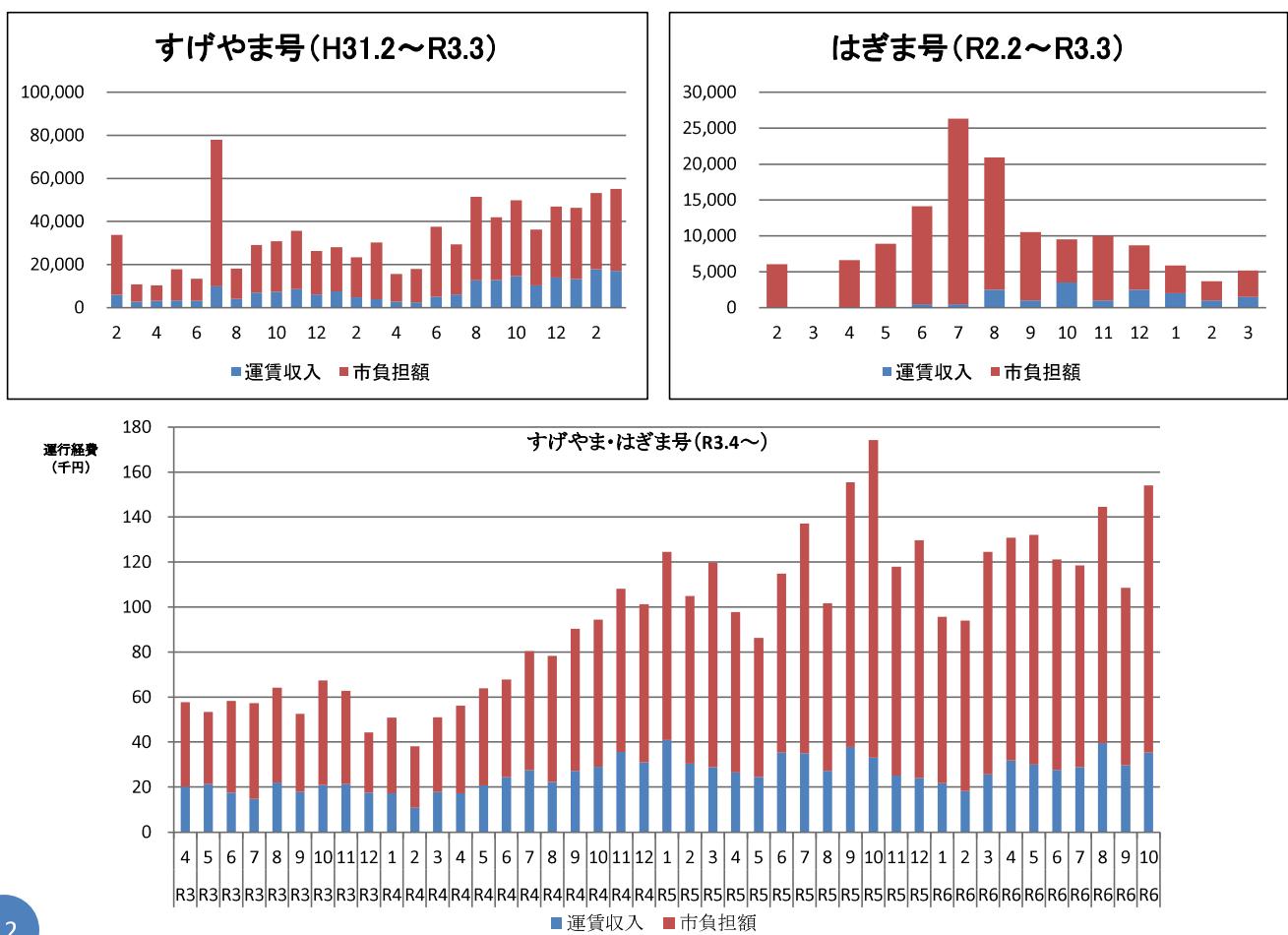


10

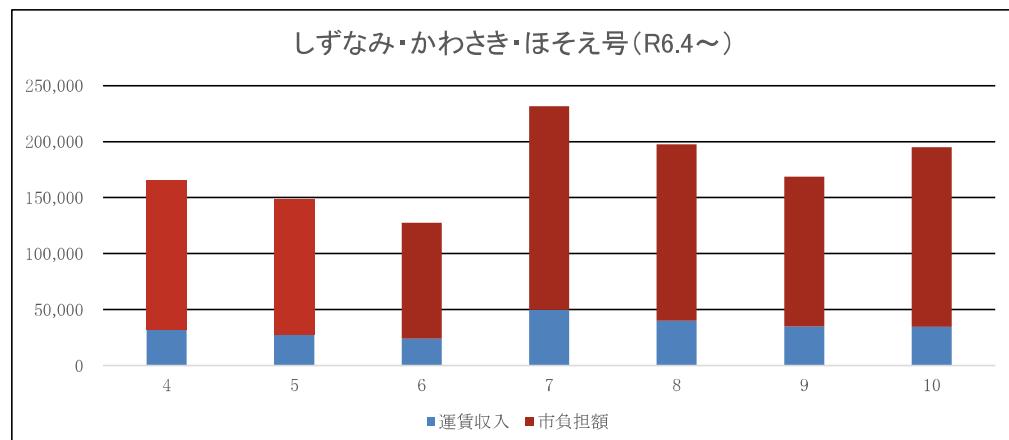
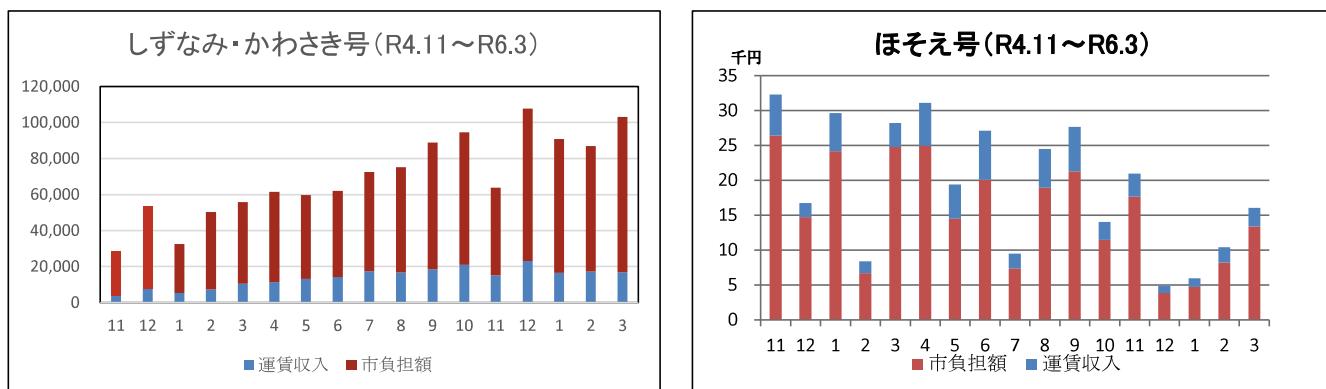
運行経費の内訳



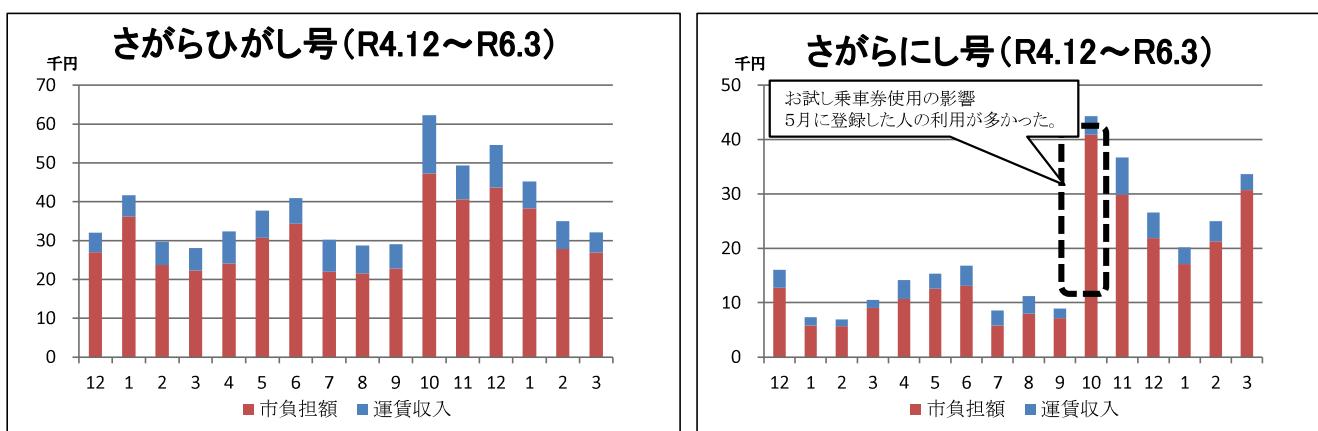
11



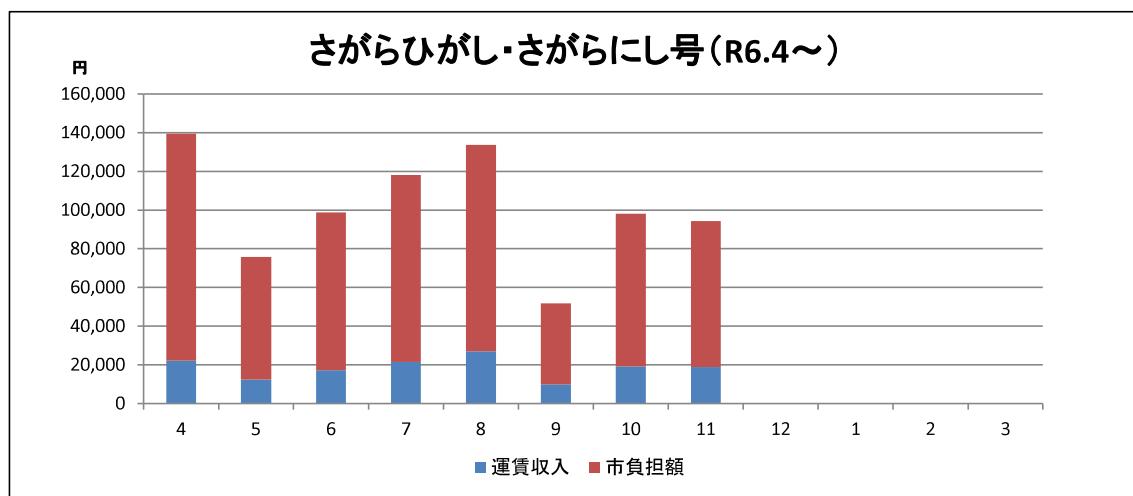
12



13



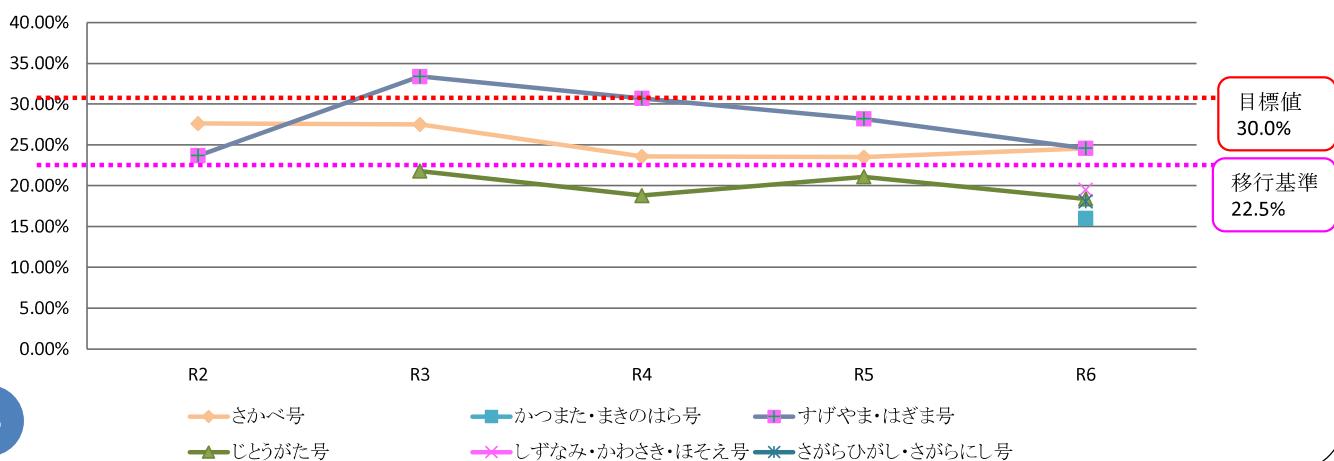
14



収支率

名称	R2	R3	R4	R5	R6
さかべ号	27.6%	27.5%	23.6%	23.5%	24.6%
かつまた・まきのはら号					16.0%
すげやま・はぎま号	23.7%	33.4%	30.7%	28.2%	24.6%
じとうがた号		21.8%	18.8%	21.1%	18.4%
しづなみ・かわさき・ほそえ号					19.5%
さがらひがし・さがらにし号					18.1%

収支率



15

事業評価

目標達成状況、アンケートの結果を検証し、試験運行期間終了3カ月前時点で、直近3カ月の利用状況で事業評価を行う。

主な指標		達成目標	本格運行移行基準
利用状況	登録者数	運行地域の75歳以上の1/3以上	なし
	利用者数	3.6人/日以上	1.1人/日以上
	稼働率	30%以上	12.5%以上
	乗合率	1.5人/便以上	1.1人/便以上
費用効率	収支率	30%以上	22.5%以上
	1人当たり経費	1,460円以下	2,000円以下
	市負担額	1,520円/便以下	1,700円/便以下
登録者数		達成目標	本格運行移行基準
実績運行回数※ (計画運行回数 × 利用率)		運行地域の75歳以上の1/3以上	交通弱者対策のため、登録者数は考慮しない。
利用者数 (実績運行回数 × 平均乗車人数)		8便/日 × 30%=2.4便	8便/日 × 12.5%=1.0便
稼働率 (実績運行回数 / 計画運行回数)		2.4便 × 1.5人/便=3.6人/日	1.0便 × 1.1人/便=1.1人/日
乗合率 (利用者数 / 総実績運行回数)		30%	12.5%
収支率 (運賃収入 / 運行経費)		国補助金交付要件	
1人当たり経費 (運行経費※ / 利用者数)		1.5人	1.1人
市負担額 (運行経費 - 運賃収入)		県内デマンド運行平均	県補助金交付要件
		(500円 × 1.5人 × 0.9※) / 2,200円=30%	(500円 × 1.1人 × 0.9※) / 2,200円=22.5%
		2,200円 / 1.5人=1,466円	2,200円 / 1.1人=2,000円
		2,200円 - 675円=1,525円/便	2,200円 - 495円=1,705円/便

※実績運行回数:複数配車でも1とした実績運行回数

※総実績運行回数:総ての運行した回数(複数配車の総数)

※0.9:お試し乗車券、無料券の配布による運賃収入の減少による。

※運行経費:総実績運行回数の経費

16

さかべ号

- 【運行開始】 平成29年10月(試験運行)・・道路運送法第21条
令和2年4月(本格運行)・・道路運送法第4条
- 【運行日】 火曜日、木曜日、(金曜日)※サロン臨時運行
- 【運行便数】 日8便
- 【運行範囲】 主に榛原地区、一部相良地区、吉田町
- 【料金】 区域内250円、榛原・吉田500円、相良1,000円
- 【運行実績】 利用者:2,714人(令和6年10月末まで)

行き先区分	利用者数
静波	367(13.5%)
細江	1,931(71.1%)
川崎	0(0.0%)
勝間田	5(0.2%)
牧之原	0(0.0%)
坂部	259(9.5%)
相良	9(0.3%)
吉田	143(5.3%)
計	2,714(100.0%)

施設区分	利用者数
病院	1,758 (64.8%)
スーパー	578 (21.3%)
公共施設	329 (12.1%)
金融機関	49 (1.8%)
計	2,714 (100.0%)

行き先区分	施設区分	乗降場所	利用者数
細江	病院等	藤本クリニック	559
細江	病院等	榛原総合病院	430
静波	病院等	石井内科皮膚科医院	210
坂部	公共施設	坂部区民センター	185
細江	病院等	玉井整形外科医院	171
細江	スーパー	ほうせん館	166
細江	スーパー	ピアゴ榛原店	117
細江	スーパー	カネハチ榛原店	109
細江	病院等	石井眼科医院	100
細江	スーパー	KOマートファンモール店	82

17

かつまた・まきのはら号

- 【運行開始】 令和6年4月(本格運行)・・道路運送法第4条
- 【運行日】 水曜日、木曜日、金曜日(勝間田地区)
月曜日、水曜日、金曜日(牧之原地区)
- 【運行便数】 日8便
- 【運行範囲】 主に榛原地区、一部相良地区
- 【料金】 区域内250円、榛原500円、相良1,000円(牧之原地区からは500円)
- 【運行実績】 利用者:354人(令和6年10月末まで)

行き先区分	利用者数
静波	108 (30.5%)
細江	140 (39.5%)
川崎	0 (0.0%)
勝間田	0 (0.0%)
牧之原	38 (10.7%)
坂部	23 (6.5%)
相良	45 (12.8%)
計	354 (100.0%)

施設区分	利用者数
病院	206 (58.2%)
スーパー	88 (24.9%)
公共施設	35 (9.9%)
金融機関	25 (7.1%)
計	354 (100.0%)

行き先区分	施設区分	乗降場所	利用者数
細江	病院等	榛原総合病院	46
細江	スーパー	カネハチ榛原店	39
静波	病院等	石井内科皮膚科医院	36
静波	スーパー	パロー静波店	30
坂部	病院等	ひろみち歯科医院	28
細江	病院等	藤本クリニック	20
牧之原	バス停	六本松	16
静波	公共施設	さざんか	12
細江	病院等	みどり歯科医院	12
相良	病院等	堀口外科医院	12

18

すげやま・はぎま号

- 【運行開始】** 令和3年4月(試験運行)・・道路運送法第21条
令和4年4月(本格運行)・・道路運送法第4条
- 【運行日】** 火曜日、水曜日、金曜日
- 【運行便数】** 日8便
- 【運行範囲】** 主に相良地区、一部榛原地区
- 【料金】** 区域内250円、榛原1,000円
菅山地区の方:相良350円、萩間・牧之原・地頭方・片浜650円
萩間地区の方:相良・牧之原500円、地頭方・片浜750円
- 【運行実績】** 利用者:2,994人(令和6年10月末まで)

行き先区分	利用者数
相良市街地	2,507 (83.0%)
菅山	291 (9.7%)
片浜	27 (0.9%)
萩間	0 (0.0%)
地頭方	0 (0.0%)
牧之原	0 (0.0%)
榛原	169 (5.6%)
計	2,994 (100.0%)

施設区分	利用者数
病院	1,723 (57.5%)
スーパー	984 (32.9%)
公共施設	185 (6.2%)
金融機関	102 (3.4%)
計	2,994 (100.0%)

行き先区分	施設区分	乗降場所	利用者数
相良市街地	病院等	堀口外科医院	722
相良市街地	スーパー等	フードマーケット・マム相良店	450
相良市街地	スーパー等	スーパー・ラック相良店	351
菅山地区内	病院等	渡辺内科医院	252
榛原地区	病院等	榛原総合病院	166
相良市街地	病院等	廣瀬医院	152
相良市街地	スーパー等	KOマート相良店	147
相良市街地	病院等	サガラ眼科	115
相良市街地	病院等	渥美医院	111
相良市街地	病院等	ファミリー歯科	106

19

じとうがた号

- 【運行開始】** 令和3年4月(試験運行)・・道路運送法第21条
令和6年4月(本格運行)・・道路運送法第4条
- 【運行日】** 月曜日、木曜日
- 【運行便数】** 日8便
- 【運行範囲】** 主に相良地区、一部榛原地区
- 【料金】** 区域内250円、相良500円、御前崎500円、萩間・片浜750円、榛原1,000円、空港1,500円
- 【運行実績】** 利用者:1,119人(令和6年10月末まで)

行き先区分	利用者数
相良市街地	253 (23.0%)
菅山	0 (0.0%)
片浜	0 (0.0%)
萩間	7 (0.6%)
地頭方	469 (42.6%)
牧之原	0 (0.0%)
御前崎地区	250 (22.7%)
榛原	122 (11.1%)
計	1,101 (100.0%)

施設区分	利用者数
病院	604 (57.6%)
スーパー	119 (13.1%)
公共施設	341 (25.7%)
金融機関	37 (3.5%)
計	1,101 (100.0%)

行き先区分	施設区分	乗降場所	利用者数
地頭方	公共施設等	地頭方原子力防災センター ジーボ	266
御前崎地区	病院等	おまえざき痛みのクリニック	207
榛原	病院等	榛原総合病院	112
地頭方	スーパー等	新鮮市場ジョイ	60
地頭方	病院等	酒井内科医院	50
地頭方	病院等	藤原整形外科	49
相良市街地	病院等	大角歯科医院	42
御前崎地区	病院等	市立御前崎総合病院	30
相良市街地	スーパー等	フードマーケット・マム相良店	29
相良市街地	公共施設等	市役所相良庁舎	29

20

しづなみ・かわさき・ほそえ号

【運行開始】	令和6年4月(試験運行)・・道路運送法第21条
【運行日】	月曜日、火曜日、金曜日
【運行便数】	日8便
【運行範囲】	主に榛原地区、一部相良地区
【料金】	区域内250円、細江・片浜350円、坂部・牧之原500円、相良600円、 子生まれ温泉1,000円(静波・川崎地区から) 区域内250円、静波・川崎350円、坂部・片浜・牧之原500円、 相良700円、子生まれ温泉1,000円(細江地区から)
【運行実績】	利用者:782人(令和6年10月末まで)

施設区分	利用者数
病院	490(62.7%)
スーパー	178(22.5%)
公共施設	87(11.1%)
金融機関	29(3.7%)
計	782(100.0%)

行き先区分	施設区分	乗降場所	利用者数
細江	病院等	榛原総合病院	213
静波	病院等	石井内科皮膚科医院	89
細江	スーパー	カネハチ榛原店	86
細江	病院等	みどり歯科医院	61
静波	公共施設	さざんか	32
相良	公共施設	子生れ温泉会館	31
静波	病院等	佐故医院	20
静波	スーパー	アルト静波店	20
細江	スーパー	ドン・キホーテ榛原店	18

21

さがらひがし号

【運行開始】	令和6年4月(試験運行)・・道路運送法第21条
【運行日】	月曜日、火曜日、金曜日
【運行便数】	日8便
【運行範囲】	主に相良地区、一部榛原地区
【料金】	(片浜地区) 区域内250円、相良・静波350円、細江500円 菅山・萩間・地頭方650円、静岡空港1,000円 (相良市街地) 区域内250円、片浜・菅山350円、地頭方・萩間500円 静波600円、細江700円、静岡空港1,500円 (波津・須々木地区) 区域内250円、片浜・菅山350円、地頭方・萩間500円 静波600円、細江700円、空港1,500円
【運行実績】	利用者:450人(令和6年10月末まで)

施設区分	利用者数
病院	226(50.2%)
スーパー	147(32.7%)
公共施設	47(10.4%)
金融機関	30(6.7%)
計	450(100.0%)

行き先区分	施設区分	乗降場所	利用者数
相良地区	病院等	堀口外科医院	64
相良地区	スーパー等	KOマート相良店	59
相良地区	スーパー等	フードマーケット・マム相良店	57
細江区	病院等	榛原総合病院	47
静波区	病院等	石井内科皮膚科医院	34
相良地区	病院等	サガラ眼科	21
相良地区	病院等	渡辺内科医院	18
相良地区	スーパー等	スーパー ラック相良店	18
相良地区	病院等	川田歯科医院	16

22

議 事

(1) 令和7年度の運行に関する事項

② 生活交通確保計画案(承認)

イ デマンド乗合タクシーの運行について

デマンド乗合タクシー利用者、非利用
者アンケート調査について

デマンド乗合タクシーアンケート調査 結果票

アンケート調査の結果	
発送及び回収	発送:149通 回収:83通 回収率:55.7%
対象者抽出条件	<p>① 会員登録者 1,128人(1月時点)</p> <p>② ①のうち、令和6年度10回以上利用者 85人</p> <p>③ ①のうち、令和4、5年度利用・令和6年度未利用者 64人</p> <p>※利用しなくなった方の原因を調査するため</p> <p>④ ②+③=149人</p>

問1 居住地

	発送者数		回答者数
	利用者	未利用者	
牧之原区	6	5	16(発送数以上のため、回答者の錯誤か)
勝間田区	3	7	4
坂部区	10	11	9
静波区	10	7	5
川崎区	11	3	7
細江区	4	9	10
菅山区	13	7	9
萩間地区	5	2	5
地頭方地区	9	5	8
須々木区	3	0	2
波津区	3	3	2
相良区	3	2	4
福岡区	0	0	0
大沢区	0	0	0
大江区	3	2	2
片浜区	2	0	0

問2 今現在、「牧之原市デマンド乗合タクシー」を利用していますか。○を付けてください。

問2 全員		
1	利用している	67
2	利用していない	15
	無回答	1

問3 問2で「利用している」とお答えになった方にお聞きします。利用した感想はいかがですか。○を付けてください。

利用者	
1 利用しやすい	44
2 利用しにくい	8
3 どちらでもない（普通）	16
無回答	1

1、3の合計で87%、1のみでも64%であり、利用者の満足度は高い。

※記載 69人

問4 直してほしいと思うことがありましたら、○を付けてください。(2つまで)

問4 利用者	
1 運行する日を増やしてほしい	32
2 1日に運行する便を増やしてほしい	28
3 目的地を増やしてほしい	20
4 他市町へ運行してほしい	24
5 料金を安くしてほしい	4
6 目的地間移動が出来るようにしてほしい	19
7 特になし	4
8 その他（別紙）	3
無回答	2

- 【1】 今年度から一部地域で週3日運行や高齢者サロンの臨時運行を追加し改善したが、更なる増を求める意見が多い。
- 【5】 料金は高いと思われていない
- 【6】 7年度から全域で導入予定

問5 問2で「利用していない」とお答えになった方にお聞きします。利用しない理由は、何ですか。○を付けてください。

問5 利用していない方	
1 自分で車やバイクを運転しているから	2
2 家族や知人が運転してくれるから	3
3 静鉄バスを利用しているから	2
4 利用の仕方がわからないから	0
5 利用しにくいから	4
6 その他（別紙）	5
無回答	0

問6 ここが良くなったら利用するというものがありましたら、○を付けてください。(2つまで)

問6 利用していない方	
1 運行する日を増やしてほしい	13
2 1日に運行する便数を増やしてほしい	7
3 目的地を増やしてほしい	12
4 他市町へ運行してほしい	8
5 料金を安くしてほしい	5
6 使う予定はない	3
7 その他 (別紙)	3
無回答	3

利用していない方も 1 を要望する意見が多い

問7 テ"マンドタクシー登録前は主に、どんな方法で移動していましたか、○を付けてください。(2つまで)

問7 利用者	
1 自分で車やバイクを運転していた	33
2 家族や知人に送迎してもらっていた	20
3 静鉄バスを利用していた	13
4 徒歩や自転車を利用していた	16
無回答	9

問8 現在、運行経費が増えていることから運賃の改定を検討しています。このことについて、あなたの考えに○を付けてください。

問8 全員	
1 100円までなら仕方ないと思う	37
2 便利になるなら100~200円位であれば値上げしてもいい	31
3 1円でも上がるのであれば使いたくない	1
無回答	13

値上げに対しては【1】が最も多く、多くの方は値上げに対する抵抗は少ない。

問9 全体を通して意見等があれば、記入してください。

問9 全員	
回答有 (別紙)	35
無回答	47

アンケート（利用者）問4 その他意見

地 区	見	意
① 牧之原区	月曜日・金曜日が祭日と重なってしまう日が多いので、出かける日が限られてしまうのが不便です	
② 相良区	老人になると体力の低下があるとともに故障も多くなります。吉田町にある石田眼科に入つてほしいと思います	
③ 細江区	円成寺まで行ってほしい	
④ 細江区	吉田町へいってほしい（田崎クリニック）	
⑤ 川崎区	出来る事なら日数を増やしてほしいと思います	
⑥ 勝間田区	個人の病院で榛原地区にない科（眼科、耳鼻科）等ないので吉田方面まで伸びてもらいたいと思っています	
⑦ 牧之原区	牧之原市で「子生れ温泉」菅山の「ウェルシア」など目的地を増やしてほしい	
⑧ 勝間田区	足が不自由なので、「スーパー」「病院」以外でも行ってほしいです。補聴器調整の出来る眼鏡店等にも行ってほしい	
⑨ 萩間地区	私は目的地に病院又は銀行をお願いしております。お迎えの時間まで歩いてウェルシアを買い物して30分前に電話してきてもらいます。良いのでしようか	
⑩ 牧之原区	帰りの時間がもう少し増えると安心して帰れます	
⑪ 地頭方地区	地頭方地区の場合、運行日は「月曜」・「木曜」となっているが、歯科医院はどこも木曜日が休診となっている	

アンケート（利用者していない方）問5 その他意見

地 区	見	意
① 坂部区	手を折つて運転出来なかつたとき、通院に何回か利用させていただき大変ありがとうございました	
② 牧之原区	今は病院に行く事がないため	
③ 菅山区	令和5年6月より入院、退院のメド無し	
④ 菅山区	怪我で不自由でしたので利用させてもらいました。とても助かりました	
⑤ 牧之原区	目的地が少ないので考えてしまう	
⑥ 細江区	介護保険施設に入所しているため、利用する機会がなくなつた	
⑦ 菅山区	施設に入所	

アンケート（利用者していない方）問6 その他意見

地 区	見	意
① 静波区	時間が決まっているが、いつでも空いていれば来てほしい。何時のおクシャーは空いていないでは頼めない	
② 菅山区	あと2年で車の運転をやめるのでお世話になります	
③ 牧之原区	金谷駅などJRも利用出来るように他市町への運行希望（駅がないので他市町への運行希望）	

アンケート（全員対象） 間9 全体を通してご意見

利用地 区	意 見
① ○ 勝間田区	病院に行きに利用していますが、個人病院PM2：00～ デマンド現行PM1:00なので会員までの待ち時間が大変。診察後もデマンド時間決まっているので帰りの予約できない。要望としてごご2：00の便を出してほしい
② ○ 地頭方地区	意見ではありませんが、とてもありがたくじょうしやさせさせていただいています
③ ○ 坂部区	親切にして頂いてありがとうございます
④ ○ 地頭方地区	これ以上値上げは反対です
⑤ ○ 牧之原区	帰りの便を午後2時頃に1本増やしてくれるとありがたいです
⑥ ○ 相良区	病院は待合室があるので帰りのタクシーを待つには都合がよいが、スーパーでは待つ場所がありません、特に冬は大変です。何か良い考えがあれば教えてください
⑦ ○ 細江区	透析が月・水・金で2時までかかるので、他の日に医者に行くのに火曜日しか予約が取れず、なかなか思うようにになれません。デマンドはたいへんにありがたく助かります。
⑧ ○ 細江区	医者を予約するのに曜日と時間を考え、帰りの時間もとなると、スマーズに予約が取れません。 遠くの医者へも料金的にも助かります
⑨ ○ 静波区	通院に利用したいのですが、運行日が少ない為に利用できません（榛原病院の通院する日が運行日でない）前もって分かっている日だけでも、予約利用出来たら助かります
⑩ ○ 坂部区	いつも時間に来てくれて有難い
⑪ ○ 萱山区	リハビリだけの場合、帰りの便まで1時間待ち時間があるのはつらい。できれば帰りの便を増やしてもらいたいです

利用 地 区	意 見
⑫ ○ 萩原地区	通常のタクシー料金より格安で行けること大助かりです。 自分は現在はまだ歩くことは多少はいいですが、歩くのに不自由な方は短距離でも大変であることと想いますので、「病院」～「スパー」へと移動可能になるととても助かると思いませんが、何か良い方法があればと思っていました。
⑬ ○ 細江区	牧之原以外の人は登録できないようですが、残念です。吉田町はどこの人でも登録できて、私も吉田町登録して使用させていただきとても活用させてもらつて助かっています。吉田町はいつでもOKでとても便利です（300円です）
⑭ ○ 勝間田区	もう少し運行する日、目的地を増やしてほしい。運転出来ない人にとつては大変うれしいことと想います
⑮ ○ 須々木区	デマド以外でも急ぎの特タクシー頼んで用事を済ませ、親切な言葉で対応してくれて、御前崎タクシーさんありがとうございます
⑯ ○ 須々木区	今利用していく、目的間の移動には便利です
⑰ ○ 地頭方地区	夫婦共登録し、利用してまいりましたが、夫が認知症となり夫の通院は必ず妻が付き添います。 2人で1台の車に乗ると2人分の支払い となります。なんとなく納得がいかないので。付添いはあくまでの付添いであり、付添い単独の用事はしておりませんので
⑱ ○ 地頭方地区	安くて行けて本当にありがたいです。 時間は自分で調整すればいいので、あまり無理のない今のままでいいのではありますせんか
⑲ ○ 川崎区	いつもカネハチさんまで自費ですと、片道1,070円もかかります
⑳ ○ 静波区	30分前の予約が難しい。病院通いで、帰宅の時薬局でいつ薬が出来るのかわからぬ。間に合わない時は普通タクシーで帰宅しています
㉑ ○ 坂部区	買い物に行つた場合、あまり時間を待つのが嫌で、その点少し早めに来てくれるようにしてもらいたい
㉒ ○ 萩原地区	大変助かっています。ありがとうございます
㉓ ○ 地頭方地区	やがて車の運転もできなくなると思いますが、他市のように行きたい所へ廻つてくれる様できれば良いが
㉔ ○ 牧之原区	皆さんとてもよくして頂いております。感謝です

利用 意 見	地 区	意 見
○	川崎区	均一料金でどこへでも行つてほしい。市内均一
○	川崎区	ありがたい
×	坂部区	高齢になれば運転出来なくなるのでその時、坂部の奥は何も交通の便がありません。デマンドタクシーがあるので少しは不安が取り除かれますが、その時まず思うのは実施日を増やして頂きたく思います。それに、代金も値上げされると年金生活者は大変になります
×	静波区	片浜ぐらいたとバスのほうが安い。付添いがいると二人分払うから
×	牧之原区	行く先によつて料金を示せばよい
×	菅山区	月～土曜日運行してほしいです
×	牧之原区	年金が少ないのいろいろ上がるものばかりで大変です

議 事

(1) 令和7年度の運行に関する事項

② 生活交通確保計画案(承認)

イ デマンド乗合タクシーの運行について

令和7年度デマンド乗合タクシーの
運行計画案について

令和7年度デマンド乗合タクシーの運行計画案について

企画政策部地域振興課

1 全体の運行方針

① 運賃改定による、料金形態のわかりにくさの解消

2024年問題による運転手の待遇改善や、燃料費の高騰など、タクシー業界を取り巻く状況は厳しい状況にある。当市が委託する東海タクシー㈱および御前崎タクシー㈱でも令和5年9月に予約料（300円/台）等の運賃改定を実施した。

そういう中で、市の負担も増えている状況ではあるが、福祉的な制度という色が強いことから値上げについては最低限に留め、料金形態を明確でわかりやすい形に変更することで、利便性を上げると共に乗合率の向上を目指す。

★共通の考え方

- ・料金体系は300円、600円、1000円、1500円の4パターンのみへ統一
 - ・区域内は300円、隣接する地区は600円、離れた地区については1000円～1500円
- ※すげやま・はぎま、かつまた・まきのはらについては市街地へ行くのに距離が大きく変わることから区域内は統一するが、市街地へ行く便は料金が分かれる。

○かつまた・まきのはら号

勝間田区：水、木、金

牧之原区：月（相良）・水、金（榛原）

（まきのはら号）	新料金	現行料金
牧之原区域内	300	250
勝間田地区	300	350
萩間地区	600	350
相良・榛原市街地	600	500
坂部地区	600	500
地頭方地区	1,000	1,000

（かつまた号）	新料金	現行料金
勝間田区域内	300	250
牧之原地区	300	500
萩間地区	1000	1000
榛原市街地・坂部地区	600	500
相良市街地	1,000	1,000

○さかべ号

坂部区：火・木（サロン開講日のみ金）

	新料金	現行料金
坂部地区	300	250
榛原	600	500
吉田町	600	500
相良	1,000	1,000

○しづなみ・かわさき、ほそえ号

静波区、川崎区、細江区：月、火、金

(しづなみ・かわさき号)	新料金	現行料金
静波・川崎区内	300	250
細江区内	300	350
片浜区	300	350
坂部・牧之原区	600	500
相良市街地	600	600
萩間地区	1,000	1,000

(ほそえ号)	新料金	現行料金
細江区域内	300	250
静波・川崎区内	300	350
片浜・坂部・牧之原区	600	500
相良市街地	600	500
萩間地区	1,000	1,000

○すげやま・はぎま号

菅山区・萩間区：火・水・金

(すげやま号)	新料金	現行料金
菅山区域内	300	250
萩間地区	300	650
相良市街地	300	350
片浜・牧之原・地頭方地区	600	650
榛原市街地・坂部地区	1,000	1,000

(はぎま号)	新料金	現行料金
萩間区域内	300	250
菅山地区	300	500
相良市街地	600	500
片浜地区・地頭方地区	600	750
牧之原地区	600	500
榛原市街地・坂部地区	1,000	1,000

○さがらひがし、さがらにし号

相良区、福岡区、大沢区、大江区、波津区、須々木区：月、火、金

	新料金	現行料金
相良	300	250
片浜・菅山	300	350
地頭方・萩間	600	500
静波	600	600
細江	600	700
坂部	1,500	1,500

○さがらひがし、さがらにし号（かたはま）

片浜区：月、火、金

	新料金	現行料金
片浜地区	300	250
相良市街地	300	350
菅山・萩間・地頭方	600	650
静波	300	350
細江	600	500
坂部	1,000	1,000

○じどうがた号

地頭方区：月、木

	新料金	現行料金
地頭方地区	300	250
相良市街地	600	500
御前崎市	600	500
片浜・萩間	600	750
榛原	1,000	1,000
坂部地区	1,500	1,500

②デマンド乗合タクシーの予約時間の変更

予約は、8:30 の便は前日まで、それ以外の便は 30 分前までに予約するようになっているが、乗合の可否を検討する時間がないのが現状である。

そこで、**予約時間のルールを自宅から特定施設までは1時間前まで、特定施設から自宅および特定施設間移動は30分前まで**としたい。

	8：30便（初便）	自宅から施設	施設から自宅・施設から施設
変更前	前日予約	30分前	30分前
変更後	前日予約	1時間前	30分前

③ 特定施設の追加・廃止

【追加】

主任ケアマネージャー会議でいただいた意見を基に特定施設を追加したい。
旧相良町には精神科医が存在しないため通院に苦労しているという声が多く出ている。
その中でも特に声が多かったねぎクリニックとメンタルクリニックゆうゆうを追加することで対応したい。

○すげやま・はぎま号、じとうがた号

(静波) ねぎクリニック (1000 円)

(細江) メンタルクリニックゆうゆう (1000 円)

○さがらひがし、さがらにし号

(静波) ねぎクリニック (600 円) ※片浜地区のみ 300 円

(細江) メンタルクリニックゆうゆう (600 円)

【理由】旧相良町に精神科・心療内科医が無いため。

○全地区

→ (坂部) 道の駅そらっと牧之原

【理由】令和 7 年度開業予定であるため。

【廃止】

閉店・閉院をした特定施設について、廃止をする。

(静波) アルト静波店 (閉店の為)

(牧之原) スーパータカヤナギ (閉店の為)

④ 特定施設間移動の検討について

現在試験運行中の「しづなみ・かわさき号、ほそえ号」と「さがらひがし号、さがらにし号」は、特定施設間移動（例：病院⇒スーパー）を導入しているが、その他の地域は自宅と施設の往復のみの利用となっている。

しかし、市街地に住んでいる方より、郊外に住んでいる方の方が1度に複数の特定施設を利用したいという声が多いため、令和7年度より特定施設間移動を全地区で導入する。

【利用方法】

運賃：300円

利用区域：榛原市街地（静波区、川崎区、細江区）の施設間

⇒さかべ号、かつまた・まきのはら号、しづなみ・かわさき、ほそえ号

相良市街地（相良地区、片浜地区）の施設間

⇒すげやま・はぎま号、じとうがた号、さがらひがし・にし号

※時刻表は各地区の時刻表に準拠する。ただし、行き帰りの区分については間わないものとする。

例：さかべ号、かつまた号・まきのはら号、すげやま・はぎま号、じとうがた号
赤枠内での利用可

	1便	2便	3便	4便
●●から特定施設へ	8:30	9:30	10:30	14:30
	1便	2便	3便	4便
特定施設から●●へ	11:00	12:00	13:00	16:30

R7.4～

号	運行状況	運行会社	運行便数	特殊事情
さかべ号	本格運行	東海タクシー	週2 8便/日	吉田町の病院への運行 サロンの臨時運行
かつまた号・まきのはら号	本格運行		週3 8便/日	
しづなみ・かわさき号、ほそえ号	本格運行		週3 8便/日	
すげやま・はぎま号	本格運行	御前崎タクシー	週3 8便/日	
じとうがた号	本格運行		週2 8便/日	御前崎市の病院、スーパーへの運行
さがらひがし号、さがらにし号	本格運行		週3 8便/日	

議 事

(1) 令和7年度の運行に関する事項

② 生活交通確保計画案(承認)

イ デマンド乗合タクシーの運行について

市街地デマンドの本格運行への検討

さがらひがし・にし号の本格運行への移行

企画政策部 地域振興課

1 さがらひがし・にし号の本格運行について

試験運行を行ってきた「さがらひがし・にし号」について、事業評価を行い、本格運行移行基準をクリアしているため、令和7年4月から本格運行へ移行する。

① 試験運行期間 令和4年12月～令和7年3月（2年3ヶ月）

② 評価基準

下記のとおり

主な指標		達成目標	本格運行移行基準
利用状況	登録者数	R6.4 現在の75歳以上の人数：1695人	運行地域の75歳以上の1/3以上（565人） なし
	利用者数	稼働した日の利用者数	3.6人/日以上 1.1人/日以上
	稼働率	計画に対する運行比率	30%以上 12.5%以上
	乗合率	1便あたりの乗車人数	1.5人/便以上 1.1人/便以上
費用効率	収支率	経費に対する運賃	30%以上 22.5%以上
	1人あたり経費	1人あたりの経費	1,466円/人以下 2,000円/人以下
	1台あたり市負担額	1便あたりの市負担額	1,540円/便以下 1,705円/便以下

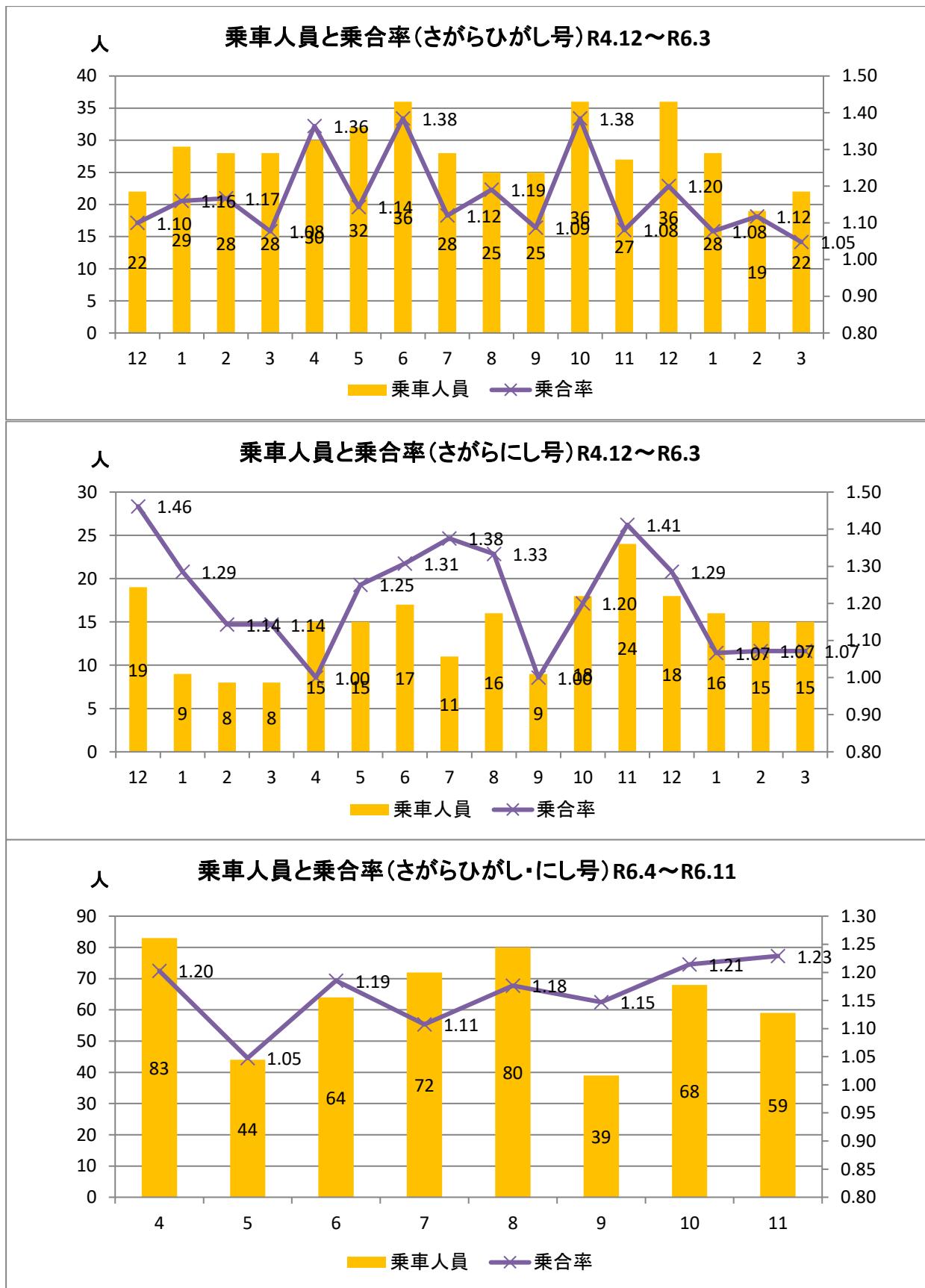
【直近3カ月（R6年9月～R6年11月）の実績】

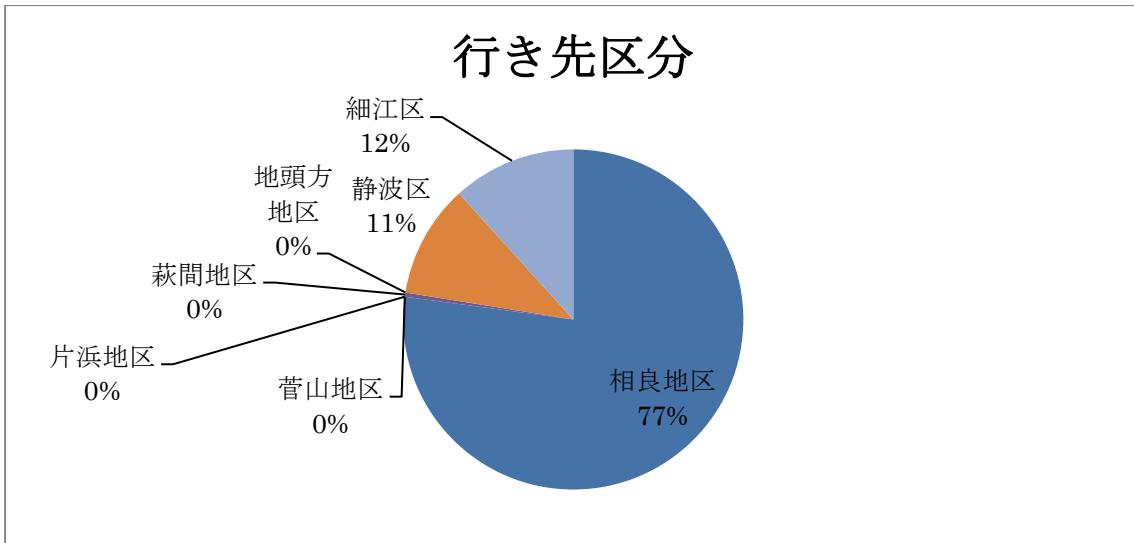
主な指標		実績値	達成目標	本格運行移行基準
利用状況	登録者数	180人※	×	—
	利用者数	4.71人/日 (166人/35日)	○	○
	稼働率	36.3% (102回/280回)	○	○
	乗合率	1.20人 (73人/102便)	×	○
費用効率	収支率	23.5% (47,700円/202,700円)	×	○
	1人あたり経費	1,090円 (202,700円/186人)	○	○
	1台あたり市負担額	1,334円 (202,700円/152便)	○	○

※予約料は運行経費より除外する。

【試験運行期間中の取組み】

実施項目	実施時期
免許返納無料券配布（12枚）	令和4年12月
多利用者への無料券配布（10回利用で1枚）	令和4年12月
さがらひがし号とさがらにし号の統合	令和6年4月





③ 事業評価

- 直近3か月の状況で事業評価を行った結果、本格運行移行基準について基準を定めた当時存在しなかった予約料を除外した状態でクリアしている。
- 令和5年9月にタクシー運賃の改定があり、メーター運賃の高騰および時間指定予約料の追加によって運行経費の高騰している。
- 本運行移行基準を全て満たしていることから、令和7年4月から本運行へ移行するものとしたい。運行内容は、現在の試験運行内容と同じ内容で運行する。
- 引き続きデマンド乗合タクシーを周知し、会員登録者、利用者の増加に努める。

しづなみ・かわさき、ほそえ号の本格運行への移行

企画政策部 地域振興課

1 しづなみ・かわさき、ほそえ号の本格運行について

試験運行を行ってきた「しづなみ・かわさき、ほそえ号」について、事業評価を行い、本格運行移行基準を一部クリアしているため、令和7年4月から本格運行へ移行したい。

① 試験運行期間 令和4年11月～令和7年3月（2年3ヶ月）

② 評価基準 下記のとおり

主な指標		達成目標	本格運行移行基準
利用状況	登録者数	R6.4 現在の75歳以上の人数：2510人	運行地域の75歳以上の1/3以上（837人） なし
	利用者数	稼働した日の利用者数	3.6人/日以上
	稼働率	計画に対する運行比率	30%以上
	乗合率	1便あたりの乗車人数	1.5人/便以上
費用効率	収支率	経費に対する運賃	30%以上
	1人あたり経費	1人あたりの経費	1,466円/人以下
	1台あたり市負担額	1便あたりの市負担額	1,540円/便以下
		2,000円/人以下	
		1,705円/便以下	

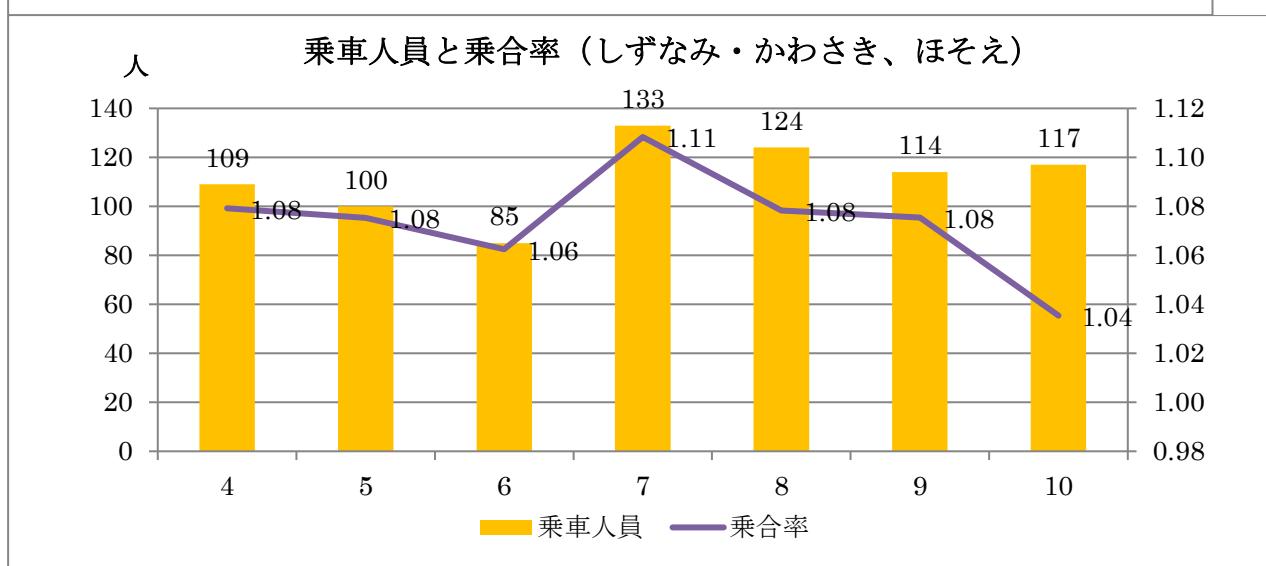
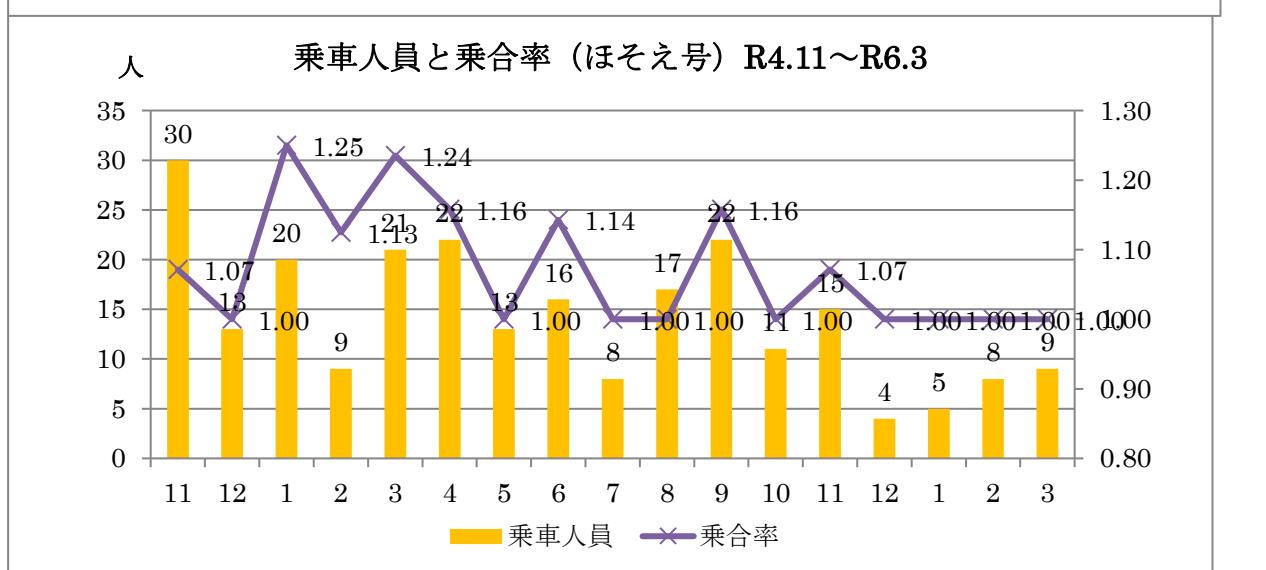
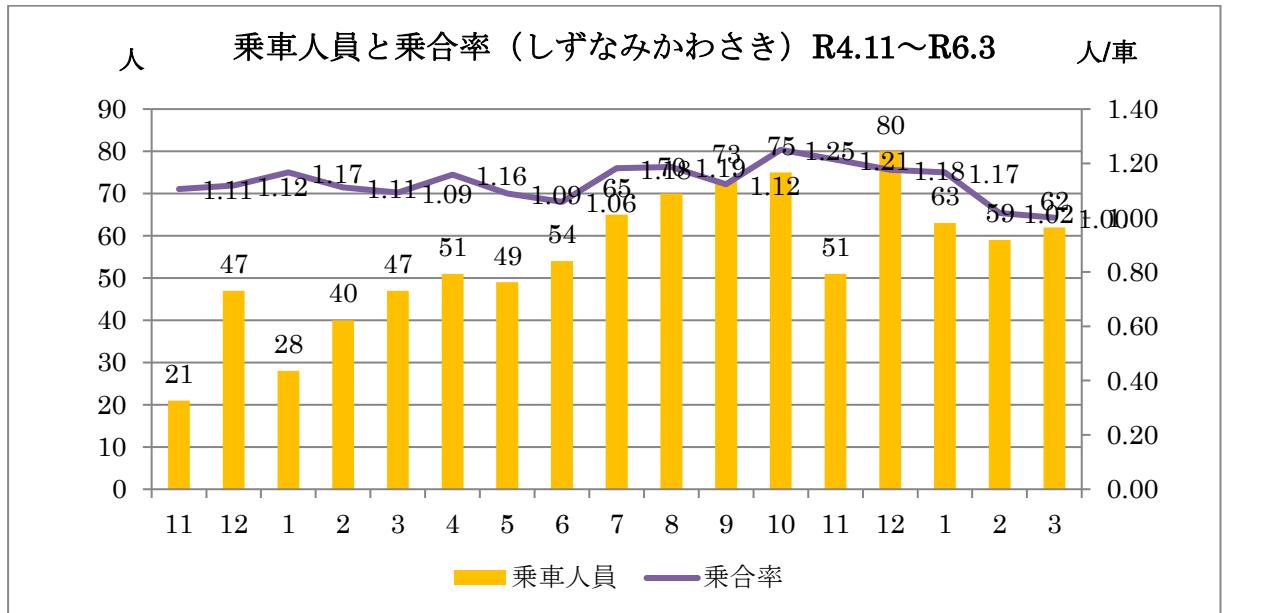
【直近3カ月（R6年9月～R6年11月）の実績】

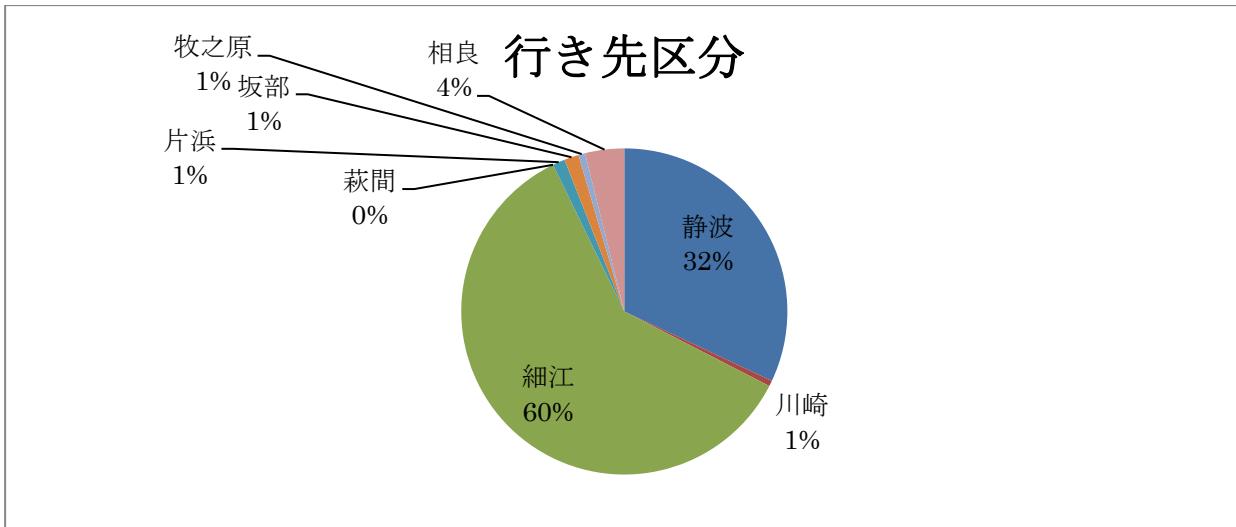
主な指標		実績値	達成目標	本格運行移行基準
利用状況	登録者数	261人※	×	—
	利用者数	10.07人/日 (352人/35日)	○	○
	稼働率	64.0% (179回/280回)	○	○
	乗合率	1.05人 (352人/334便)	×	×・・・別紙参照
費用効率	収支率	23.6% (103,350円/437,360円)	×	○
	1人あたり経費	1,243円 (437,360円/352人)	○	○
	1台あたり市負担額	1,310円 (437,360円/334便)	○	○

※予約料は運行経費より除外する。

【試験運行期間中の取組み】

実施項目	実施時期
免許返納無料券配布（12枚）	令和4年12月
多利用者への無料券配布（10回利用で1枚）	令和4年12月
しづなみ・かわさき号とほそえ号の統合	令和6年4月





③ 事業評価

- 直近3か月の状況で事業評価を行った結果、本格運行移行基準について乗合率を除いて達成している。
- 令和5年9月にタクシー運賃の改定があり、メーター運賃の高騰および時間指定予約料の追加によって運行経費の高騰している。
- 本運行移行基準を一部未達成ではあるが、別紙事情により解決が見込まれることや、稼働率より既に欠かすことができない生活交通となっていることから令和7年4月から本運行へ移行するものとしたい。運行内容は、現在の試験運行内容と同じ内容で運行する。
- デマンド乗合タクシーを周知し、会員登録者、利用者の増加に努める。

しづなみ・かわさき、ほそえ号の乗合率について

企画政策部地域振興課

直近3ヶ月の判定では、乗合率が移行基準の1.1に届いていない（1.05）ため、以下の対応を取る。

I 現状の数値 (R6)

月	総実績運行回数	乗車人員	乗合率
4	101回	109人	1.08
5	93回	100人	1.08
6	80回	85人	1.06
7	120回	133人	1.11
8	115回	124人	1.08
9	106回	114人	1.08
10	113回	117人	1.04
11	115回	121人	1.05
843回		903人	1.07

【乗合率が低調な理由】

- ①利用の30分前の予約では効率的な経路を組むことが困難であることから、利用者サービスを優先した配車を可としているため
- ②しづなみ・かわさき号とほそえ号の運賃形態が統一されていないため、乗務員の運賃取り間違いを防ぐために、両方の号の乗合をしていないため
- ③他地区の号のように往路復路の分けがなく、8便を自由に組み合わせて利用することが可能であるため

2 乗合が可能であった運行（令和6年度シミュレーション）

上記の課題を改善することで、同じ日時の同じ目的地の予約は乗合可能と仮定し、そのうち自宅からの行先で最も多くの榛原総合病院の乗合が進んだ場合

月	総実績運行回数	乗車人員	乗合率
4	99回	109人	1.10
5	91回	100人	1.10
6	76回	85人	1.12
7	119回	133人	1.12
8	111回	124人	1.12
9	105回	114人	1.09
10	107回	117人	1.09
11	112回	121人	1.08
820回		903人	1.10

【改善方法】

- ①自宅出発便30分前を1時間前に変更することで、経路を組む時間を増やす
- ②しづなみ・かわさき号とほそえ号の運賃形態を統一する
- ③変更しない

※運行回数23回減少⇒乗合可能回数
榛原総合病院利用回数：237回

3 本格運行への移行

榛原総合病院だけでも乗合率はクリアする。その他も4月からの改善により乗合が進む可能性が高いため、さがらひがし・にし号の本格運行に合わせて、しづなみ・かわさき、ほそえ号も令和7年4月から本格運行へ移行する。

なお、乗合率の推移は、本格運行移行後も把握に努め、引き続き改善策も検討していく。

会議録

日 時 令和6年10月22日（火）15時～16時30分
場 所 牧之原市役所榛原庁舎 4階会議室
出 席 者 別紙のとおり
内 容 令和6年度第1回牧之原市地域公共交通会議評価改善部会

デマンド乗合タクシーの本格運行への移行評価等について

（質疑応答）

【委員】

しづなみ・かわさき、ほそえ号の乗合率が1.08ということだが、利用者はどういった区間での利用が多いと分析をしているか。

【事務局】

基本的には同じ地区内の病院や、スーパーの利用がほとんどである。榛原総合病院や石井内科皮膚科、佐古医院さんなど。スーパーであればバローさんなどの利用が大半。

報 告

(1) 牧之原市地域公共交通計画について

① 令和5年度の評価について

牧之原市地域公共交通計画

「住み続けたい」「働き続けたい」「訪れたい」を支える
地域公共交通の構築
～「夢に乗るまち 牧之原」の推進～



※RIDE ON～：（乗り物に）乗る

令和6年10月

牧之原市

牧之原市地域公共交通計画に基づく取組

方針	事業
基本方針1： 富士山型ネットワーク構造の形成に資する地域公共交通ネットワークの構築	1：沿岸部の路線の維持・再編（幹線軸（裾野部）） 2：市街地と高台エリアを結ぶ路線の再編（幹線軸（斜面部）） 3：富士山型山頂部からの路線の創出（広域交流拠点連携軸（山頂部））
基本方針2： 地域公共交通の利便向上、利用促進策の推進	4：高齢者等の移動手段の提供 5：拠点バス停の環境整備の推進 6：誰もが利用しやすいサービスの提供 7：モビリティマネジメントの推進
基本方針3： 持続可能な運行を支える他分野との連携した取組と体制強化	8：観光施策と連携した取組の推進 9：移住定住、子育て支援につながる取組の推進 10：自動運転技術などのDX化やICTを活用した取組の推進 11：市民意見を尊重する協議体制と関係者の連携強化

事業1：沿岸部の路線の維持・再編（幹線軸（裾野部））

【具体的な施策】

(特急静岡相良線)

- ・ 棚原総合病院への通勤者や通院者の利便向上を目的に、病院への乗り入れ便数の増便を検討し、棚原総合病院の拠点バス停としての強化を図ります。

(藤枝相良線、島田靜波線)

- ・バス事業者や関係市町との連携による利用促進策を実施し、両路線の維持を図ります。加えて、通勤、通学の需要に対応可能な時刻設定を協議します。

(相良御前崎線、相良浜岡線)

- ・特急静岡相良線や藤枝相良線とのスムーズな接続や、高校生の通学利便の向上を中心とした地頭方地区の負担軽減につながる改善策を検討します。



☆相良総合センター「いへら」、相良原子力防災センター「サーボ」、建設中の多目的体育館、ミルキーウェイスクエアの図書交流館「いっここと」や同地へ移転する相良児童館など、近年整備が進む相良地域の公共施設へ接続するよう経路変更を検討し、新たな役割を担う路線に位置付けます。(※市道須々木大溝線の国道150号線までの区間開通後(令和9年完成予定)を予定し、波津区に交通空白地域が生じないように、一方の路線のみの変更を検討)

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、関係市町

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

	R5	R6	R7	R8
特急静岡相良線、 藤枝相良線、島田静波線	維持	維持	維持	維持
☆相良御前崎線 ☆相良浜岡線	維持	維持	維持	経路変更準備 (R9以降変更)

事業Ⅰ R5～R6 の取組状況

(特急静岡相良線)

榛原総合病院への乗り入れ便を増やした場合、距離や運行時間が伸びるといった課題があるため、継続協議中。

(藤枝相良線、島田静波線)

榛原高校との通学手段に係る意見交換に参加 (R5.11.10)

＜高校の要望＞	＜市の回答＞
① 藤枝相良線の藤枝駅発・相良方面行きの榛原高校前到着時刻 (8:25) を勘案し、授業の開始を10分遅らせて8時30分としたが、日常的に遅延が発生しているため、通学に利用できていない。	① 該当便は、藤枝駅行きの初便が折り返す便であるため、相良営業所出発時刻を早める必要があるが、運転手の拘束時間が増えるため、現状では難しいと思われる。
② 藤枝相良線の最終便は、高校前に18:31着だが、もう少し後の便もほしい。	② 基本的には、藤枝相良線は藤枝駅へ行く需要に合わせて時刻や便数を設定しているため、最終便は藤枝駅発便が相良方面へ適正な時間に向かう時刻設定をしていることから、時刻改正は難しいと思われる。

※藤枝相良線の榛原高校前最終便は、現在では17:56着となっている。

(榛原高校、相良高校への路線バスを利用した通学確認)

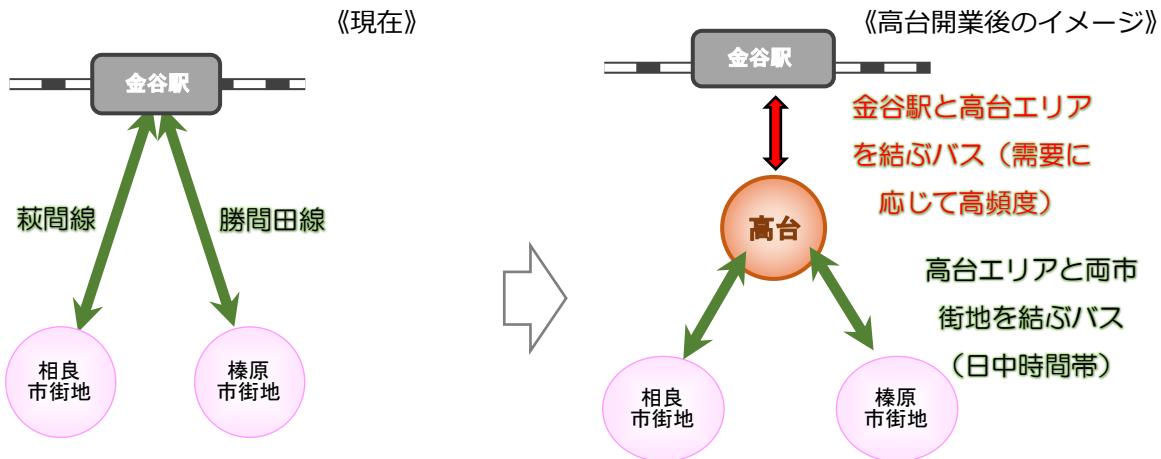
	榛原高校（榛原高校入口）		相良高校（相良本通）	
	登校（初便）	下校（最終）	登校（初便）	下校（最終）
島田静波線	8:03	19:27	—	—
藤枝相良線	8:25	17:56	8:47	17:37
特急静岡相良線	7:42	21:17	7:56	21:05

※市外から市内2校に通学する場合、藤枝相良線で通学することは難しいが、特急静岡相良線の東名大井川バス停で乗降すれば通学可能

(相良御前崎線、相良浜岡線)

- ① 高校生の通学利便の向上を中心とした地頭方地区の負担軽減
 - ・相良御前崎線の最終便 19:32 発を 19:50 発に変更することで、特急静岡相良線で帰宅する榛原高校生の部活動終了後の移動が改善した。
- ② 便数見直し
 - ・両路線の便数を見直し、利用状況に応じた適正な便数に変更した。

事業2 市街地と高台エリアを結ぶ路線の再編（幹線軸（斜面部））



【具体的な施策】

- ☆利用者の多い萩間線を基幹路線として維持しつつ、市街地から高台エリアを経由し、近隣のJR駅へ運行することで路線の効率性を高めます。
- ☆萩間線、勝間田線の起点となる相良、榛原両市街地から高台エリアまでの運行経路については、小学生の登下校利用に加え、高齢者の移動、高台エリアからの来訪者利用を想定し、巡回型を含め、実態に応じた運行経路を検討します。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、関係市町

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
維持	維持	経路変更準備	高台エリア開業に合わせて変更

事業2 R5～R6 の取組状況

継続協議中

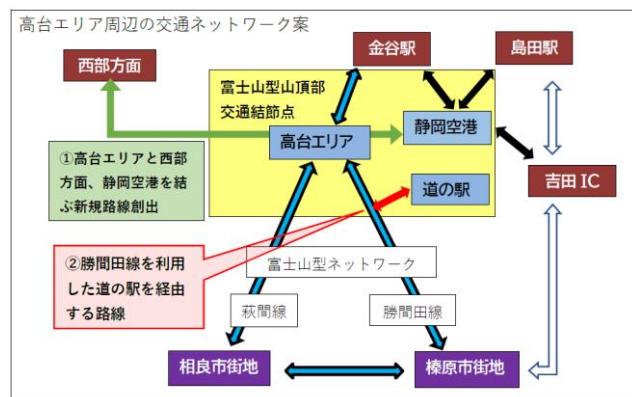
◆現在の方針（案）

- ① 萩間線：経路変更により高台バス停への接続を予定
- ② 勝間田線：バスを利用中の勝小児童（現在8人）の通学手段確保と高台への接続について、関係者との協議していく。

事業3 富士山型山頂部からの路線の創出（広域交流拠点連携軸（山頂部））

【具体的な施策】

- ① 高台エリアと西部方面を結ぶ路線や静岡空港を結ぶ路線の創出を検討し、商業施設への通勤や買い物需要と静岡空港の利用者を取り込むとともに、市民の移動手段となるような路線を検討します。
- ② 事業2の高台エリアと両市街地を結ぶバスの経路として、既存の勝間田線を延伸して「道の駅（仮）さかべ」を経由する路線を検討します。



事業の実施主体	牧之原市、バス事業者、タクシー事業者、関係市町
事業の実施年度	

	R5	R6	R7	R8
①	協議・調整	協議・調整	経路変更準備	高台エリア開業に合わせて運行
②	協議・調整	協議・調整	経路変更準備	高台エリア開業に合わせて変更

事業3 R5～R6 の取組状況

継続協議中

◆現在の方針（案）

- ① 高台エリアと西部方面、静岡空港を結ぶ新規路線創出
 - 西部方面：企業送迎バス、菊川市コミュニティバス等の地域の輸送資源を活用した運行を検討
 - その他、定時定路線の運行の必要性を検討していく
 - 静岡空港：県や民間事業者の空港アクセスバス等の地域の輸送資源を活用した運行を検討
- ② 道の駅を経由する路線
 - ・勝間田線を経路変更した接続を検討
 - ・県の空港アクセスバスの停車を要望
 - ・静岡空港と道の駅は自動運転車両を活用した接続も検討

事業4 高齢者等の移動手段の提供

【具体的な施策】

☆デマンド乗合タクシーの利用促進の継続や大御所バスの周知を図ります。

- ・運転免許証自主返納支援事業を促進し、バスやタクシーを活用して高齢者の事故を防止します。

事業の実施主体

牧之原市、タクシー事業者、福祉関係組織

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
継続実施	継続実施※全域での本格運行開始	継続実施	継続実施

事業4 R5～R6の取組状況

- ・じとうがた号の本格運行への移行
- ・号の統合による運行日の増

号	運行会社	運行状況	運行便数
さかべ号	東海タクシー	本格運行	週2 8便
かつまた・まきのはら号		本格運行	週3 6～8便
しづなみ・かわさき号、ほそえ号		試験運行	週3 8便
すげやま・はぎま号	御前崎タクシー	本格運行	週3 8便
じとうがた号		本格運行	週2 8便
さがらひがし号、さがらにし号		試験運行	週3 8便

◆課題・今後の予定

(デマンド乗合タクシー)

- ・令和7年度から、榛原、相良市街地のデマンド試験運行を本格運行へ移行予定
(榛原は半年延長の可能性あり)

(路線バス)

- ・大御所バスの周知
- ・牧之原市高齢者運転免許証自主返納支援事業助成金への大御所バス追加の検討
【現在】
 - ・バス：なし
 - ・デマンド乗合タクシー無料券 6,000円分相当
 - ・静岡県タクシー共通クーポン 6,000円分相当

事業5 拠点バス停の環境整備の推進

【具体的な施策】

☆特急静岡相良線が停車する拠点バス停や、バス路線再編に伴い整備する結節バス停、今後整備予定の高台エリアのバス停について、屋根付き待合所やベンチの設置、バスロケーションシステム等を整備し、快適な待合環境の整備を推進します。

- ・拠点バス停や結節バス停の周辺に、サイクルアンドライド駐輪場の設置を検討し、結節点の機能強化を図ります。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、タクシー事業者、関係市町

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
推進・協議	推進・協議	推進・協議	高台エリアバス停整備

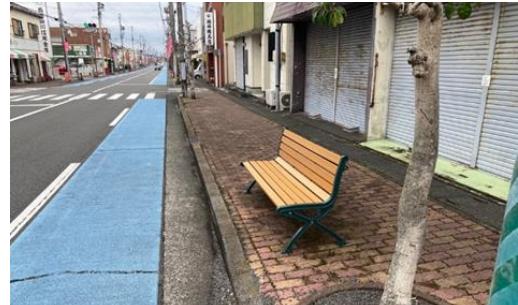
事業5 R5～R6 の取組状況

整備状況

年度	バス停	整備内容
R3	相良本通り（上り）	屋根付き待合所整備
R4	相良本通りバス停付近	相良中央駐車場内駐輪場整備
R5	（自主）相良本通りバス停（下り）	待合ベンチ整備
R6	根松バス停（下り）	サイクルラック整備



根松バス停（下り）



（自主）相良本通りバス停（下り）

※相良営業所（上下）のバス停車帯整備及び高台バス停はR8整備予定

◆課題・今後の予定

- ・拠点バス停付近のパークアンドライド駐車場の確保は根強い要望があるが、適地確保には至っていない。

事業6 誰もが利用しやすいサービスの提供 R5～R6 取組確認

【具体的な施策】

- ☆進学を控えた市内の中学生や高校生向けに、バスを使った学生生活のリーフレットや、近隣の高校・大学等へのアクセスマップ、企業や地域別にカスタマイズした情報を掲載したチラシ等を作成・配布し、効果的な情報提供を図ります。
- ☆利用者の実態に合わせた時刻設定の見直し、乗り換えに係る待ち時間短縮を図るなど、使いやすい時刻への見直しを定期的に行います。
- ・国の「地域公共交通確保維持事業」による低床バスやUDタクシーの導入促進や、環境負荷の少ない車両の導入に対する調査、研究を実施し、時代に対応した車両の普及を交通事業者とともに検討します。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、タクシー事業者、関係市町、市内中学校・高校

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
情報発信実施	継続実施	継続実施	継続実施

※時刻設定の見直し等は隨時行う

事業6 R5～R6 の取組状況

- ① デマンド乗合タクシーの使い方動画（音声付き）を整備（市HP掲載）

Youtube URL

<https://youtu.be/Yep3ByqeSJ8?si=3qmrJsXjSOLeeVEz>



※右のQRコードからもアクセスできます→

◆課題・今後の予定

- ・近隣の高校・大学等へのアクセスマップの作成、配布
- ・自主運行バスのJR駅との接続状況の確認（改善要望あり）
- ・EVバス等の環境配慮車の調査研究

事業7:モビリティマネジメントの推進

【具体的な施策】

☆高齢者や児童、学生を対象としたバスの乗り方教室、タクシーの乗り方教室を企画し、利用者の掘り起しを図ります。

☆しづてつジャストライン（株）が実施するバスフェスタの誘致や、産業フェア等の各種イベントにおいて、低床バスやUDタクシーを展示し、公共交通を身近に感じてもらう機会を提供します。

2

- ・過去に実施した「バス路線沿線の風景写真コンテスト」のように、公共交通への興味につながる取組を実施します。
- ・ゼロカーボンや温暖化対策と連携したモビリティマネジメントの実施を検討します。
(例)・ノーカーデー、エコ通勤の推進
・COOL CHOICE (1日限定で静岡市内のバス、鉄道運賃が無料 R4実施)



モビリティマネジメント：一人一人のモビリティ（移動）が、個人的にも社会的にも望ましい方向（すなわち、過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向）へ自発的に変化することを促す、コミュニケーション施策を中心とした交通政策

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、タクシー事業者

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
実施	継続実施	継続実施	継続実施

事業7 R5～R6の取組状況

主な取組は次ページ参照。取組一覧は資料2 P17参照。

◆課題・今後の予定

- ① デマンド乗合タクシーの使い方教室：実施中
- ② 産業フェア出展 11月17日（日）ガスワンアリーナ駐車場
 - ・しづてつジャストライン（株）協力による低床バス展示
 - ・環境フェアとの連携による公共交通利用促進(ゼロカーボン、温暖化対策)
- ③ 公共交通に親しむ機会の提供 12月7日（土）、8日（日）
 - ・ハッピーライド事業（運賃協議部会で説明）

【R5 の主な取組】

広報 8月号掲載

基本方針

1 交通ネットワーク

市のまちづくりと同じく、権原、相良市両市街地と高台エリアを結ぶ「富士山型ネットワーク」を基本に、バス路線の再編を計画します。

- 富士山型沿岸部の接続
 - ・特典券販売実績：権原駅周辺への乗り入れ時間帯の大幅短縮
 - ・相良御前崎線、相良浜岡線：相良総合センター「へら」や施設中の多目的体育館へのアクセスが可能な経路変更
- 富士山型斜面部の接続
 - ・萩原線、勝間田線：高台エリアへ接続する経路変更
- 富士山型高層部の接続
 - ・高台エリアから西方面と富士山静岡空港への新規路線創出
 - ・道の駅（仮）さかべとの接続



2 利便向上、利用促進

基本方針1「交通ネットワーク」を利用しやすいものとするため、公共交通の利便向上につながる環境整備や利用促進を図ります。



①高齢者などの移動手段
市内全域で運行するデマンド乗合タクシーの分かりやすい周知と利用促進
②拠点バス停の環境整備
屋根・ベンチ付き待合所、駐輪場の整備
③誰でも利用しやすいサービス
バス利用者のニーズに合わせた経路図や時刻表の作成。時代に即した車両の導入（低床バス、ユニバーサルデザインタクシー、環境に優しいEV車両など）
④モビリティマネジメント（自家用車から公共交通への変換や利用促進）
バスの乗り方教室の実施、公共交通に親しむイベントの実施、環境説明との連携など

3 他分野との連携

公共交通計画は、上位計画である「第3次牧之原市総合計画」との連携を図るため、総合計画の重点・戦略プロジェクトと連携した取り組みを計画しています。

- ①公共交通分野との連携
観光ガイドバスの運行、富士山静岡空港と市街地を直結する公共交通の実証運行
- ②居住定住分野との連携
子育て支援などの連携
- ③公共交通の高齢者を支援する取組
バス運送の高齢者を支援する取組
- ④DX（デジタルトランスフォーメーション）との連携
自動運転車両の運行などの交通分野のデジタル化
- ⑤市団、企業、交通事業者などの連携
意見交換会の実施や運転手確保への協力



運転手募集

各交通事業者は、市の公共交通を担う運転手を募集しています。
興味のある人は、以下にお問い合わせをお願いします。

路線バス：しづてつジャストライン（相） 人事部人材支援課 ☎ 054-267-5153

（タクシー）▶ 東海タクシーグループ ☎ 050-0288-1001

（タクシー）▶ 東海タクシーグループ ☎ 050-0288-1001

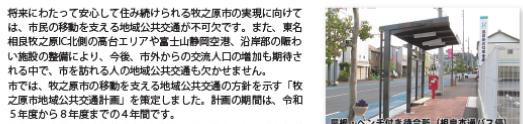
しづてつ
ジャストラインHP

3 MAKINOHARA 2023.08

「住み続けたい」「働き続けたい」「訪れたい」
を支える地域公共交通の構築

牧之原市地域公共交通計画を策定

問い合わせ 地域振興課 増田隆助 ☎ 05053



将来にわたって安心して住み続けられる牧之原市の実現に向けては、市民の移動を支える地域公共交通が不可欠です。また、東名相模自動車道に接する高台エリアや富士山静岡空港、沿岸部の施設を接する施設により、今後、市外からの交流人口の増加も期待される中で、市を訪れる人の地域公共交通も欠かせません。市では、牧之原市の移動を支える地域公共交通の方針を示す「牧之原市地域公共交通計画」を策定しました。計画の期間は、令和5年度から8年度までの4年間です。今後は、市民の快適な移動や市に訪れる人の移動手段の確保など、この計画に基づく施策を実施し、公共交通の利便性向上を推進してまいります。

地域公共交通計画の計画書は、市HP（右の第二次コード）をご覧ください。

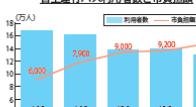
持続可能な公共交通を目指して

公共交通の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を機に大きく減少しました。現在でも、働き方などの社会生活の変化により、以前の状態に戻ることは難しい状況です。利用者と運賃収入の減少により、市の負担は年々上昇していることに加え、全般的な問題である運転手不足が進みます。現在の公共交通を維持することは困難となります。一方で、市内全般で導入している会員制のデマンド乗合タクシーの利用は増加しており、高齢者などの高齢者や障害者など生活にかかせない移動手段となっています。

今一度、地域の皆さんが支える公共交通であることを認識していきたいです。



自主運行バス利用者数と市負担額



時刻表や路線図

市内を走るしづてつジャストラインの路線バスや自主運行バス、デマンド乗合タクシーの時刻表などについては各HPをご覧ください。

しづてつジャストラインHP

バス路線図 バス時刻表

[市HP]

自主運行バス
デマンド乗合
タクシー

2023.08 MAKINOHARA

路線バスの魅力を発見する会

日時 9月21日開催

主催 憇いの家みち 石津道弘さん
内容 路線バスの魅力を知ってほしいという思いから実施。藤枝駅から相良本通を貸切ディーゼルバスで運行。参加者は池田屋（市内）のビールとすけろく（市内）の昼食でバスの旅を楽しんだ。

市の地域振興課職員も参加し、藤枝相良線の利用状況や経路上の見どころを説明した。

一般の方が市内飲食店とバスの利用促進をコラボさせた好事例であり、今後もこのような取組を支援していく。



事業8 観光施策と連携した取組の推進

【具体的な施策】

☆公共交通で移動が可能な観光モデルルートを設定し、公共交通による観光周遊行動を促します。

☆公共交通と観光イベントを連携させた取組を計画します。（例：バス+ウォーキング、バス+観光ツアー等）

- ・事業3で示した富士山静岡空港と高台エリアを結び、高台エリアから市街地への誘導を図るため、高台施設バス停に観光情報が得られるスペースを整備します。
- ・インバウンド需要を取り込むことを目的に、夏季の海水浴期間中などの観光シーズンに、富士山静岡空港と市街地を結ぶ直通バスの実証運行を検討します。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、タクシー事業者、（一社）まきのはら活性化センター

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
計画	実施	継続実施	継続実施

事業8 R5～R6 の取組状況

- ・目立った取組ができなかった。
- ・まずは担当課や（一社）まきのはら活性化センターとの意見交換で課題や方針を確認する。

◆課題・今後の予定

① 観光イベントとの連携

◆大河ドラマ「べらぼう」田沼意次候顕彰事業

- ・・・特急静岡相良線のラッピングバス（大河ドラマ活用推進室）

② 富士山静岡空港と市街地を結ぶ直通バスの運行

- ・・・空港、高台エリア、道の駅を結節点とした路線再編や自動運転車両を活用した市街地誘導を検討する。

事業9 移住定住、子育て支援につながる取組の推進

【具体的な施策】

- ・成人式など若者が多く集まる機会や移住定住の相談の際に、公共交通のマップ等が手元に渡るような細やかな連携や、特急静岡相良線等の利便性をPRするチラシ作成に取り組み、移住定住を推進します。

☆高校生のスムーズな通学の確保を図り、保護者の送迎負担の軽減につながる施策を検討します。特に、市内の榛原高校、相良高校に対しては、学生確保、保護者の負担軽減を目的に、高校と定期的に意見交換を実施します。

- ・市内の中学や高校と連携し、高校や大学進学の際のバス路線を利用した通学手段に対し、担当課内に相談体制を整備し、バス路線による効率的な通学手段を提案します。
- ・自主運行バスを利用している遠距離通学児童の通学手段を引き続き確保します。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、小学校、中学校、高校

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
検討	実施	継続実施	継続実施

事業9 R5～R6 の取組状況

- ・高校生を対象とした路線バス通学定期券購入費補助制度を開始
(R6 の途中経過は次ページ参照)

【対象となる路線】

しづてつジャストライン(株)が運行する路線バス

特急静岡相良線、藤枝相良線、島田静波線、萩間線、勝間田線、相良御前崎線、相良浜岡線

【補助率、上限】

- 補助率：購入金額の1/2
- 補助上限額：下記のとおり

在籍先	補助上限額
静岡県立相良高等学校 静岡県立榛原高等学校	3万円
市外の高等学校等	1万5千円

◆課題・今後の予定（通学定期券に係る市に寄せられた市民意見）

- ・制度の拡充：スクールバス利用者、大学生も対象としてほしい
- ・補助額見直し：市外高校の補助増額

令和6年度 通学定期補助の申請状況

◆R6 実施状況（令和6年9月末時点）

① 補助対象者・・・96人（榛原地域：44人 相良地域：52人）

② 高校内訳

	高校	人	路線
静岡市 21人	静岡高校	5	
	科学技術高校	3	
	城南静岡高校	2	
	ヒューマンキャンパスのぞみ	2	特急静岡相良線 21
	おおぞら高等学校	2	
	その他（各1人）	7	
焼津市 26人	清流館高校	14	特急3、藤枝相良5、特急+藤枝相良6
	焼津中央高校	8	特急8
	焼津水産高校	4	特急4
島田市 14人	島田工業高校	5	萩間3、特急2
	島田商業高校	6	島田静波4、特急+島田静波2
	島田実業高等専修学校	2	萩間2
	ふじのくに国際高等学校	1	萩間1
藤枝市 24人	藤枝東高校	19	特急18、藤枝相良1
	藤枝明誠高校	4	特急3、藤枝相良1
	藤枝北高	1	特急1
牧之原市 10人	榛原高校	7	特急5、特急+相良御前崎2
	相良高校	3	特急3
その他 1人	中遠調理師専門学校	1	特急1
		96	

※補助金交付者に対し、アンケートを実施予定

事業 10 自動運転技術などのDX化やICTを活用した取組の推進

【具体的な施策】

☆自動運転車両の市内での実証運行の可能性を調査し、将来的な導入を検討します。なお、導入候補地としては、拠点バス停や賑わい施設からバス路線が無い場所への移動を補完する「ラストマイル」の考えと、低速運行が可能な地域を基本に、実証運行から将来的な導入を検討します。

- ・交通事業者とともにMaaSの調査・研究を進めます。
- ・タクシーの予約方法等のICT化など、交通分野のデジタル化の調査・研究を進めます。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、タクシー事業者、静岡県

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実証運行（3年間のいずれかで）			

事業 10 R5～R6 の取組状況

① 自動運転

先進地視察や説明会への参加、情報収集を行っている。

② ICT 化

- ・路線バス通学定期券購入費補助の申請から支給までをオンライン化した
- ・デマンド乗合タクシーのオンライン会員登録を整備



◆課題・今後の予定

(自動運転)

- ・7年度または8年度に、市内での実証運行の機会を探る。
- ・静岡県では、県内6カ所（松崎町、袋井市、富士市、静岡市、浜松市、沼津市）の実証運行を今年度実施予定であるが、来年度以降に実施できないか検討する。

事業 11:市民意見を尊重する協議体制と関係者の連携強化

【具体的な施策】

- ・各地区の地域協議会や利用者、関係者に対し、情報提供や意見交換会を定期的に実施し、計画の推進に努めるとともに、公共交通の充実を図ります。
- ☆交通事業者の運転手不足に対し、周知・広報や、確保に向けた取組を共同で推進するとともに、NPO 法人による輸送等の新たな担い手事例の調査・研究を進めます。
- ・関係市町と連携し、自主運行バスや地域間幹線系統の利用促進を図るとともに、菊川市のコミュニティバスや県や藤枝市が運行する空港アクセスバスなど、市内を運行する他市や県の公共交通の上手な活用を周知します。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、タクシー事業者、関係市町、地域や各種団体

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
実施	実施	実施	実施

事業 11 R5～R6 の取組状況

- ・関係者との意見交換を実施した（次ページ参照）

◆課題・今後の予定

① ライドシェア

新たな担い手事例の調査・研究の一環として、ライドシェアの推進組織である「(一社)全国自治体ライドシェア連絡協議会」へ加入した。また、静岡県地域公共交通活性化協議会においてもライドシェア専門部会が立ち上がり、県内でも交通空白地域の解消手段として推進体制が確立された。

② 共助型移送

NPO や地域ボランティアによる運送の調査研究を行う。

(例)

【御前崎市：地域協働バス】

市が地区に車両を貸し出し、地域住民が運転手となる無償運行。現在 5 地区で導入している。

【R5 の主な取組】

① 地域協議会

デマンドの利用状況の説明と班組回覧による周知を依頼。

② 意見交換会

<学校連携：榛原高校>

榛高職員、PTA 役員との意見交換を実施。
生徒へのアンケート調査を基に、路線バスの時刻改正等を検討した。

<福祉連携：主任ケアマネージャー会議>

デマンド乗合タクシーの利便向上と周知を目的に、同会議で意見交換を 2 回実施。(約 20 人)

オンライン会員申請、無料体験乗車会の開催によるタクシーの抵抗感の軽減等のアイデアをいただいた。

<企業連携：矢崎部品(株)ものづくりセンター>

従業員送迎バスの状況について意見交換を実施。

<交通事業者、関係市連携>

バス、タクシー事業者との意見交換を適宜実施し、各交通モードの改善を図った。
関係市と路線バスの今後の方向性に係る意見交換を実施した。特に御前崎市とは、自主運行バス 2 路線について見直しを実施した。

③ 運転手不足対策

広報 8 月号の特集記事で、バス、タクシーの運転士募集を掲載。



牧之原市地域公共交通計画

「住み続けたい」「働き続けたい」「訪れたい」を支える

地域公共交通の構築

～「夢に乗るまち 牧之原」の推進～



※RIDE ON～：(乗り物に) 乗る

令和6年10月

牧之原市

第4章 計画の基本方針と目標 (2) 計画の目標

本計画の目標値については、3つの基本方針のそれぞれに目標を定めます。

バスに係る項目は、新型コロナウィルスの影響を受け令和2年、令和3年は数値が大きく落ち込んでいることから、[コロナ禍前の令和元年度の状況に戻すことを目標に設定](#)します。その他の項目の目標は、直近の数値からの増加、向上に取り組みます。

なお評価方法は、項目の数値が、原則前年度数値を下回らないことを目標に毎年単年度で評価し、計画期間内に目標年度の令和8年の数値に近づけていくこととします。

達成状況まとめ（中間評価）

基本方針	種別	内容	前年度実績	R5実績	単年度評価	R8目標
1	① バス利用者数(年間)	路線バス	306,340人	324,893人	○	379,000人
		自主運行バス	129,622人	131,082人	○	162,000人
	② バス収支率	路線バス	36.3%	37.3%	○	47.2%
		自主運行バス	12.3%	12.3%	△	18.2%
	③ バス公的負担額	路線バス	11,125千円	18,165千円	×	1,388千円
		自主運行バス	100,063千円	102,716千円	×	79,421千円
2	デマンド乗合タクシー	④ 年間利用者数	2,877人	3,578人	○	4,600人
		⑤ 乗合率	1.42人	1.30人	×	1.5人
		⑥ 会員登録率	13.2%	14.3%	○	15%
	⑦ 利用者満足度	バス	56%	—	—	72%
		デマンド	72%	—	—	80%
	⑧ モビリティマネジメント	取組件数	10項目	10項目	○	10項目
3	市民意見の尊重	⑨ 公共交通の満足度	30.4%	26.7%	×	40%

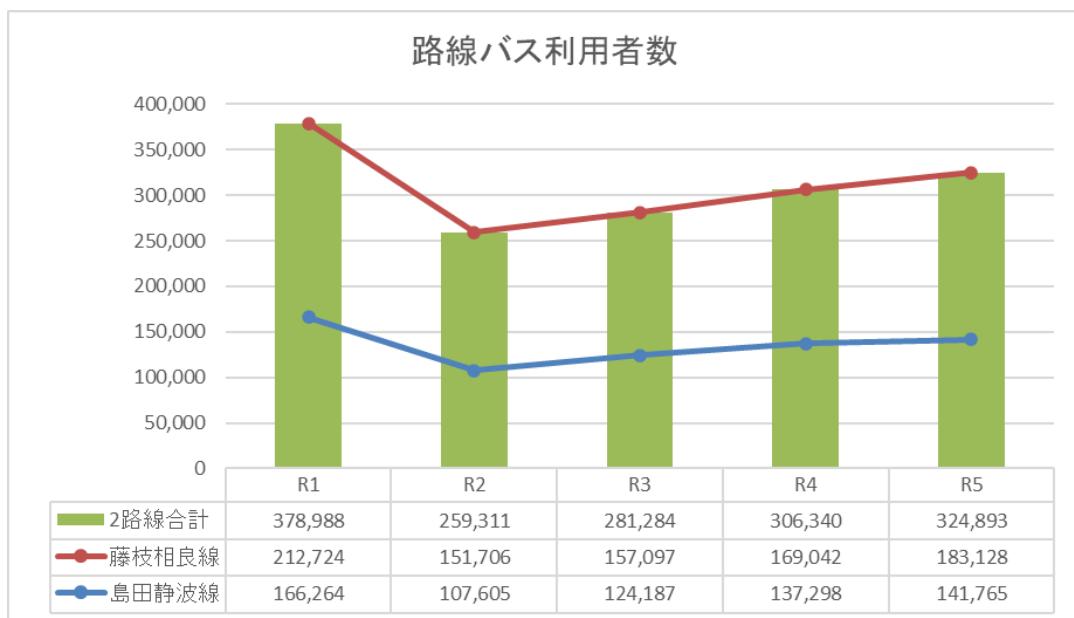
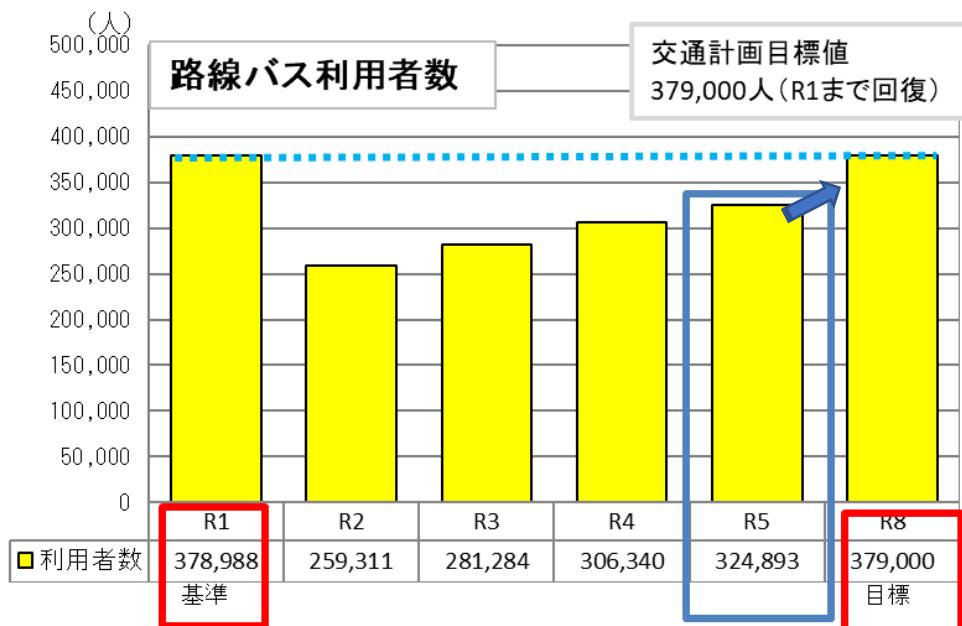
基本方針1に関する目標

基本方針1のネットワークでは「バス利用者数」、「バス収支率」、「バスに対する公的負担額」の3項目について、路線バスと自主運行バスのそれぞれで目標値を定めます。

富士山型ネットワークの構築に関する路線再編は高台エリアの開業時となるため、本計画期間は事前準備の段階となり、大きな路線再編には至りませんが、利用者数と収支率の増加（回復）に加え、便数見直し等による公的負担額の抑制を図ります。

目標① バス利用者数

バス	前年度 (R4)	実績 (R5 確定)	前年度 比較	目標	目標 (R8)
路線バス (藤枝相良線、 島田静波線)	306,340 人	324,893 人	○	R1 数値 に回復	379,000 人



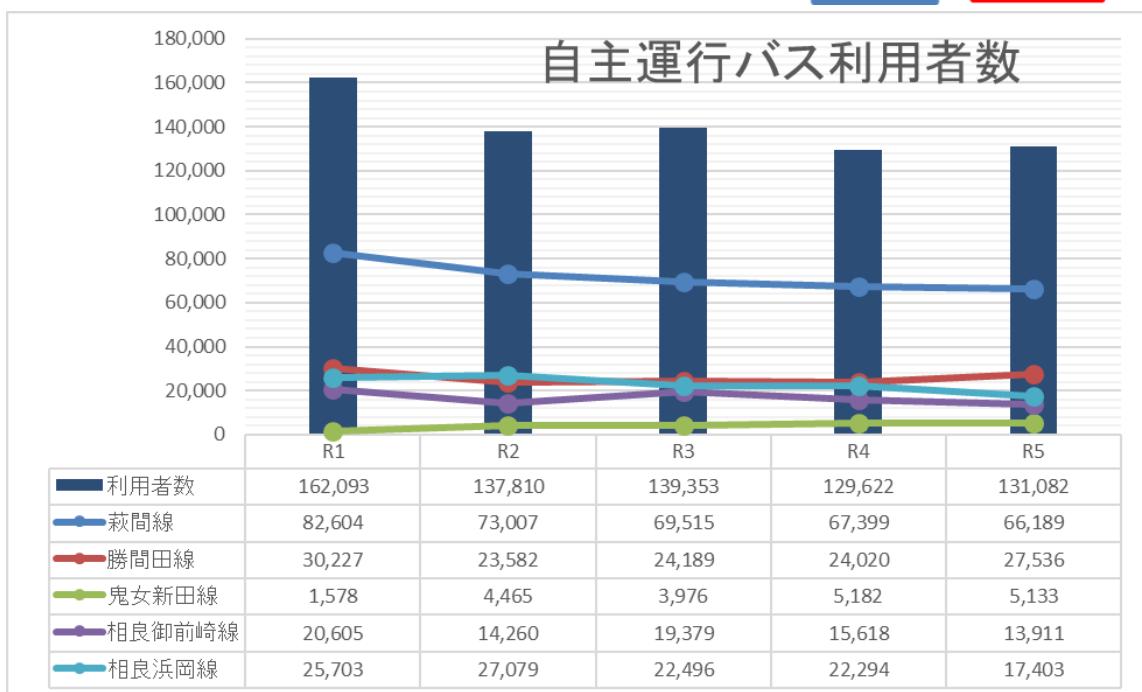
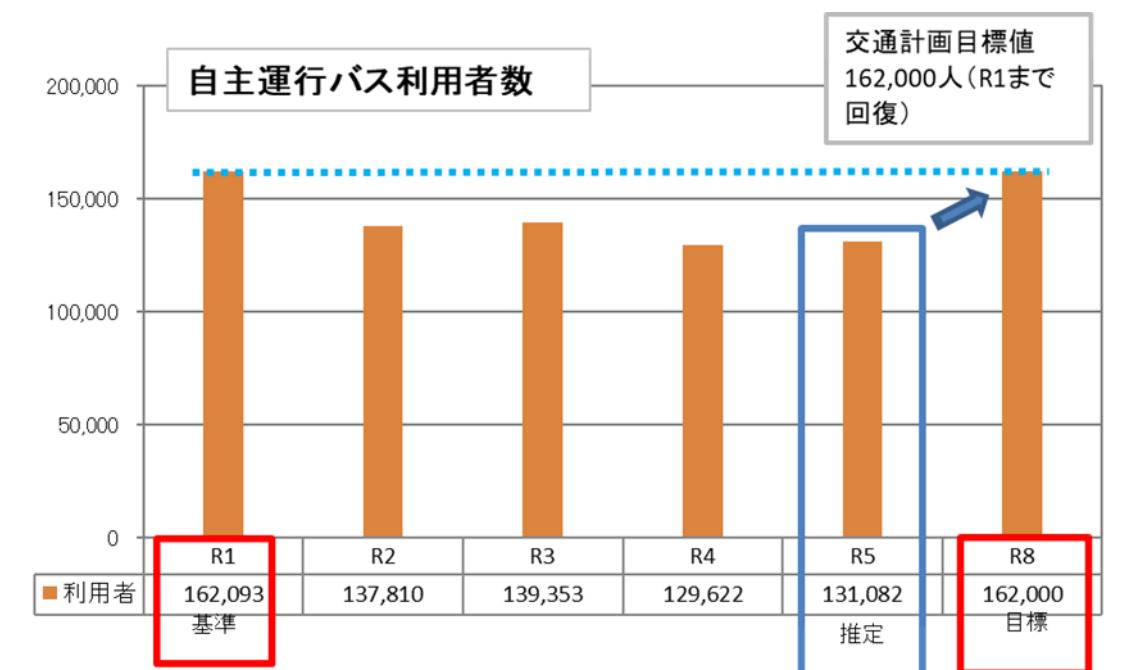
（まとめ）

両路線ともに回復傾向にある。（島田静波線：約 3.3%増、藤枝相良線：約 8.3%増 2 路線合計：約 6.1%増）

引き続き、路線を維持し、バス事業者や関係市町と通勤通学の利便向上や利用促進に取り組む。

目標① バス利用者数

バス	前年度 (R4)	R5 実績	前年度 比較	目標	目標 (R8)
自主運行バス (市営バス含む)	129,622 人	131,082 人	○	R1 数値 に回復	162,000 人



路線別利用者数

	令和5年度(人)	令和4年度(人)	前年度比較(%)
萩間線	66,189	67,399	98.2
勝間田線	27,536	24,020	114.6
鬼女・菅山線	5,133	5,182	99.1
相良御前崎線	13,911	15,618	89.1
相良浜岡線	18,313	17,403	105.2
合計	131,082	129,622	101.1

(まとめ)

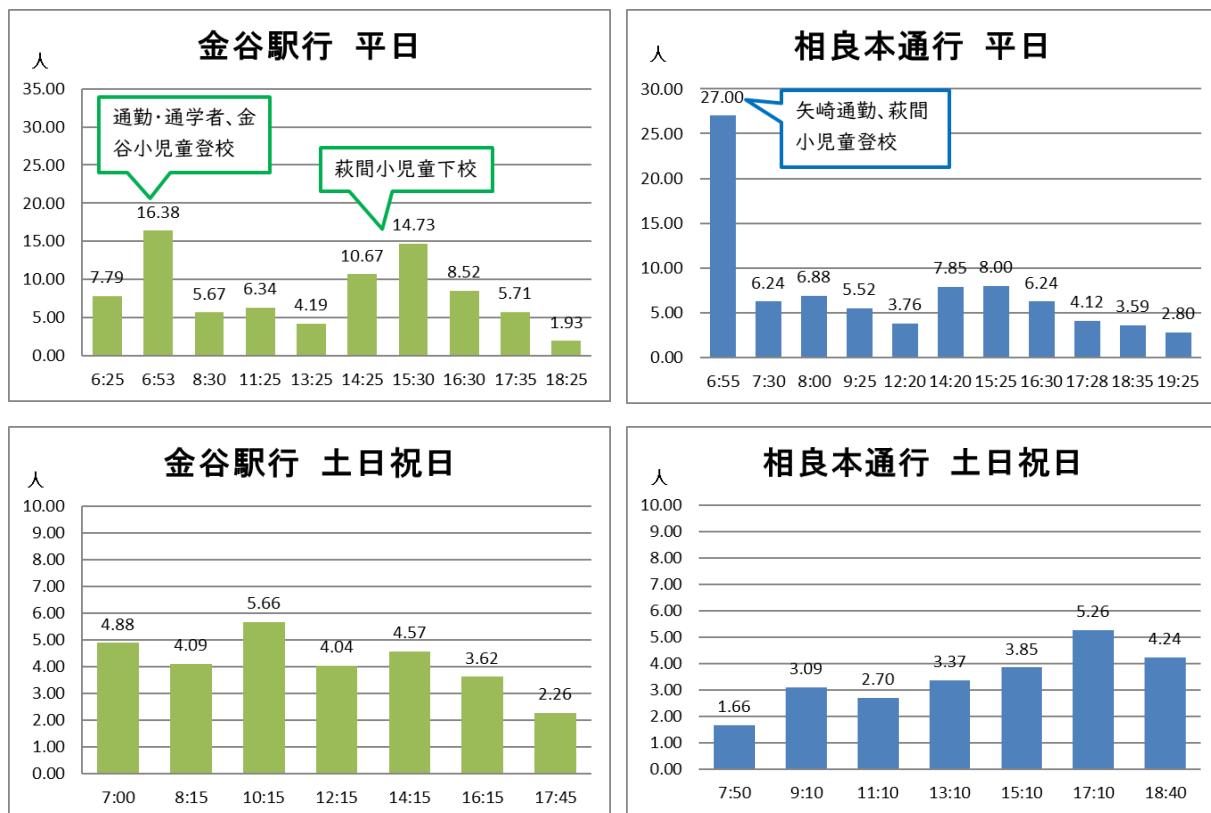
利用者数は13万人台へ回復したが、路線バス（藤枝相良線、島田静波線）と異なり、コロナによる利用者数の減少以降は横ばいや微減が続いている。

相良御前崎線は、1日約5人の利用者数の減少が見られるが御前崎中学校出身者の相良高校、榛原高校への進学者数の減少が主な要因と考えられる。

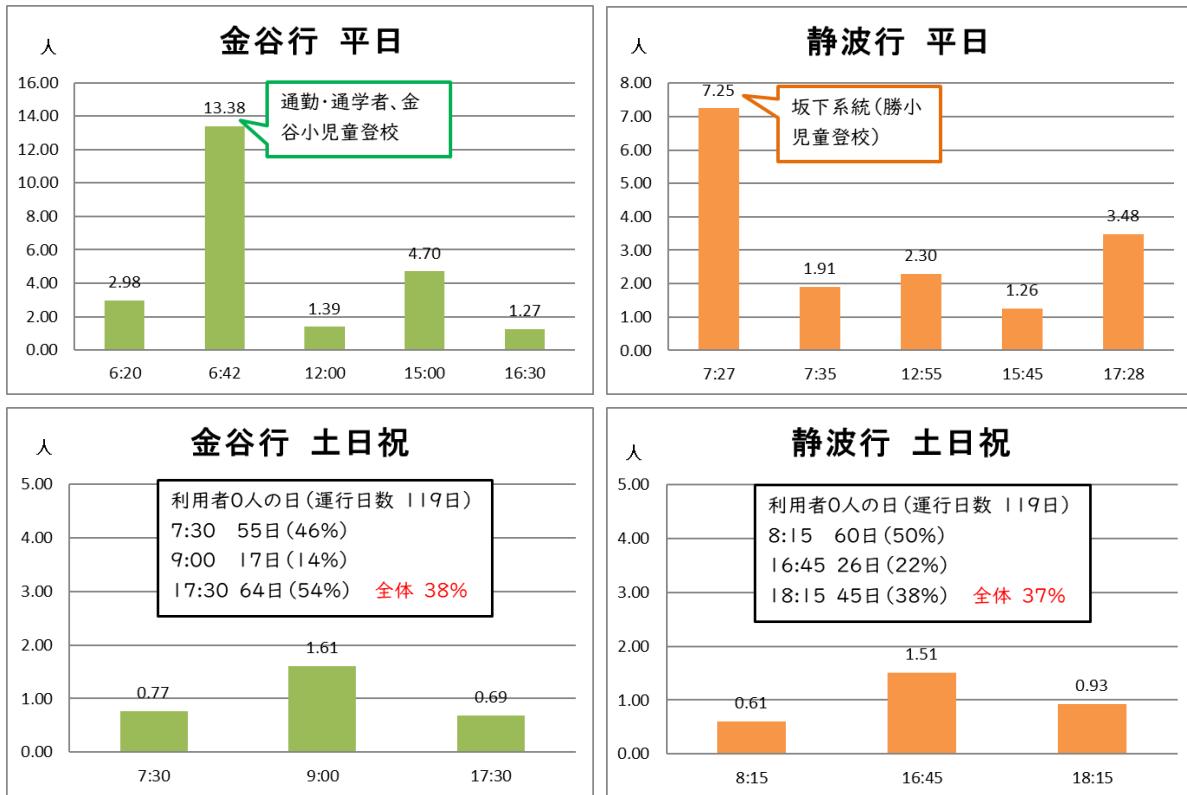
(R3: 70人、R4: 68人、R5: 57人)

【路線、便別利用者数】

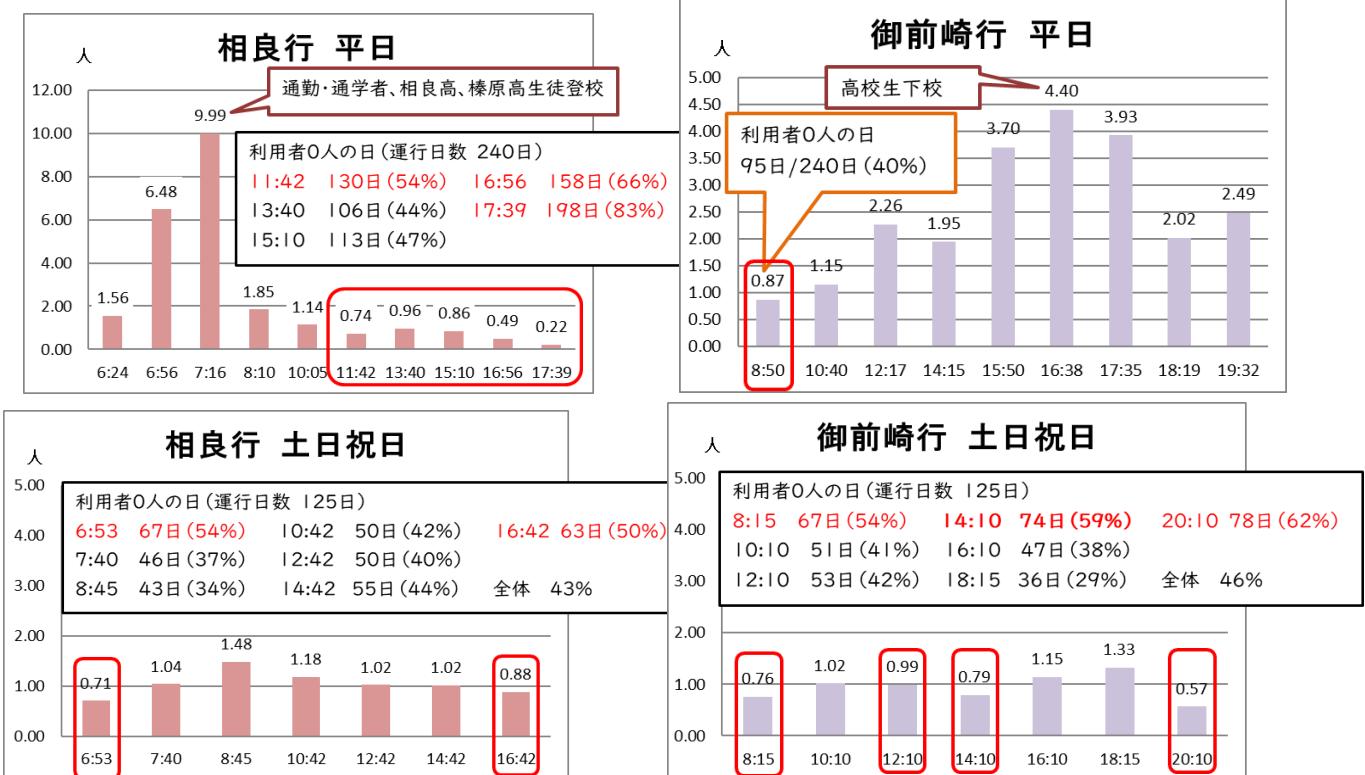
萩間線



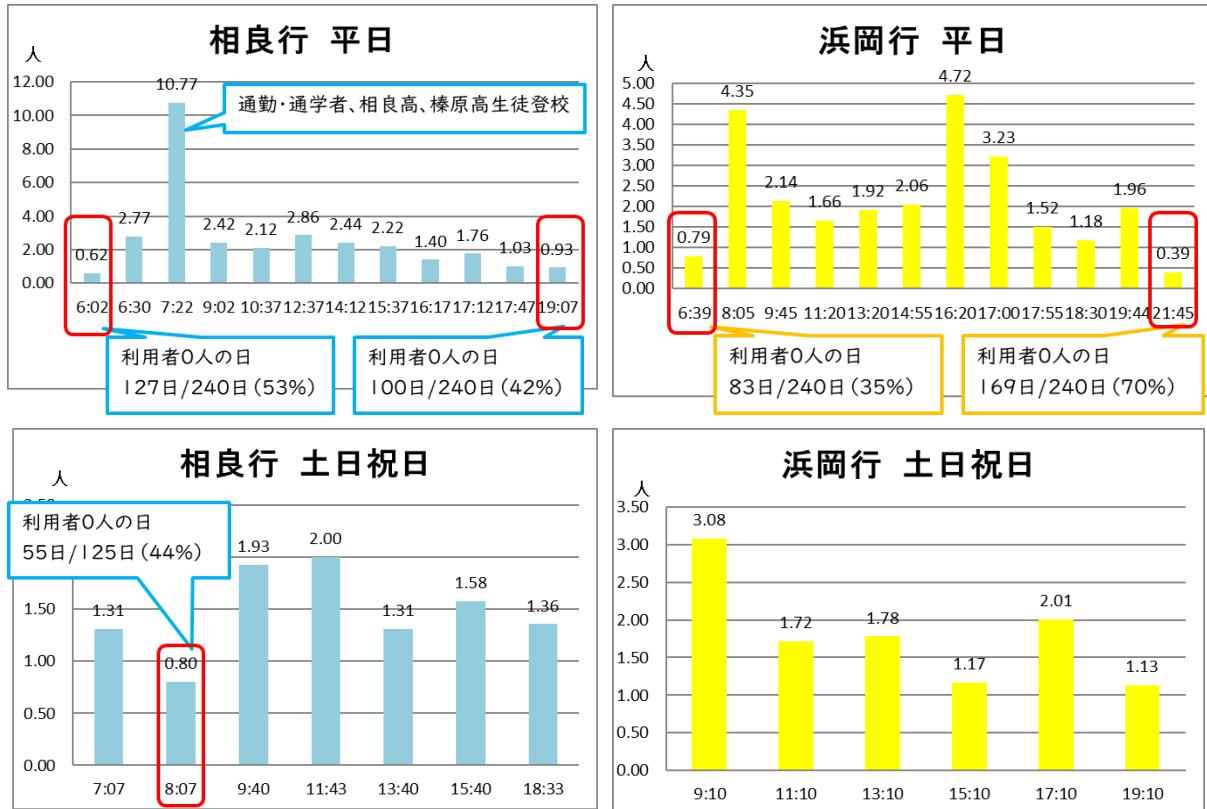
勝間田線



相良御前崎線

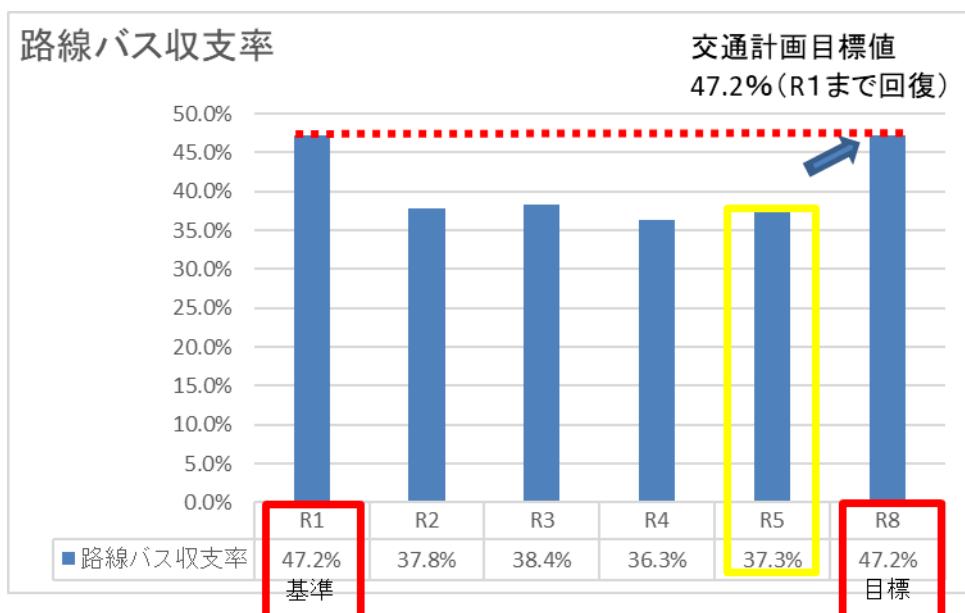


相良浜岡線



目標② バス収支率

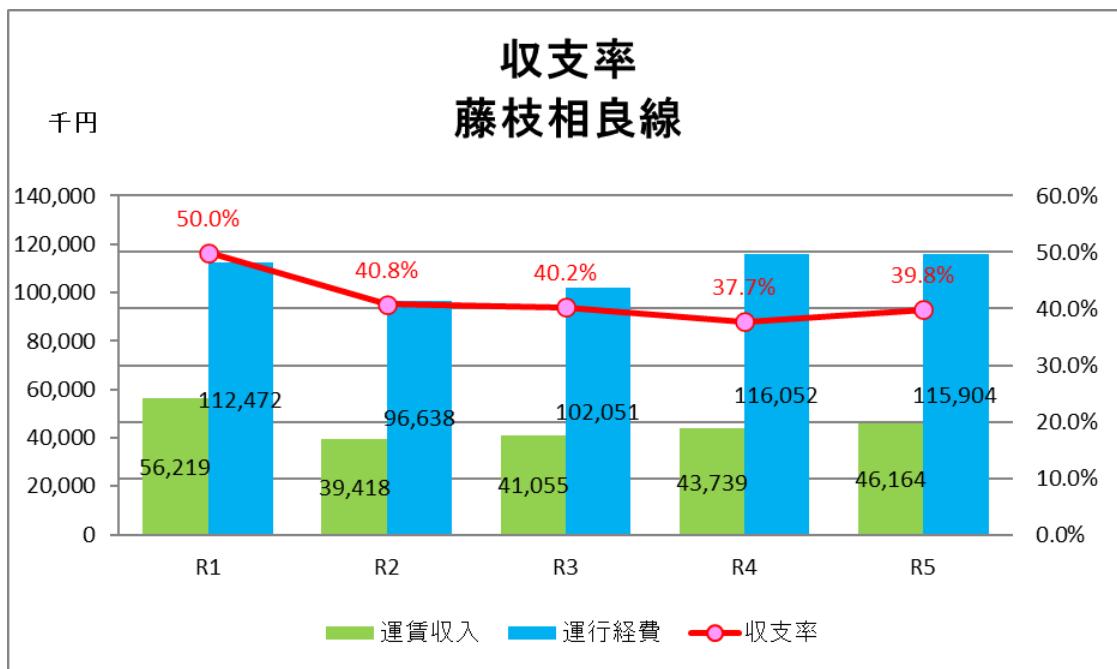
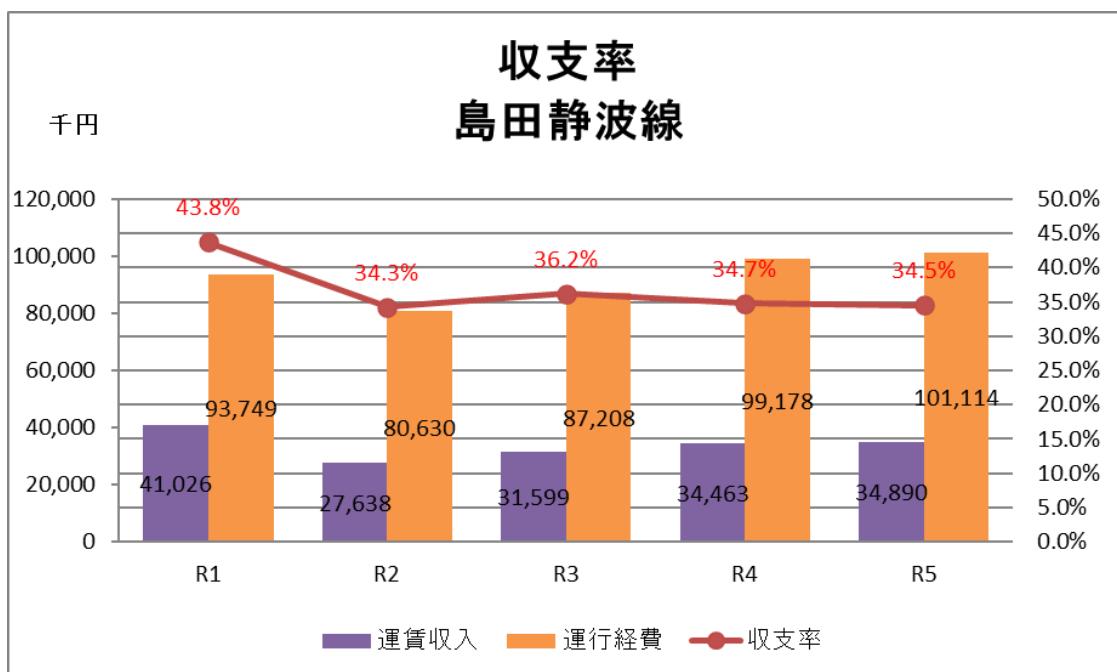
バス	前年度 (R4)	実績 (R5確定)	前年度 比較	目標	目標 (R8)
路線バス (藤枝相良線、 島田静波線)	36.3%	37.3%	○	R1 数値 に回復	47.2%



年度別収支率	路線	運賃収入 (千円)	運行経費 (千円)	収支率 (%)	2路線 計
R1	藤枝相良線	56,219	112,472	50.0%	47.2%
	島田静波線	41,026	93,749	43.8%	
R2	藤枝相良線	39,418	96,638	40.8%	37.8%
	島田静波線	27,638	80,630	34.3%	
R3	藤枝相良線	41,055	102,051	40.2%	38.4%
	島田静波線	31,599	87,208	36.2%	
R4	藤枝相良線	43,739	116,052	37.7%	36.3%
	島田静波線	34,463	99,178	34.7%	
R5	藤枝相良線	46,164	115,904	39.3%	37.3%
	島田静波線	34,890	101,114	39.8%	

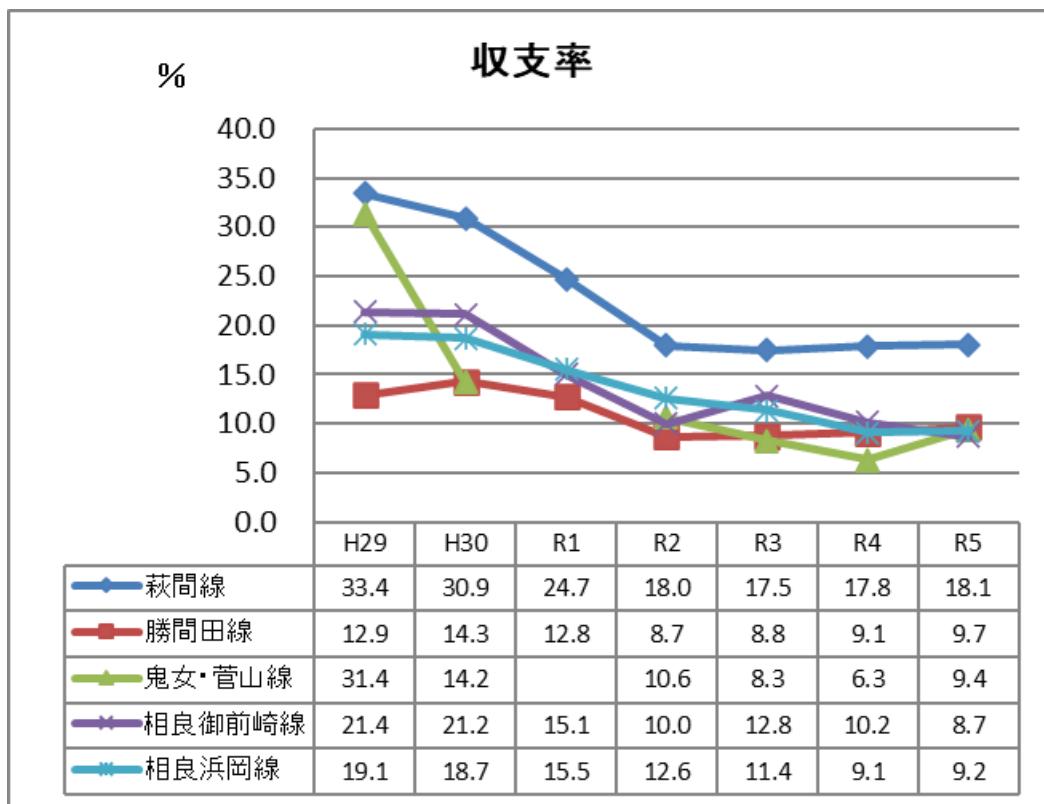
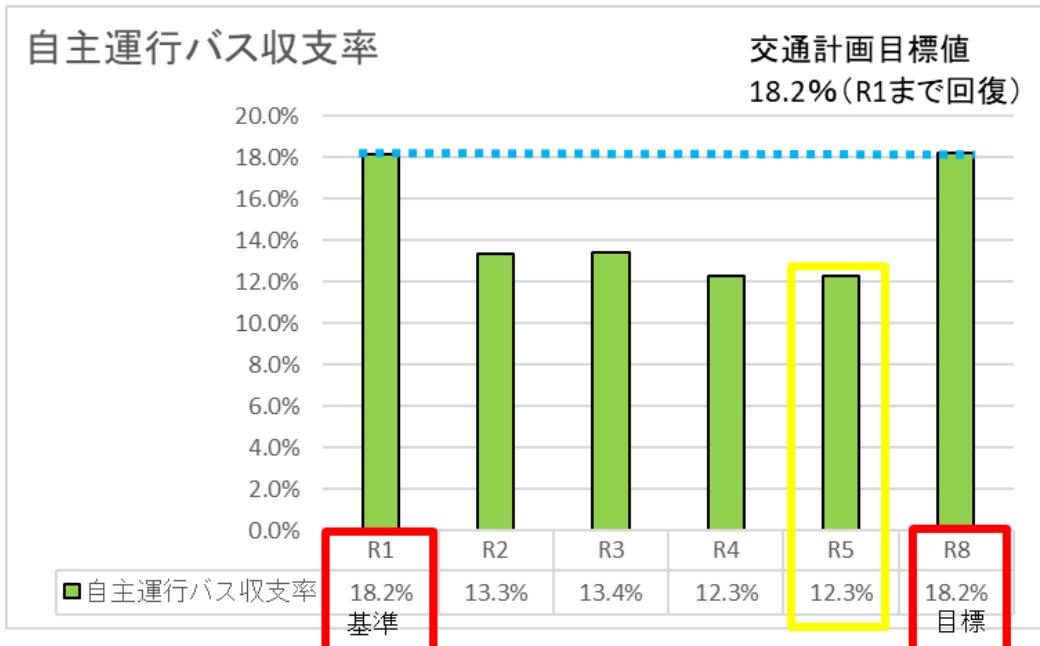
(まとめ)

運賃収入は増えたが、運行経費が微減したため収支率は改善した。
近年の運転手不足対策や燃料高騰により、今後は運行経費の増加が続いている可能性が高いため、バス事業者と共に対応策を検討する必要がある。



目標② バス収支率

バス	前年度 (R4)	R5	前年度比較	目標	目標 (R8)
自主運行バス (市営バス含む)	12.3%	12.3%	△	R1 数値 に回復	18.2%

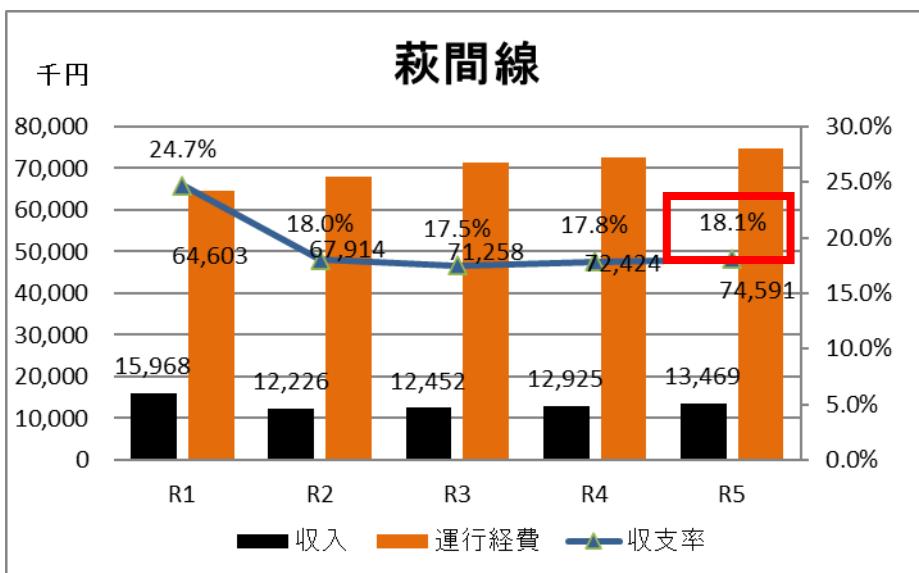


路線別収支率

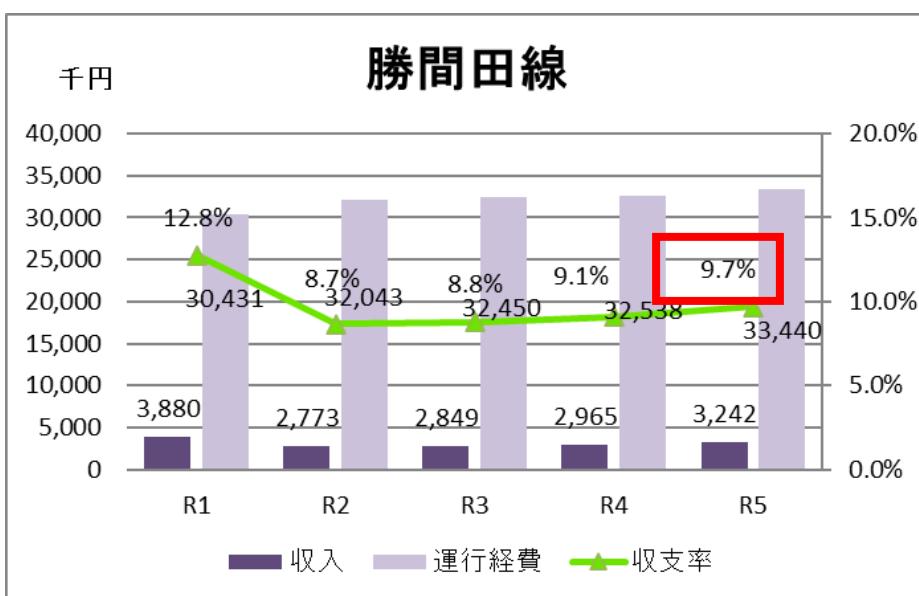
年度別		萩間線	勝間田線	鬼女・菅山線	相良御前崎線	相良浜岡線	5路線計
R4	収入	12,925	2,965	375	4,532	4,910	25,707
	経費	72,424	32,538	5,950	44,495	53,988	209,395
	収支率	17.8%	9.1%	6.3%	10.2%	9.1%	12.3%
R5	収入	13,469	3,242	401	3,958	5,066	26,135
	経費	74,591	33,440	4,402	45,969	55,506	213,954
	収支率	18.1%	9.7%	9.0%	8.6%	9.1%	12.3%

(まとめ)

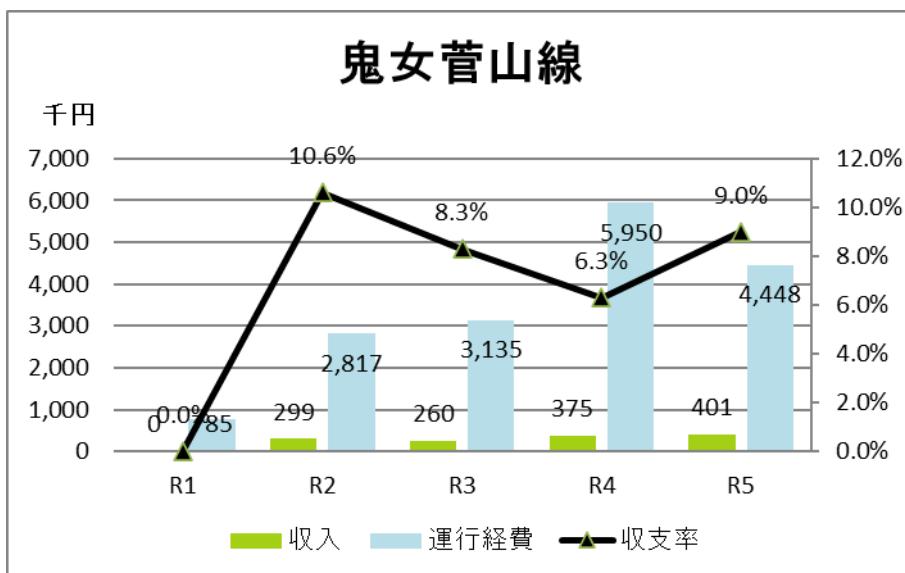
- ・コロナによる減収が続く中、R2以降では最も高い運賃収入となったが、R1比では8割の回復に留まっている。運行経費の増加により収支率に変化はなし。
- ・運賃改定により増収が見込まれるが、近年の運転手不足対策や燃料高騰により、今後も運行経費の増加は続いている可能性が高いため、バス事業者と共に対応策を検討する。



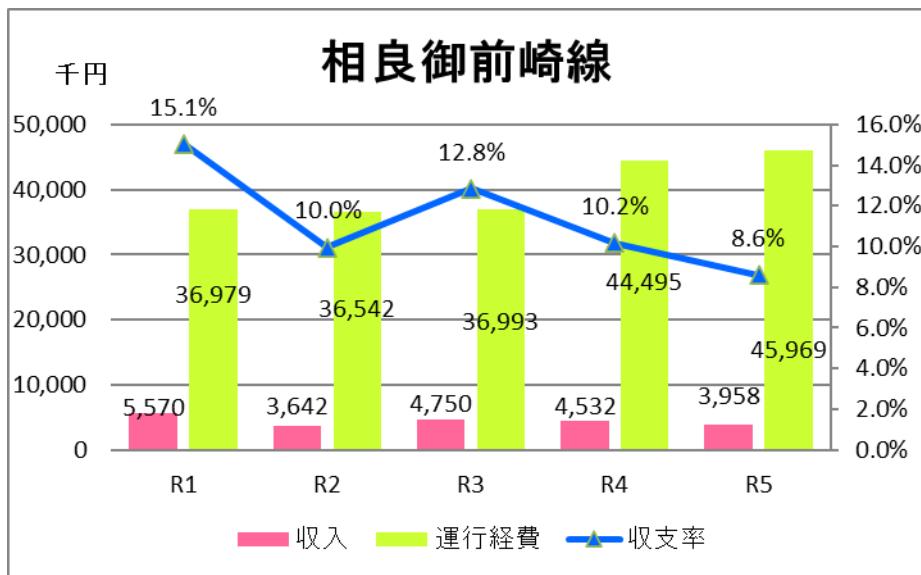
収支率は回復傾向にあるが、R1までの回復は見込めない。将来的には高台エリアへの接続により、利用者数や運賃収入の増加が期待できる。



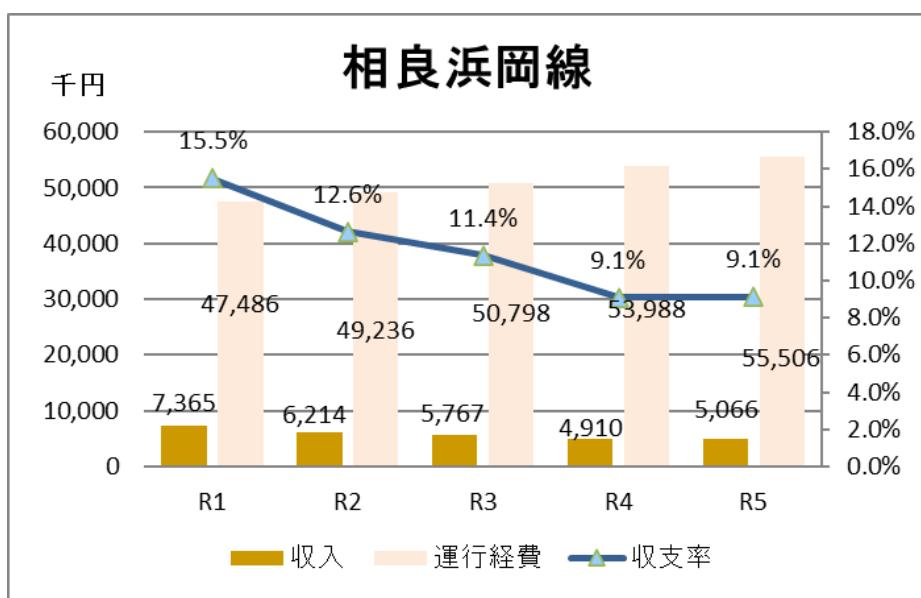
収支率は回復傾向にあるが、R1までの回復は見込めない。勝小児童の通学手段として維持したいが、経費を抑制する方法を検討したい。（土日祝見直し）



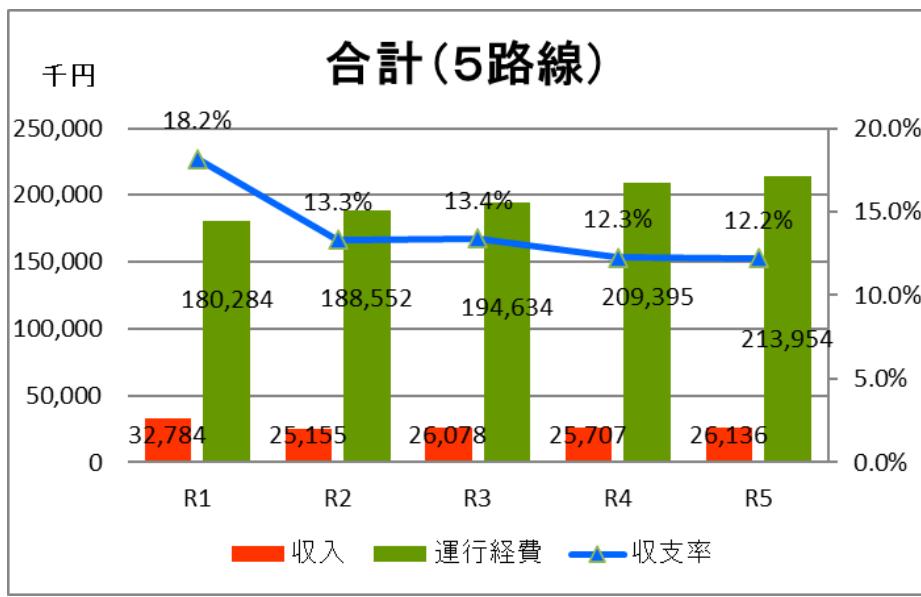
生徒、児童の人数に大きく影響を受ける。高校生や一般の方も利用可能であることを地域へ周知して、利用者を増やしていきたい。



収支率は減少傾向で一桁代に落ち込み、5路線で最も低い収支率となった。R6運行からは、減便による経費の抑制を図ったが、相良高校、榛原高校への通学者の減少が続く場合、改善は難しい。



収支率は減少傾向にあり、一桁代に落ちこんでいる。R6運行からは、減便による経費の抑制を図ったが、相良高校、榛原高校への通学者の減少や特急静岡相良線の浜岡営業所系統への流出が影響しているか。

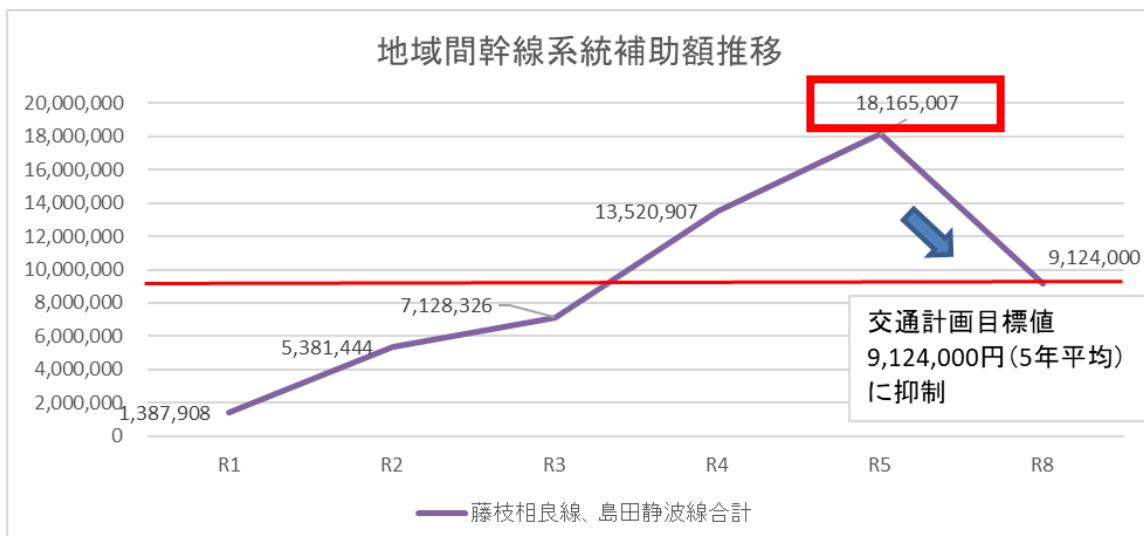


コロナ流行以降は、横ばいの状況。運賃改定により增收となれば、若干の収支改善が可能である。引き続き、路線の見直しによる収支改善を図っていく。

目標③ バス公的負担額

バス	前年度 (R4)	R5 実績	前年度 比較	目標	目標 (R8)
路線バス (藤枝相良線、 島田静波線)	11,125 千円	18,165 千円	×	R1 数値 に抑制	1,388 千円

※路線バスは、地域間幹線系統維持費補助金で補助する額とする



	島田静波線 (駅系統)	島田静波線 (病院系統)	藤枝相良線	合計
R1	805,143	582,765	0	1,387,908
R2	1,109,484	772,849	3,499,111	5,381,444
R3	1,393,025	1,923,033	3,812,268	7,128,326
R4	951,415	3,948,425	6,224,877	11,124,717
R5	491,385	2,996,452	14,677,170	18,165,007

(まとめ)

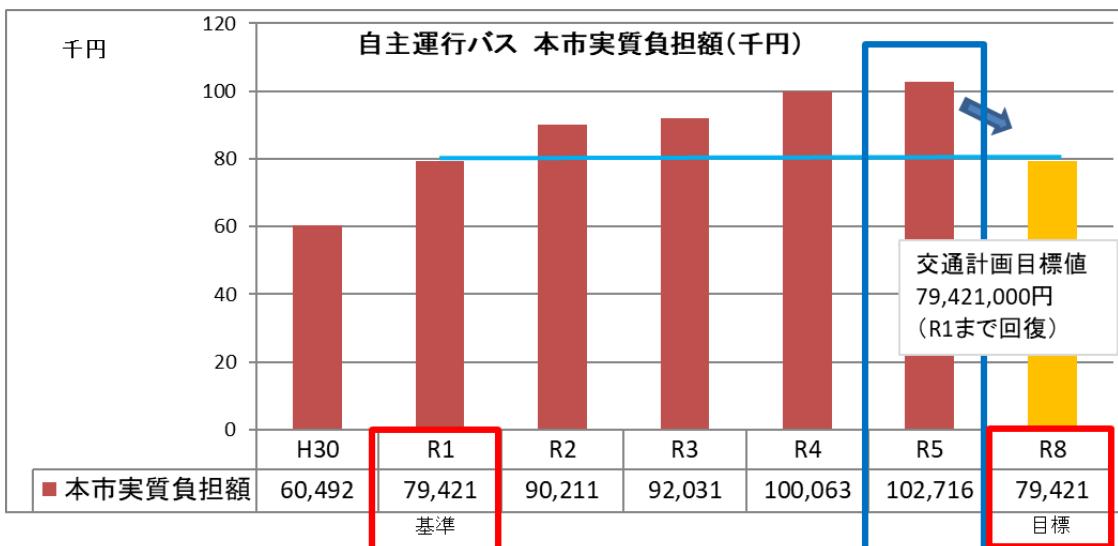
藤枝相良線の負担割合は約 56% で、半分以上を牧之原市が負担しているため、当該路線の利用状況により、市の負担が大きく変わる。

(単年度評価未達成における改善策)

- 両路線は、自主運行バスよりも圏域が広く、市にとって重要な路線であるため、関係市で連携した利用促進策を計画したい。

目標③ バス公的負担額

バス	前年度 (R4)	R5 実績	前年度 比較	目標	目標 (R8)
自主運行バス (市営バス含む)	100,063 千円	102,716 千円	×	R1 数値 に抑制	79,421 千円



路線別の実質負担額 (千円)

	R4	R5 実績	推移
萩間線	32,189	32,907	+718
勝間田線	17,400	17,908	+508
鬼女・菅山線(市営)	4,934	3,105	-1,829
相良御前崎線	21,474	23,977	+2,503
相良浜岡線	24,066	24,819	+753
合計	100,063	102,716	+2,653

(まとめ)

本市実質負担額は、前年度から約 260 万円の増額となった。

相良御前崎線は前年度比約 250 万円の増額となった。

R6 は、自主運行バス相良御前崎線、相良浜岡線の便数の見直しにより、負担額の抑制を図っているが、その他の路線の経費が上昇し、運賃収入の減少が続けば、全体としては大きな効果を得られない可能性がある。

(単年度評価未達成における改善策)

便数の見直しや土日祝運行の是非を検討し、公的負担額の抑制に努める。

基本方針2に関する目標

基本方針2のデマンド乗合タクシーに関する目標として、デマンド乗合タクシーの利用者数、バス収支率に変えて効率性を示す乗合率、周知の目安となる会員登録者率（75歳以上人口に占める割合）の3つの目標を設定します。

利用者の利便向上に関する目標として、公共交通利用者の利便向上を計る目安になる利用者アンケートの満足度を設定します。

利用促進に関する目標として、モビリティマネジメントの取り組み数と参加者数を設定します。

デマンド乗合タクシー関係	前年度(R4)	R5実績	前年度比較	目標	目標(R8)
目標④ 年間利用者数	2,877人	3,578人	○	増加	4,600人

号別利用者数

号	R4利用者数	R5利用者数	傾向	前年度比(%)
さかべ号	446	221	▼	49.6
かつまた号	359	291	▼	65.2
しづなみ・かわさき号	183(5か月)	752	▲	411.0
ほそえ号	93(5か月)	150	▲	161.3
すげやま・はぎま号	934	863	▼	92.4
じとうがた号	387	351	▼	90.7
さがらひがし号	107(4か月)	344	▲	321.5
さがらにし号	44(4か月)	189	▲	429.5
まきのはら号	324	417	▲	128.7
合計	2,877	3,578	▲	124.3

(まとめ)

市街地は増加傾向にあるが、さかべ号、かつまた号といった初期に導入を開始した地域は減少傾向にあるため、時期を見て周知を図っていく。

デマンド乗合タクシー関係	前年度(R4)	R5 実績	前年度比較	目標	目標(R8)
目標⑤ 乗合率	1.42 人	1.31 人	×	向上	1.5 人

号別の乗合率

	R 4 乗合率	R 5 乗合率	傾向
さかべ号	1. 34	1. 14	↖
かつまた号	1. 31	1. 10	↖
しづなみ・かわさき号	1. 12	1. 14	↗
ほそえ号	1. 13	1. 04	↖
すげやま・はぎま号	1. 74	1. 51	↖
じとうがた号	1. 24	1. 49	↗
さがらひがし号	1. 13	1. 18	↗
さがらにし号	1. 29	1. 20	↖
まきのはら号	1. 64	1. 79	↗
合計	1. 42	1. 31	↖

(まとめ)

市街地4地区で乗合率が低くなるため、全体の乗合率は低下している。特に市街地の「ほそえ号」は、1.1を下回り、現状では県の補助対象外となってしまう。

(単年度評価未達成における改善策)

- ・R6 からさかべ号で高齢者サロン利用者の臨時便の運行を開始し、乗合率が高まっている。
- ・乗合率を高めるために以下の変更を予定

① 予約時間の変更

行きの30分前までの予約を1時間前とすることで、タクシー事業者の乗合経路検討の時間を増やす。

② 運賃の統一

R6 から号の統合を行ったが、従前の運賃を引き継いでいるため、運転手が混乱してしまうために別々に配車しているため、運賃の統一を図る。

デマンド乗合 タクシー関係	R4 年度末	R5 年度末	前年度 比較	目標	目標 (R8)
目標⑤ 会員登録率	13.2%	14.3%	○	向上	15%

号別の会員登録率 (R6.4.1)

	R 4 登録率	登録者数/75 歳以上 (人)	R 5 登録率
さかべ号	21.5%	85/421	20.1%
かつまた号	26.2%	115/476	24.2%
しづなみ・かわさき号	8.7%	156/1,478	10.6%
ほそえ号	8.9%	104/1,032	10.1%
すげやま・はぎま号	18.3%	171/969	17.6%
じとうがた号	15.8%	126/831	15.2%
さがらひがし号	7.9%	94/799	11.8%
さがらにし号	6.3%	88/896	9.8%
まきのはら号	27.6%	107/422	25.4%
合計	13.2%	1,046/7,324	14.3%

(まとめ)

市街地の4号は順調に登録者数が増えているが、利用者数と同じく初期に導入した地域は登録率が減少していた。高齢者数の増加が要因ではあるが、引き続き周知を強化していく。

目標⑦ 利用者満足度		基準値 (R4)	評価	R8
バス	利用者調査による	56%	向上	72%
デマンド		72%	向上	80%

※利用者満足度は、本計画策定の調査の一環として実施。計画期間中間の令和6年度末と最終年度の令和8年度に令和4年度と同じ方法で実施し、いずれも「利用しやすい」を基準値とし、どちらでもない（普通）のの半数が「利用しやすい」へ移行することを目標とする。

令和6年度末と令和8年度にアンケート調査を実施予定。単年度評価はしない。

モビリティマネジメント関係	前年度(R4)	R5 実績	前年度比較	目標	目標(R8)
目標⑧ 取組件数	10項目	10項目	○	増加	年間10項目

(R5 取組状況)

	内容	備考
①	広報、ホームページへの掲載	広報8月号特集記事
②	地域協議会（区会）でのデマンド説明	19区（6区は回覧のみ）
③	デマンド乗合タクシー回覧配布	全25区実施
④	福祉部署との連携（主任ケアマネ会議、高齢者福祉部会への出席）	デマンド乗合タクシー周知、意見交換
⑤	デマンド乗合タクシーのオンライン申請整備	会員登録のオンライン申請導入
⑥	デマンド乗合タクシーの使い方動画の作成	わかりやすい説明が可能となった
⑦	高齢者サロンでのデマンド説明	要望により随時実施
⑧	高校、企業との意見交換	榛原高校、矢崎部品(株)との協議
⑨	バスの魅力発見ツアーへの協力	藤枝相良線を運行する飲食ツアー
⑩	地域リーダー育成プロジェクト出席	中部運輸局主催の中高生写真コンテストの周知

※同一内容の複数の取組については、1事業としてカウント

(まとめ)

新型コロナウイルスの流行が落ち着いたことから、積極的に事業を実施することができた。

R5はデマンド乗合タクシーの周知を目的に全区にチラシを配布し、地域協議会での説明も実施した。

基本方針3に関する目標

基本方針3は、総合計画の重点・戦略プロジェクトとの連携であるため、間接的に公共交通へ影響を与える取組となることから、ここでは、毎年市が実施している「市民意識調査」における公共交通の満足度を設定します。

モビリティマネジメント関係	前年度 (R4)	R5 実績値（確定）	前年度 比較	目標	目標 (R8)
目標⑨ 市民意識調査における公共交通の満足度	30.4%	26.7%	×	向上	40%



（まとめ）

R4 数値からは落ちたが、R3 以前よりも高い数値を維持した。

不満、やや不満が 60% から 67.9% に増えた。

特に地頭方地区、牧之原地区に大きな変化があった。

	R4	R5
地頭方地区	満足 2.9% やや満足 30.0% やや不満 28.6% 不満 25.7%	満足 0% やや満足 13.7% やや不満 56.2% 不満 21.9%
牧之原地区	満足 9.5% やや満足 31.7% やや不満 36.5% 不満 19.0%	満足 0% やや満足 20.0% やや不満 41.8% 不満 34.5%

自由意見
バスに関する意見 2件

性別	年齢	居住地区
女性	20～29歳	川崎
女性	60～64歳	萩間

静岡相良線の高速バスで、静岡駅からの休日の夜の本数を増やしてほしい。
高齢者が、運転免許がなくても自由に行動できるコミュニティバスなどの運営を検討してほしいです。乾電池の回収がないので困っています。BINの回収についても、車がないと回収所へ持っていく事も困難で困っています。

交通全般に関する意見 22件

性別	年齢	居住地区
男性	19歳以下	地頭方
男性	30～39歳	静波
男性	30～39歳	勝間田
男性	40～49歳	川崎
男性	60～64歳	萩間
男性	65～69歳	静波
女性	19歳以下	地頭方

バスの本数を増やすなどの公共交通機関の充実や、交通違反の取り締まりと防犯パトロールを強化してほしい。地域活性化のため、市でのイベント回数を増やしてほしい。相良にあるいへらを使ったイベントの数を増やしてほしい。

車がないと何もできないので不便。

公共交通機関の充実、バスの運行時間の延長など。

電車やバスの公共交通機関の充実を実現していない。

やがて車の運転もできなくなり、買い物、病院どうする、不安でしかない。

軽便鉄道駿遠線の現代版の復活。空港→茶畑→富士山→沿岸線のルートで、御前崎港→その地域へ。

交通の便が悪すぎる。通学にも最適な交通手段がなく、友人と交流する機会が減っている。車がなくとも生活しやすくすれば住む人は増ええると思う。ただでさえ財政的に厳しいので、施設の建て替えは最小限にすることを優先してほしい。市民も財政的な余裕はないので少しでも補償していただけると嬉しいです。コロナ禍の影響で地域の交流が減ってしまったので、以前の活動が復活してくるのを楽しみにしています。

交通の便が悪い。遊べる所が少ない。スーパーが近くにない。	女性	19歳以下	勝間田
最寄りの駅が遠い。バスの本数が少ない。とにかく交通の便が悪すぎる。近くに商業施設がないため日常に楽しみを感じない。	女性	19歳以下	牧之原
田舎が多く自然いっぽいで良い所だが、その分交通の便が悪く店も少ないので、もう少し暮らしやすいままにしてほしい。祖母など、車を運転する事をやめても気軽に買い物など行けるような環境になつてほしい。	女性	20~29歳 萩間	
駅が近くにないので不便だと感じる事が多い。バスも、時間と行き先が限られているので困る事がある。また、映画館やショッピングモールなどの娯楽施設がないので、子どもや若者が遊びぶよ的な場所がない。公共交通機関や商業施設が不便だと感じる事が多いので、高校卒業後市外へ出てしまう人が多いと感じた。	女性	20~29歳 静波	
公共交通機関の整備ができていない。バスも1~2時間に1本あるが、時間通りに来る事が少なく困る事が多い。また、同年代の友人が牧之原市に来ると、「茶畠しかない」「夜道が暗い」と口を揃えて言っていた。こうした環境整備を充実させるべきだと思う。子育て施設に関しては、相良のいこっとなど図書館や教育制度の充実、子育てのしやすさについて取り組めている。	女性	20~29歳 牧之原	
両親、義両親とも牧之原市に住んでいるので、市内に住みたい気持ちはあるが、夫も私も通勤に電車は必須であるため住む事はできない。電車駅へのアクセスが良い、または新幹線駅があるなど交通機関拡充があればと思う。働き盛りに市外に住めば市外に家を建てたりもするし、そうなれば定年過でも転職しても転職しても牧之原市には戻れない。	女性	20~29歳 坂部	
交通の便が悪い。飲食店がどんどん潰れていったりするのに対策強化をしないので、どんどん不便になつていく。もつと何とかしてほしい。チーン店などももつと誘致して便利にしてほしい。	女性	30~39歳 波津・須々木	
日常生活の中で、車での行動が必要です。高齢になり、車での運転も不安になつきました。救急車の受け入れ先も、島田、焼津、藤枝と1時間位かかるので家族の入院の時にもう少し近くにあればと感じました。	女性	60~64歳 地頭方	
今は自分で運転して、食料・日用品などの買い物、医療機関へ通院など、不便はありませんが、将来運転できなくなつた時、生活の質が極端に低下してしまうのが心配です。	女性	65~69歳 牧之原	
今はまだ運転ができるので買い物など行く事ができますが、車がなければ足腰が弱くなるので自由に買い物や図書館などへも行けなくなります。行動範囲が狭くになります。災害の時なども、歩くのが遅くな	女性	70~79歳 相良・福	

つてきているので階段を登ったり降りたり、高い所への避難は難しくなってきました。 免許証を返納する年代になったのですが、その後が不安です。全てデジタル化で老人には大変な世の中になりました。	女性 70~79 歳 岡
あと何年かすると、免許証を返納する時が来る。病院へ行ったり買い物行ったりする事もできなくなる。年金も介護保険が上がる一方、もらう年金は下がる。物価も上がり、これから的生活が大変になる。 歳を重ね、自動車の運転ができなくなり、通院や食料品の買い物、介護に不満が出てくると思います。いつも長生きをし、皆さんにお世話になりご迷惑をかけるのがつらいです。	女性 70~79 歳 大江・片浜
2年前に主人が車の免許返納を行ったので、少し不便です。夫婦の二人の生活。子どもたちはそれぞれの家庭が独立しているので、たまに会う事で良い環境で暮らしています。健康に気を付けて毎日目標を持つて、1日1日自分の計画を立てて過ごしています。76歳になつても病院にからず、薬も飲みません。歯の治療は定期的に行っているので28本あり、内治療済みは14本です。健康に感謝して過ごしています。	女性 70~79 歳 細江
車がないと生活できない事や、お店や病院の少なさなど住みづらさを感じています。	回答 なし 20~29 歳 牧之原

日 時 令和6年10月22日（火）15時～16時30分
場 所 牧之原市役所榛原庁舎 4階会議室
出 席 者 別紙のとおり
内 容 令和6年度第1回牧之原市地域公共交通会議評価改善部会

1 開 会

2 挨 拶 (部会長 松尾座長)

3 協 議

・委員9名中7名の出席により会議成立。

（1）牧之原市の公共交通についての現状

① 牧之原市地域公共交通計画の評価について

【事務局説明】

（質疑応答）

【委員】

自分は今細江に住んでいるが、地区の中でスーパー等色々なものが揃っている。高台が完成したあとに沿岸部との行き来が生じるのか見えてこない。そこを行政がしっかりと示さないと交通をどうしていくという話まで至らないのではないか。

【事務局】

委員のおっしゃるように、高台にどんな店舗が入るのかによって需要があるかないか大きく変わってくると思う。しかし、現時点ではまだそこは決まっていない状態である。ただ、市の交通計画として、この富士山型交通ネットワークの構築があるので高台への乗り入れを検討しているということ。

【委員】

高台の開発に絡んだ話にはなるが、住宅エリアについては移住者を想定しているかそれとも開発エリアに住んでいた方がそこに移転をするという形か。

【事務局】

後者がほとんどと聞いている。

【委員】

デマンドタクシーの件では色々ご苦労いただき感謝している。県内のタクシー輸送実績をみると牧之原市は県内でも最低クラスで、熱海や伊東と比べてしまうと3分の1程度である。これは人の動きそのものや地域の人間性があるのではないかと考えてはいるが、ご指導ご鞭撻いただけたとありがたい。

【委員】

夜の動きはかなり落ち込んではいるが、デマンドのおかげか老人の利用率というのは少しずつ伸びている。しかし、まだ油断ならない状況ではあるためライドシェア等は推移を見守っているような状態である。

【事務局】

デマンドの中にもさまざまな動きがあり、吉田町では新しいものが始まったなど、AIによる配車アプリなどの動きもあるので勉強しながら取り入れていければと思う。タクシー会社より配車の関係でご苦労されているという話もあるため、相談しながら利用者の方に満足いただけるようやっていきたい。

【委員】

ライドシェアに関する報告になるが、今年の7月に交通空白対策本部というのが国土交通省に立ち上げられた。県内だと島田市、焼津市、吉田町の長に訪問させていただき、自治体の方針や交通空白解消に関する経緯の御説明をさせていただいた。それぞれ事業者さんを効率的に活用していくことで交通空白を解消していくという考え方の自治体もあれば公共ライドシェアを活用したいという考え方もある。役割分担という事でバス・タクシーカバーしきれない所を、公共ライドシェアを活用していただきたいので、是非自治体の方で検討をお願いしたい。

【委員】

地頭方地区と牧之原地区の市民満足度が0%になっているが、原因分析は出来ているか。

【事務局】

原因の特定には至っていないが、年齢別の市民満足度を見ると19歳以下の満足度が低く、70歳以上の高齢者の満足度が高いという傾向が出ている。ここからデマンド全域導入の効果が出ているという認識ではある。

【委員】

コメント等を書く欄があるのであれば、そこにご意見が添えられている可能性があるため、確認すると良いと思う。

【事務局】

21ページから自由意見を載せている。22ページを見るとほとんど若い女性の方が公共交通について意見があるというのがここからわかる。

② デマンド乗合タクシーの本格運行への移行評価等について

【事務局説明】

(質疑応答)

【委員】

しづなみ・かわさき、ほそえ号の乗合率が 1.08 ということだが、利用者はどういった区間での利用が多いのか分析をしているか。

【事務局】

基本的には同じ地区内の病院や、スーパーの利用がほとんどである。榛原総合病院や石井内科皮膚科、佐古医院さんなど。スーパーであればバローさんなどの利用が大半。

③ 令和 7 年度のデマンド乗合タクシーの運行計画について

【事務局説明】

【松尾座長】

片浜から榛原など、場所によっては運賃の値上げ幅が大きいところがあるが、その影響はどうか。

【事務局】

指摘の箇所の利用は令和 4 年度の導入時から今までで、1 ~ 2 回程度しか利用がないので影響は少ないと思っている。この料金設定とした背景として、旧町間の移動については 1000 円で統一するというイメージでの料金設定となっているため、あくまで事務局案として協議をしていく必要はあると思っている。

④ 牧之原市地域公共交通計画に基づく令和 6 ~ 7 年度計画について

【事務局説明】

(質疑応答)

【委員】

牧之原市は自動運転など色々な取り組みを想定されているということであるので、是非共創プロジェクトなどの補助金をご活用いただければ。

4 閉会

議 事

(1) 牧之原市地域公共交通計画について

② 令和6年度の取組及び
令和7年度の計画について

モビリティマネジメントの推進について

I 産業フェア出展（低床バス展示）

■開催日時

令和6年11月17日（日）午前9時00分～午後3時00分

■開催場所

GasOne アリーナ牧之原

■出展内容

しづてつジャストラインに依頼し、バスの展示等でバスに慣れ親しんでもらう機会を提供。（しづてつ了承済み）



2 ハッピーライド in 静岡の実施

■開催日時

令和6年12月8日（日）

■実施方法

「自主運行バスで行く空港こどもプチツアーア」を企画し、空港までの移動方法として自主運行バス萩間線と勝間田線を親子で利用していただいた。

※茶の都ミュージアム（島田市）最寄りバス停の「牧之原公園前」バス停から市マイクロバスで移動

ハッピーライドin静岡タイアップ企画

自主運行バスで行く
空港こどもプチツアーア

参加者募集！

ハッピーライドin静岡実施日は小学生が無料でバスに乗ることが出来ます。この機会にバスを使って空港へ行ってみませんか？

ツアーフリー

日時 12月8日（日）

定員 10組20名

集合場所 棚原：静波海岸入口バス停
相良：相良本通バス停

対象者 牧之原市内小学校に通う児童とその保護者で
ツアー後のアンケートにご協力いただける方

ハッピーライドin静岡って？

ハッピーライドin静岡とは、静岡県が実施する県内すべての小学生が12月7日、8日の2日間、路線バスに無料で乗車が出来るイベントです。これにより、小学生を中心とした地域住民のバスの利用促進に繋げる取組です。

普段見れないもの
も見えるかも？
お土産もあるよ！

学校で配られる右の
リーフレットを見せ
るとバスに無料で乗
れるよ！
必ず持ってきてね！

〒421-0495 牧之原市静波447-1 棚原庁舎5階 牧之原市企画政策部
地域振興課空港交通係 電話 0548-23-0053 FAX 0548-23-0059

実績：参加者 10組 20人



3 デマンド乗合タクシーの乗り方教室 (R6 3回) 坂部区、勝間田区、牧之原区の高齢者サロンで実際の車両を使って使い方を説明



バスに乗って富士山静岡空港と 坂口谷川河津桜祭へ出かけよう！

2月 23 日(日) 無料バスを運行します



坂口谷川河津桜祭 イベント会場(坂部区)

軽トラ市、飲食物販、イベント 他



◆運行日:令和7年2月23日(日)

◆運行経路:裏面参照

◆運賃:無料

◆申込期間: 1月9日(木) ~ 2月7日(金)

(定員に達し次第、募集を締め切ります。)

※申し込みされた方には、2月8日以降に案内状を送付いたします。

参加者には粗品
をプレゼント！



PC、スマホカメラから QR コード読み込みで簡単申し込み！



QR コード以外で申し込みの方は、地域振興課に

お電話ください。

牧之原市役所

地域振興課 空港交通係
電話 0548-23-0053

＜空港ターミナルビル 物販＞

- ・Runway Shop FSZ
- ・しづおかマルシェ
- ・伊藤園
- ・メイドイントーカイ
- ・セブンイレブン
- ・DRUGS コンドウ など

FOOD COURT FSZ

＜空港ターミナルビル 飲食店＞

- ・麵屋 燕
- ・パスタ屋一丁目
- ・清水港 海山
- ・東海軒 富士見そば
- ・This Is Café

空港行き無料バス時刻表

【榛原コース】 ①静岡空港～②坂口谷川河津桜祭コース

乗降場所(運行時間:35分)	行き 出発時間
① 細江コミュニティセンター	9:30 出発
② 市役所榛原庁舎(南側駐車場)	9:40
③ 川崎コミュニティ防災センター	9:50
④ 勝間田保育園	9:55
⑤ 静岡空港	10:05 到着
静岡空港滞在時間:2時間(10:05～12:05) …昼食や空港見学をお楽しみください。	空港
⑥ 静岡空港	12:05
⑦ 坂口谷川河津桜祭会場(坂部)	12:15 到着
坂口谷川河津桜祭滞在時間:1時間(12:15～13:15) …河津桜と物産展をお楽しみください。	桜
⑧ 坂口谷川河津桜祭会場(坂部)	13:15
※④から順番に運行し、①の到着は、13:45頃を予定	

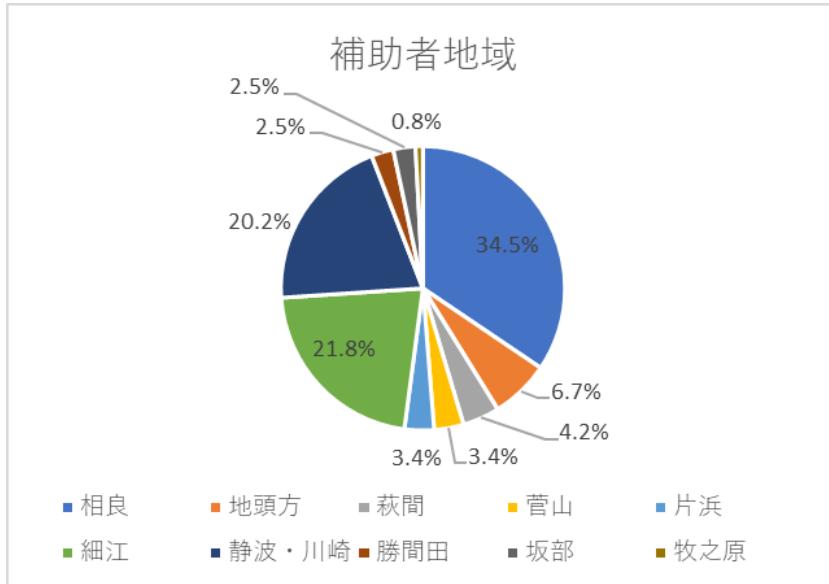
【相良コース】 ①坂口谷川河津桜祭～②静岡空港コース

乗降場所(運行時間:1時間10分)	出発時間
① 地頭方原子力防災センタージーボ	10:45 出発
② 須々木バス停(旧相良公民館跡)	10:55
③ 市役所相良庁舎(正面玄関)	11:10
④ 中西集会所(萩間)	11:25
⑤ 牧之原区民センター(相良)	11:40
⑥ 坂口谷川河津桜祭会場(坂部)	11:55 到着
坂口谷川河津桜祭滞在時間:1時間(11:55～12:55) …河津桜と物産展をお楽しみください。	桜
⑦ 坂口谷川河津桜祭会場(坂部)	12:55
⑧ 静岡空港	13:05
静岡空港滞在時間:2時間(13:05～15:05) …昼食や空港見学をお楽しみください。	空港
⑨ 静岡空港	15:05
※⑤から順番に運行し、①の到着は16:15頃を予定	

令和6年度 通学定期補助の申請状況

◆R6 実施状況（令和6年12月末日時点）

① 補助対象者・・・119人（榛原地域：57人 相良地域：62人）



② 最高負担額

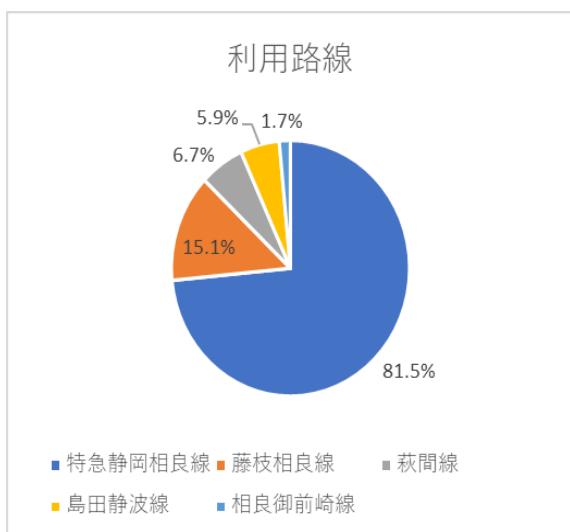
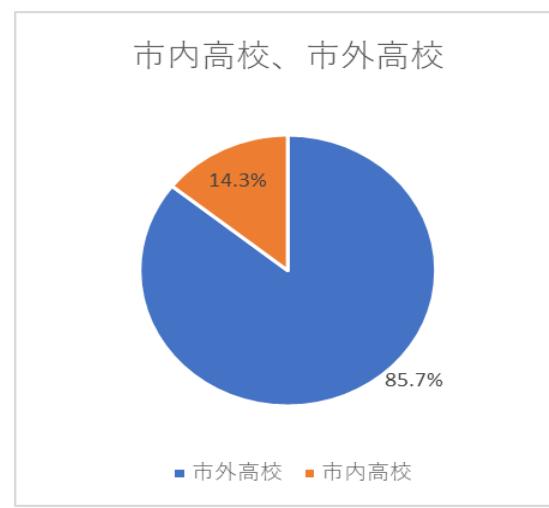
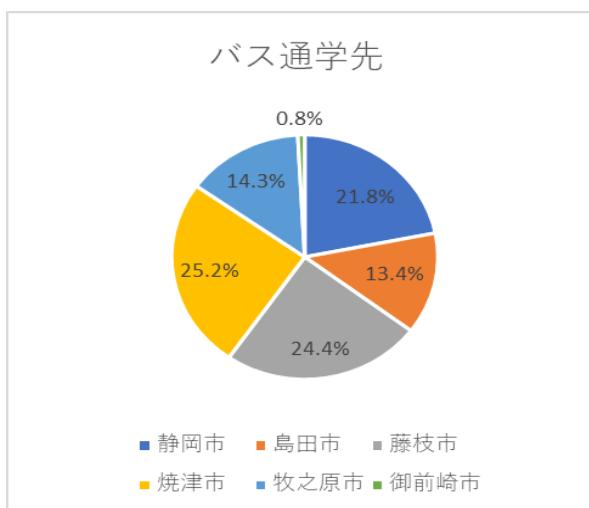
152,930円（6ヶ月）

高校：静岡市内の高校

路線：特急静岡相良線

乗降バス停：

相良本通～静岡駅前



- ・バス通学者の75%は相良地区、静波・川崎地区、細江地区の沿岸部在住。
- ・バス通学先の1位は焼津市であり、特急バスで通学可能な清流館や焼津中央が多い。
- ・全体では藤枝東高が最も多かったが、藤枝相良線ではなく、特急バスで東名焼津西に移動し、自転車通学のパターンが多い。
- ・西部方面のバス通学者は1人で、バス路線が充実している中部の高校がほとんど。（実際には常葉菊川、掛川西、小笠の進学者も多い）

③ 高校内訳

	高校	人	路線
焼津市 30人	清流館高校	16	特急静岡相良線10、藤枝相良線6
	焼津中央高校	9	特急静岡相良線9
	焼津水産高校	5	特急静岡相良線5
藤枝市 29人	藤枝東高校	22	特急静岡相良線20、藤枝相良線2
	藤枝明誠高校	6	特急静岡相良線5、藤枝相良線1
	藤枝北高	1	特急静岡相良線1
静岡市 26人	静岡高校	5	
	おおぞら高等学校	4	
	科学技術高校	3	
	城南静岡高校	2	
	ヒューマンキャンパスのぞみ	2	特急静岡相良線27
	静岡商業高校	2	
	静岡中央高校	2	
牧之原市 17人	その他（各1人）	6	
	棟原高校	11	特急静岡相良線9、特急+相良御前崎線2
島田市 16人	相良高校	6	特急静岡相良線5、萩間線1
	島田商業高校	7	島田静波5、特急+島田静波線1、萩間線1
	島田工業高校	6	萩間線3、特急静岡相良線+島田静波線3
	島田実業高等専修学校	2	萩間線2
御前崎市 1人	ふじのくに国際高等学校	1	萩間線1
	中遠調理師専門学校	1	特急静岡相良線1
119人		119	

◆制度開始時に市民から市に寄せられた意見

市民から	市の見解
市内と市外で金額に差をつけるのはおかしい。	定員割れも頻繁にある市内2校の生徒確保を通学手段の面から支援するためでありご理解いただきたい。
スクールバス利用者にも補助してほしい。	家計支援の側面もあるが、主に公共交通を維持するための制度であるため、スクールバスは対象外とした。
大学生にも補助してほしい。	多くは大学進学により市外に転出してしまうため、特急バスの利便性を考慮した定住施策として検討する。

その他：少なくともいただけるだけありがたい

バスで、通おう



牧之原市に住む、路線バスで通学する 高校生等の定期券代を最大3万円補助します！

申請に必要なもの

- ①高等学校等に在籍していることを証明する書類の写し（学生証等）
- ②使用する通学定期券の控え券紙の写し

しづてつジャ
ストライン(株)
の窓口で
もらえる右の
控えが必要に
なります。



詳しくはQRコードもしくは検索からご確認ください。

申請のポイント

牧之原市に住む高校生等が対象
市内高校なら最大3万円、市外高校でも
最大1万5千円を補助します。

年度内に生徒1人につき5万円以上の定期券
を購入すれば補助の対象です。
(時期の異なる複数の定期券の合算可)

市内を運行する路線バスが対象です。
(詳細は裏面をご確認ください。)

兄弟等がいれば人数分の申請が可能です。



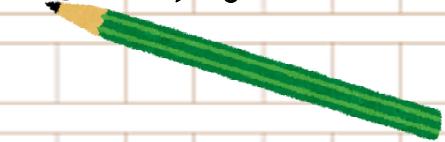
牧之原市 定期券補助

検索

牧之原市路線バス通学定期券購入費補助金 高校生等の通学費用を一部補助します。

7月1日受付開始予定

補助の対象



次に掲げる要件全てを満たしている者

- ア 高等学校等に在籍中で市内に住所を有する生徒の保護者等
- イ 申請年度の4月1日から翌年3月31日までの間を有効期間とし、かつ、年度を通じた購入金額が、生徒一人に対し5万円以上となる通学定期券を購入した保護者等
- ウ 世帯員の全員が納付すべき市税等を滞納していない世帯

対象となる路線

- しづてつジャストライン(株)が運行する路線バス
特急静岡相良線、藤枝相良線、島田静波線
萩間線、勝間田線、相良御前崎線、相良浜岡線



補助率、上限について

- 補助率：購入金額の1/2
- 補助上限額：下記のとおり

在籍先	補助上限額
静岡県立相良高等学校	3万円
市外の高等学校等	1万5千円

○高等学校等とは…

高等学校や中等教育学校の後期課程、特別支援学校高等部、高等専門学校等、専修学校及び各種学校のうち高等学校の課程に類する課程を置くものとして文部科学省令で定めるもの



←申請フォームはこちら
(LoGoフォーム)

申請について

詳細については牧之原市ホームページをご確認ください。

申請はオンラインもしくは【榛原庁舎5階 地域振興課】にて受け付けております。

問合せ先

〒421-0495 静波447番地1 牧之原市役所榛原庁舎5階 企画政策部地域振興課
TEL : 23-0053 FAX : 23-0059 Mail : kotsu@city.makinoohara.lg.jp

案
2月下旬発送予定

路線バス通学定期券補助利用者に対するアンケート調査

この度は、通学定期補助金をご利用いただきありがとうございます。今後の改善の参考と
したいため、下記の質問事項にお答えください。

Q1 どちらにお住まいですか？ () 区

Q2 どちらの学校に通学していますか？ ()

Q3 どちらのバス停を利用していますか？ () ※行きに乗車するバス停

Q4 この補助金は何で知りましたか？

- 広報まきのはら
- 市公式LINE、市HP
- 回覧チラシ
- バス停の掲示
- 高校からの情報提供
- その他 ()

Q5 高校生のバス通学でどこを改善してほしいですか？(3つまで 高校生と保護者で相
談してお答え下さい)

- バス運賃を安くしてほしい
- 便数を増やしてほしい
- 早朝や夜（部活動終了後）の通学に適した時間に運行してほしい
- バス停付近に駐輪場や駐車場を整備してほしい
- 近くにバス停を設置してほしい（保護者の送迎や乗り換えが手間）
- 屋根付き、ベンチ付きの待合所を整備してほしい
- 経路変更等により運行時間を短縮してほしい
- 行先を増やしてほしい（具体的な市や駅名：)

Q6 この補助金はバス通学をするきっかけとなりましたか？(いずれか1つ)

- バスで通学していた方
 - なった（自転車通学や保護者送迎からバス通学に変更した）
 - なった（片道利用から往復利用に変更した）
 - なった（補助がある限りバスを使いたいと思うようになった）
 - なっていない（もともとバス通学だった、バス通学の予定であった）
- バスで通学していなかった方
 - なった（自転車通学や保護者送迎の予定からバス通学に変更した）
 - なった（補助がある限りバスを使いたいと思うようになった）
 - なっていない（もともとバス通学だった、バス通学の予定であった）

自由記入欄

牧之原市地域公共交通計画に基づく取組

資料 11

方針	事業	R6に実施した主な取組とR7に計画する主な取組
基本方針1： 富士山型ネットワーク構造の形成に資する地域公共交通ネットワークの構築	1：沿岸部の路線の維持・再編（幹線軸（裾野部））	・R6：特急静岡相良線の改善（病院乗り入れ）・・・継続協議中 ・R7：自主運行バス相良御前崎線、相良浜岡線の見直し（土日祝）
	2：市街地と高台エリアを結ぶ路線の再編（幹線軸（斜面部））	・R6：自主運行バス萩間線、勝間田線の高台エリア接続方法の協議 ・R7：経路変更の具体的な協議、勝間田線の将来的な運行協議
	3：富士山型山頂部から路線の創出（広域交流拠点連携軸（山頂部））	・西部方面や空港への路線創出の協議（空港アクセスバスや企業送迎バスの活用検討）
基本方針2： 地域公共交通の利便向上、利用促進策の推進	4：高齢者等の移動手段の提供	・R6：デマンド乗合タクシーの改善、本格運行の全域導入の検討 ・R7：予約アプリ、AI配車システムの調査・研究、導入検討
	5：拠点バス停の環境整備の推進	・R6：根松下りバス停の自転車駐輪ラック設置、相良本通バス停（主）下りの電灯設置 ・R7：高台エリアバス停整備の具体的な協議、P&R駐車場の検討
	6：誰もが利用しやすいサービスの提供	・R6：定期補助のオンライン申請
基本方針3： 持続可能な運行を支える他の分野との連携した取組と体制強化	7：モビリティマネジメントの推進	・産業フェア出展（低床バス展示） ・ハッピーライドin静岡の実施 ・タクシーの乗り方教室 }（資料11-1）
	8：観光施策と連携した取組の推進	・空港無料送迎バスの実施（予定）（資料11-2） ・田沼意次候ラッピングバスの運行
	9：移住定住、子育て支援につながる取組の推進	・高校生を対象としたバス定期券購入補助制度（資料11-3）
10：自動運転技術などのDX化やICTを活用した取組の推進	10：自動運転車両の実証運行に向けた検討	・自動運転車両の実証運行に向けた検討
	11：市民意見を尊重する協議体制と関係者の連携強化	・R6：周知、協議（民生委員、主任ケアマネ、高校、交通事業者等） ・デマンド利用者、非利用者へのアンケート調査（資料6）

21

大河ドラマ「べらぼう～薦重栄華乃夢嘶～」を活用した事業について

(教育文化部大河ドラマ活用推進室)

郷土を代表する偉人「田沼意次侯」が登場する大河ドラマ「べらぼう～薦重栄華乃夢嘶～」(NHK・2025) が令和7年1月5日(日)から放送開始となります。これを契機に、当市への観光誘客や地域の活性化、市民の郷土愛醸成につなげるため、牧之原市大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会を中心に、関係団体等と連携して各種事業を展開しています。

10 ラッピングバスによる田沼意次ゆかりのまちのPR

概要 大型バスへのラッピングにより、大河ドラマ「べらぼう」に登場する郷土の偉人「田沼意次侯」をPRするとともに、意次侯ゆかりのまちである牧之原市をPRする。

期間 令和7年1月1日～令和7年3月31日(翌年度も継続予定)

路線 特急相良静岡線(相良営業所 ⇄ 新静岡セノバ)

車両 静鉄特急車両バス 1台 (株式会社 静鉄アド・パートナーズ)

ラッピングバス写真

